―国語―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	・課題プリントの内容や定期考査における問題の達成率。 ・定期考査における問題の達成率。 ・漢字テストや確認テスト、定期考査において知識・理解の定着がみられる。 ・文法問題の達成率。 ・話し合い活動において、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。 ・聞き取りテストにおける達成率。	・定期考査 ・漢字テスト ・小テスト（文法、聞き取りなど） ・暗唱・定期考査　など
思考・判断・表現	・授業中の発言や発表においてすすんで表現したり、工夫をしたりして伝え合おうとすることができる。 ・課題プリント、要約文、作文など、よりよい表現を工夫し、内容を仕上げることができる。	・定期考査 ・課題プリント（意見文、感想文、要約文、
主体的に取り組む態度	・授業に意欲的に取り組み学ぼうとする意欲が旺盛である。 ・課題プリントやノート、ワークなどを丁寧に仕上げ、創意工夫して提出ができる。	・漢字テキスト点検 ・漢字テスト ・暗唱 ・ワーク、ノートの内容など ・授業での様子など

授業細目	単元	学習活動	評価規準
国語	1　わたしはふしぎでたまらないふしぎ	1『ふしぎ』の魅力やおもしろさについて考え，互いに発表し合う。 【八王子学習】金子みすゞと中村雨紅	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【態度】すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし，学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
国語	1　わたしはふしぎでたまらない桜蝶	1「学びナビ」を読み，物語と小説の構成の違いについて述べられていることを理解する。その後，『桜蝶』AとBを読み，構成や展開，描写の仕方にどのような違いがあるかを考える。 2『桜蝶』Aを読み，描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 3『桜蝶』Bを読み，描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 4『桜蝶』AとBの構成や展開の違いと読み手に与える印象の違いとの関わりを捉え，物語と小説の違いや小説を読む時にどのような点に注目すべきかについて自分なりに考えたことを発表し合う。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】積極的に場面と場面，場面と描写などを結びつけて，内容を解釈し，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
国語	1　わたしはふしぎでたまらない 【話す聞く】 お気に入りの一品を紹介する	（お気に入りの一品を決め，実物や写真などを用意させておく。） 1　話す内容と項目を決め，スピーチ用のメモを作成したあと，各自で練習をする。 2　第1時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え，ペアでスピーチを聞き合い，よかったところを伝え合う。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，自分の考えや根拠が明確になるように，話の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などに注意して，話の構成を考えている。A(1)イ 【態度】すすんで日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理して伝える内容を検討し，学習課題にそって伝えたいことを話そうとしたり，それを聞いて感想を述べたりしようとしている。
国語	1　わたしはふしぎでたまらない 文法の小窓1 言葉の単位 文法（解説）1 言葉の単位	1『文法の小窓1』を読み，小学校一年生の教科書の分かち書きや，「わたしは」がくぎれそうであることを確認する。教科書P272を読み文章，段落，文の違いを理解し，P273の「考えてみよう」をやってみる。 2　P273を読み，文節と単語について理解したあと，『文法の小窓1』のアキとハルの最後の台詞に注目させ，P274を読む。	【知識・技能】単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【態度】積極的に言葉の単位について理解するとともに，見通しをもってその役割を考えようとしている。
国語	2　これは脳がもともともっている癖です 自分の脳を知っていますか	1「学びナビ」を確認する。全文を通読し，クッキーを使った二つの実験の説明によって，筆者が伝えようとする内容を捉える。 2「おとり効果」と呼ばれる現象には，脳のどのようなはたらきが関わっているのかを考え，「脳の奇妙な癖」について理解する。 3「脳の奇妙な癖」について「おとり効果」の有効な点と問題点を整理する。 4　3で整理したことを踏まえて，筆者の考えを文章にまとめる。 5　文章にまとめたものを生徒どうしで読み合い，相互評価する。	【知識・技能】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え，要旨を把握している。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えるとともに，学習課題にそって文章にまとめようとしている。
国語	2　これは脳がもともともっている癖です 【書く】 資料から得た根拠をもとに意見文を書く	まとめと発表「情活」「指導事項」 グループ毎に発表の形式で資料の整理、及びまとめ、発表。 【学習への主体的・創造的態度】	【知識・技能】比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ 【態度】粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，学習課題にそって図表などを引用して考えたことを書こうとしている
国語	2　これは脳がもともともっている癖です 漢字の広場1 漢字の部首	1「部首」という概念を理解し，漢字の「部首」を確認したり，「形」から「義」や「音」を類推したりする。	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み，または漢字を書くとともに，今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

国語	2 これは脳がもともともっている癖です 言葉の小窓1 日本語の音声 言葉(解説)1 日本語の音声	1 教科書P46を読み,「little」を音符に合わせて書くのがなぜ難しいのかという疑問を共有する。P261の「日本語と英語の音節」を読み,日本語と英語に違いがあることを確認する。P260「やってみよう」P261「五十音図」を読み,日本語の「子音」と「母音」の違いや,音の特徴について理解する。 2 P262～263を読み,「アクセント」「イントネーション」を変化させることによって,どのように意味が変わるのか,またそれによってコミュニケーションにどのような影響が出るのか考える。	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え,その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また,学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き,文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み,または漢字を書くとともに,今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 【知識・技能】音声のはたらきや仕組みについて,理解を深めている。(1)ア 【態度】積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し,学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
国語	2 これは脳がもともともっている癖です 【話す聞く】 内容を整理して説明する	1 「学びナビ」を読み,「関係づける」ことについて理解する。「未来の自分がどうありたいか」を具体的にイメージし,その過程でどんなことで迷ったり悩んだりするかを考える。その悩みを乗り越えるような「名言」や「印象深い言葉」の情報を集める。 2 ワークシートに「名言」や「印象深い言葉」を記入し,自分の具体的な計画を考え,説明する手順を整理する。 3 自分の計画をわかりやすく説明する。聞き手の反応を見ながら話す内容や順番を変える。 4 互いの発表についてよかった点や改善点を話し合い,よりよい話し方,聞き方について学び合う。	【知識・技能】原因と結果,意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】比較や分類,関係づけなどの情報の整理の仕方,引用の仕方や出典の示し方について理解を深め,それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において,目的や場面に応じて,日常生活の中から話題を決め,集めた材料を整理し,伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において,相手の反応を踏まえながら,自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【態度】粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに,学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
国語	3 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ベンチ	1 作品を読み,「ベンチ」の表す状況を捉えて,自分なりの課題をもつ。 2・3 「みちしるべ」の説明にそって,情報の集め方を理解する。 4 効果的な表現を考えながら,作品のポップや帯を作成する。	【知識・技能】事象や行為,心情を表す語句の量を増すとともに,語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして,語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】比較や分類,関係づけなどの情報の整理の仕方,引用の仕方や出典の示し方について理解を深め,それらを使っている。(2)イ 【知識・技能】読書が,知識や情報を得たり,自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において,目的に応じて必要な情報に着目して要約したり,場面と場面,場面と描写などを結びつけたりして,内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】「書くこと」において,目的や意図に応じて題材を決め,集めた材料を整理し,伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し,学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
国語	3 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た 全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	1 『全ては編集されている』を読み「編集」されているものについて考えたあと,教科書P64「学びナビ」を読み,写真を見る観点について理解する。「何を切り取るか」を使い,対象の写真が何を切り取っている写真なのか考える。「写真の情報を整理する」を使い,写真の題名を考える。 2 「写真を組み合わせる順序を考える」を使い,短い物語を完成させる。	【知識・技能】比較や分類,関係づけなどの情報の整理の仕方,引用の仕方や出典の示し方について理解を深め,それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において,目的や意図に応じて,日常生活の中から題材を決め,集めた材料を整理し,伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において,目的に応じて必要な情報に着目して,内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに,学習課題にそって創作しようとしている。
国語	3 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た 漢字の広場2 画数と活字の字体	1 実際に文字を書き記すための基準となる「教科書体」の活字に着目し,正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身につけるとともに,画数をもとに漢和辞典の総画索引や部首索引を使用する方法を練習する。	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え,その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また,学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き,文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み,または漢字を書くとともに,今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
国語	コンピュータと情報通信ネットワーク 情活(情報社会において自分の責任や義務について考え,行動する)	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し,誰に何を案内するのかを考え,必要な情報を集めて整理する。 2 案内文の構成を考える。 3 相手や目的を意識しながら案内文を書く。 4 推敲して清書する。 5 相手の立場になって案内文を読み合う。	【知識・技能】比較や分類,関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め,それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において,目的や意図に応じて,日常生活の中から題材を決め,集めた材料を整理し,伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【態度】すすんで集めた情報を整理し,学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
国語	4 森と川と海は一つなのだ 持続可能な未来を創るために――人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう 「SDGs」	1 プロローグを読み,「始めの『問い』」を考える。 2 『「エシカル」に生きよう』を読み,「次の『問い』」について話し合う。 3 2の話し合いを踏まえて,「最後の『問い』」について自分の考えを書く。	【知識・技能】原因と結果,意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】比較や分類,関係づけなどの情報の整理の仕方,引用の仕方や出典の示し方について理解を深め,それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において,目的や場面に応じて,日常生活の中から話題を決め,集めた材料を整理し,伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において,話題や展開を捉えながら話し合い,互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ 【思考・判断・表現】「書くこと」において,目的や意図に応じて,日常生活の中から題材を決め,集めた材料を整理し,伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において,根拠を明確にしながら,自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において,文章を読んで理解したことに基づいて,自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに,今までの学習を生かして本や資料をもとに考えたことを書こうとしている。
国語	4 森と川と海は一つなのだ 森には魔法つかいがいる	1 「学びナビ」を読んだあと,『森には魔法つかいがいる』全文を通読し,教科書P87の空欄を補い完成させる。 2 1で完成したP87を踏まえて,問いと答えを確認し,筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。 3 P88L1～P92L4までの内容について,重要な語句を取り出したり,わからないことを調べたりして理解を深める。 4 P92L5～P96L7までの内容について,重要な語句を取り出したり,わからないことを調べたりして理解を深める。 5 「森と川と海は(　)なのだ。」のような表現を用いて,自分の考えを根拠を明確にして書く。	【知識・技能】事象や行為を表す語句の量を増すとともに,語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして,語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【知識・技能】原因と結果,意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において,文章の中心的な部分と付加的な部分,事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え,要旨を把握している。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において,文章の構成や展開,表現の効果について,根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において,文章を読んで理解したことに基づいて,自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】「書くこと」において,根拠の明確さなどについて,読み手からの助言などを踏まえ,自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【態度】積極的に文章の構成について考え,学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。
国語	4 森と川と海は一つなのだ 文法の小窓2 文の成分 文法(解説)2 文の成分	1 教科書P98を読む。文節と文の成分の関係,連文節,主語・述語の関係について理解する。 2 主語・述語以外の文の成分には修飾語・接続語・独立語があることを理解する。 3 並立の関係・補助の関係について理解する。	【知識・技能】文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ 【態度】すすんで文の成分の順序や照応について理解し,今までの学習を生かして文の構成について理解を深めようとしている。

国語	4　森と川と海は一つなのだ 【書く】 根拠を明確にして意見文を書く	◎情報を安全に利用しよう ○情報技術の特性について考え，情報が社会に与える影響について調べる。 ○望ましい情報社会のための態度について考える。【情活】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	【知識・技能】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【態度】すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し，学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。
国語	4　森と川と海は一つなのだ 広告の情報を考える	1 「学びナビ」を読み，広告の「工夫」について考える。教科書P103の広告にどのようなメッセージがこめられているかを考える。P104の広告を比べて，広告を構成する要素を具体的にあげ，共通点や相違点を整理し広告の「工夫」について理解を深める。 2　P105の写真から一枚を選び，ポスターを作成する。作ったポスターを見せ合い，「工夫」について確認し合う。	【知識・技能】比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して，内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め，学習の見通しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。
国語	5　今は昔、竹取の翁といふ者ありけり 昔話と古典	1　古典の仮名遣いに注意して川柳を読む。昔話を読んだり聞いたりした経験を話し合い，古典の世界に興味・関心をもつ。	【知識・技能】音読に必要な文語のきまりを知り，古文を音読し，古典特有のリズムをとおして，古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】古典には様々な種類の作品があることを知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで音読に必要な文語のきまりを知り，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
国語	5　今は昔、竹取の翁といふ者ありけり 物語の始まり	1『竹取物語』について知っていることを発表したり，前半部を通読したり音読したりする。 2　後半部を通読したり音読したり，歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。 3『竹取物語』について調べ，絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり，話し合ったりして，そのおもしろさを考える。 4　現代語とは違う意味で用いられている語や，現代語ではあまり用いられない語，現代語と同じ意味の語をあげ，古典の言葉と現代語のつながりについて考える。	【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文を音読し，古典特有のリズムをとおして，古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】積極的に古典の世界に親しむとともに，学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
国語	5　今は昔、竹取の翁といふ者ありけり 故事成語	1『矛盾』の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え，発表する。また，『助長』の意味を国語辞典と漢和辞典とでそれぞれ調べ，現在どのような意味で使われているか確認する。 2『矛盾』と『助長』の書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。 3　いろいろな故事成語の意味や由来を調べ，それを使った短い文を書き，発表する。また，訓読のきまりをもとに，いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明する。	【知識・技能】音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り，漢文を音読し，古典特有のリズムをとおして，古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り，学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
国語	5　今は昔、竹取の翁といふ者ありけり 蜘蛛の糸	1　全文を通読し，物語のあらすじを捉える。 2『蜘蛛の糸』以外の近代小説を読む。 3　近代小説についての紹介文を書き，意見を交換する。	【知識・技能】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【態度】すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し，今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。
国語	6　白象は寂しく笑ってそう言った 河童と蛙	1 「学びナビ」を読み，オノマトペの効果について理解し，詩の登場人物の役割を捉え，作品の世界を生かすように朗読する。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【態度】すすんで表現の技法を理解するとともに，詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
国語	6　白象は寂しく笑ってそう言った オツベルと象	1 「学びナビ」を読み，作者と語り手について理解する。 2　全文を音読し，擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか，会話部分に着目しながらまとめる。 4 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと，「第五日曜」のできごとから，共通点と相違点を比べる。 5 「ああ，ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」（教科書P162L7）と，白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い，文章にまとめる。 6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では，牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ，牛飼いがどのような気もちでこの物語を語ったのかを考える。 7『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い，交流したうえで，発表する。	【知識・技能】音声のはたらきや仕組みについて，理解を深めている。(1)ア 【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【態度】粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに，小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
国語	6　白象は寂しく笑ってそう言った 【書く】 随筆を書く	1　身近に起こったこと，経験したことなどを思い浮かべ，そこから新しく発見したことやそのことの自分にとっての意味を考え，随筆に書く内容を決める。 2　読み手をひきつけるような文章の展開を考える。教科書P165を読み，随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで，最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 3　季語辞典，類語辞典などを用いて，よりふさわしい言い回しがないかを考えながら推敲する。 4　書いた随筆を生徒どうしで読み合い，工夫した言い回しを確認し合う。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，文章を整えている。B(1)エ 【態度】粘り強く叙述の仕方などを確かめ，学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
国語	6　白象は寂しく笑ってそう言った 言葉の小窓2 日本語の文字 言葉（解説）2 日本語の文字	1　教科書P166を読んだあと，P264～267までを読み，日本語を書き表す文字の特徴について理解する。	【知識・技能】仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。小5・6(3)ウ 【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み，または漢字を書くとともに，今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

国語	7　子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています 子どもの権利	1「学びナビ」を読んだあと,『子どもの権利』全文を通読し，教科書P171の空欄を補って完成させる。 2　完成したP171を手がかりに，本文の内容を理解する。 3　完成したP171を手がかりに本文の展開を確認し，筆者の説明の仕方の特徴を理解する。 4　筆者の主張を踏まえたうえで，知識を学ぶことや教育を受ける権利について考えたことを話し合う。	【知識・技能】事象や行為を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，自分の考えや根拠が明確になるように，話の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などに注意して，話の構成を考えている。A(1)イ 【態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに，学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
国語	7　子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています 【話す聞く】 調べた内容を聞く	1「学びナビ」を読み，「予想する」ことについて理解する。グループごとに「調べたこと」と「考えたこと」を整理して課題を確認し，解決方法と結果を予想する。 2　教科書P181の報告例を参考にして，グループの考えをまとめる。他のグループの報告を聞き，共通点や相違点を見つけて質問する。 3　第2時を踏まえて，グループの考えをまとめ，考えがどのように変わったかを考える。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。A(1)エ 【態度】積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ，学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。
国語	7　子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています 漢字の広場3 漢字の音と訓	情活 USE Write［メール］ 〇アメリカの友だちに，日本の学校生活や行事を紹介するメールを書く	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。(1)イ 【態度】積極的に漢字を読み，または漢字を書くとともに，今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ	1「学びナビ」を参考に，学習の見通しを立て，全文を通読し，筆者が問いかけている文と，その答えにあたる文を探し，事実と意見を整理しながら筆者の意見を捉える。 2　日光の社寺の世界遺産としてのすばらしさについて，イコモスの専門家を驚かせた点をまとめる。 3「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して，「言葉」の使われ方，果たす役割についてまとめる。 4　筆者の言葉に対する捉え方について話し合い，題名にこめられた筆者の思いに対する自分の考えをまとめる。 5　本文中で人物の語りが「　」の形で引用されていることは，どのような効果をもたらしているかを考える。『参考　地域から世界へ』をあわせて読み，日本の伝統的な文化や技術について考える。	【知識・技能】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え，要旨を把握している。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【態度】すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし，文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 【書く】 読み手を意識して報告文を整える	1「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解する。報告文のテーマを決め，テーマに関わるデータを集める。 2　集めた調査結果を読み取り，書く順序を考える。 3　図表から読み取れることなどを中心に報告文を書く。 4　推敲して完成させる。完成した報告文を生徒どうしで読み合う。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【知識・技能】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，文章を整えている。B(1)エ 【態度】積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに，学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 文法の小窓3 単語のいろいろ 文法（解説）3 単語のいろいろ	1　教科書P222『文法の小窓3』を読む。単語が自立語と付属語とに分けられることを理解する。 2　活用のある単語と活用のない単語の区別を理解したうえで，文の中でのはたらきによって十の品詞に分けられることを理解する。 3　品詞分類表によっての品詞分類の全体像を把握し，具体的な文例に即して言葉を分けて考えることの大切さを理解する。	【知識・技能】単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【態度】すすんで単語の類別について理解を深め，今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う	1「学びナビ」を読んで，「総括する」ことについて理解する。グループで意味を定義する言葉を決め，文例を探したり作ったりする。 2　教科書P225の話し合いの例を参考にして，言葉の意味をどのように定義するかグループで話し合う。 3　第2時のグループの話し合いを深め，さまざまな意見を整理して言葉の定義を決める。 4　言葉の定義が，これまで話し合った内容と合致したものとなっているかをグループで確認する。	【知識・技能】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ 【態度】すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ，学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 漫画で「物語」を表現する	1「学びナビ」P226上段を読んで，漫画の「工夫」について考える。教科書P226下段とP227を読み，漫画の「工夫」について理解する。 2　P228の活動をとおして，漫画のコマの並び方の効果を確かめる。P229の漫画の絵柄や言葉を比較し，作品の解釈や読み手への意識と漫画の絵柄や言葉との関係について考える。	【知識・技能】比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約したり，場面と場面，場面と描写などを結びつけたりして，内容を解釈している。C(1)ウ 【態度】すすんで必要な情報に着目するとともに，学習課題にそって集めた情報を活用しようとしている。
国語	8　ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである 漢字の広場4 熟語の構成	1　複数の漢字を組み合わせて作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し，身近な例を取り上げ，構成法によって意味や内容が大きく変わることに気づかせる。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟語を探す。	【知識・技能】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。(1)イ 【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【態度】積極的に漢字を読み，または漢字を書くとともに，今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
国語	9「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」 四季の詩	1　それぞれの詩のイメージを想像し，どのような季節感が描かれているか話し合う。 2　教科書P238を読み，詩を創作する。	【知識・技能】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，文章を整えている。B(1)エ 【態度】すすんで描写をもとに捉えるとともに，今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
国語	9「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」 少年の日の思い出	1「学びナビ」を読み，作品の語り方と構成を捉える。 2　全文を通読し，あらすじを捉える。 3　現在の場面と回想場面のできごとを整理する。 4「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え，「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 5「エーミール」の部屋を訪ねた時の「僕」の心情の変化を捉え，盗みを犯した理由を考える。 6「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。 7「自分の考えを伝え合おう2」の課題について話し合いながら，語り手について考える。	【知識・技能】事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ 【態度】粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに，学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。

国語	9 「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」 言葉の小窓3 方言と共通語	1 教科書P257を読んだあと，P268～269を読み，内容を理解する。P271「考えてみよう」(1)に取り組む。 P270～271上段までを読み，方言の歴史やさまざまな方言について理解する。P271下段「方言と共通語の使い分け」を読み，「考えてみよう」(2)で調べたことを踏まえて，方言と共通語の使い分けについて考える。	【知識・技能】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ 【態度】すすんで共通語と方言について調べ，学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	朝学習	漢字練習	
書写	詩 「ふしぎ」 金子みすゞ	○よい姿勢や用具の持ち方で，配列よく詩を書くことができる。	【知能・技能】【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い，字形の整え方などを理解している。字間・行間を理解して，行が曲がらないように書いている。 【A】姿勢・執筆や筆使い，字形の整え方などを的確に捉えている。字間・行間を理解して，行が曲がらないように字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】【B】小学校で学習した内容を確認している。 【A】小学校で学習した内容を確認し，自己の課題を捉えている。 【主体的に取り組む態度】【B】詩を書く学習をとおして，書写活動に意欲的に取り組んでいる。 【A】詩を書く学習をとおして，書写学習に課題意識をもって，意欲的に取り組んでいる。
書写	目的に合わせて書こう	○さまざまな角度から文字に対する関心を深め，文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ○中学書写の学習内容が，他教科や日常生活へ広がることを理解できる。	【知能・技能】【B】目的に合わせて書くことを理解している。 【A】目的に合わせて書くことを理解し，他教科や日常生活へ広がることを把握している。 【思考・判断・表現】【B】目的に合わせて書くことを知り，その効果について考えている。 【A】目的に合わせて書くことを知り，その身近な文字の効果を捉えている。 【主体的に取り組む態度】【B】目的に合わせて書くことに関心をもち，書写学習への意欲を高めようとしている。 【A】目的に合わせて書き，書写の学習の成果を，他教科や日常生活へ広げていこうとしている。
書写	姿勢と用具の使い方	○小学校で学習した姿勢・執筆，用具の使い方について確認することができる。	【知能・技能】【B】姿勢・執筆，用具の扱いなどを理解している。 【A】姿勢・執筆，用具の扱いなどを的確に捉えている。 【思考・判断・表現】【B】姿勢・執筆，用具の扱いなどを確認している。 【A】姿勢・執筆，用具の扱いなどを確かめ，把握しようとしている。 【主体的に取り組む態度】【B】姿勢・執筆，用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。 【A】姿勢・執筆，用具の扱いなどを自らすすんで知ろうとしている。
書写	学習の進め方	○学習の進め方を理解することができる。	【知能・技能】 【B】書写の学習の進め方を理解している。 【A】書写の学習の進め方を的確に捉えている。 【思考・判断・表現】 【B】書写の学習の進め方を確認している。 【A】書写の学習の進め方を考え，自己の課題を捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】書写の学習の進め方を理解しようとしている。 【A】書写の学習の進め方を，自らすすんで知ろうとしている。
書写	書写をとおして学んでいくこと	○中学校三年間における書写の学習内容や目標，各学習内容の関係性を理解することができる。	【知能・技能】 【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解している。 【思考・判断・表現】 【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】書写の各学習内容の関係性を捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を，把握しようとしている。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解しようとしている。
書写	扉 第一学年	まとめと発表「情活」「指導事項」 グループ毎に発表の形式で資料の整理、及びまとめ、発表。 【学習への主体的・創造的態度】	【知能・技能】 【B】第一学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。 【思考・判断・表現】 【B】第一学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を考え，自己の課題を捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】第一学年における書写の学習内容や目標を，把握しようとしている。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を，自らすすんで知ろうとしている。
書写	学習内容を効果的にノートに書こう	○ノートの基本的な書き方と，文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】ノートの書き方を理解している。ノートの書き方を理解して書いている。 【A】ノートの書き方を理解し，調和よく書くための方法を把握している。ノートの書き方を理解し，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】ノートの書き方を考えている。 【A】ノートの書き方を考え，調和よく書くための自己の課題を見つけて，解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】ノートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し，その解決に向けて，意欲的に取り組んでいる。
書写	1 筆使い —基本点画— ・基本点画の種類	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して，確認することができる。	【知能・技能】 【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方，字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方，字形の整え方を的確に捉えている。 【思考・判断・表現】 【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が，漢字のどの部分にあてはまるか判断している。 【主体的に取り組む態度】 【B】基本点画を理解しながら，学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し，その解決に向けて，意欲的に取り組んでいる。
書写	2 筆使いと字形 「天地」	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して，字形に注意して書くことができる。	【知能・技能】 【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方，字形の整え方を理解している。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して書いている。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方，字形の整え方を的確に捉えている。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が，漢字のどの部分にあてはまるか判断している。 【主体的に取り組む態度】 【B】基本点画を理解しながら，学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し，その解決に向け意欲的に取り組んでいる。

書写	3 学習を生かして書く ―字形，筆順―	○字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ○毛筆で学習したことを，硬筆に生かすことができる。	【知能・技能】 【B】字形の整え方，筆順の原則を理解している。字形の整え方，筆順の原則を理解して，正しい筆順で書いている。 【A】字形の整え方，筆順の原則を理解し，他の文字の筆順も的確に捉えている。毛筆で学習したことを硬筆にも生かして書いている。 【思考・判断・表現】 【B】字形の整え方，筆順の原則の重要性を確認している。 【A】字形の整え方，筆順の原則の重要性を確認し，把握している。 【主体的に取り組む態度】 【B】字形の整え方，筆順の原則を知ろうとしている。 【A】字形の整え方，筆順の重要性を考えて，意欲的に取り組んでいる。
書写	（コラム）筆，墨，硯，紙について知ろう【適時】	○書写で用いられる用具に興味をもち，材料や産地などのテーマに沿って，調べることができる。	【知能・技能】 【B】筆，墨，硯，紙の製造過程を知り，その特性について理解している。 【A】筆，墨，硯，紙の製造過程を知り，その特性について的確に捉えている。 【思考・判断・表現】 【B】筆，墨，硯，紙についてわかったことなどを話し合い，まとめている。 【A】筆，墨，硯，紙についてテーマをもって調べ，積極的に考えて書いている。 【主体的に取り組む態度】 【B】書写で使用されている用具・用材の製造過程に興味・関心をもっている。 【A】書写で使用されている用具・用材に関心をもち，それらを大切にする心情や態度をとっている。
書写	1 筆脈 「いろは歌」	○平仮名の筆使いや筆脈，配列を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】平仮名の筆使いや筆脈，配列を理解している。平仮名の筆使いや筆脈，配列を理解して書いている。 【A】平仮名の筆使いや筆脈，配列を的確に捉えている。平仮名の筆使いや筆脈，配列を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】紙面全体の調和，筆使いや筆脈，配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて，筆使いや筆脈，配列を的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】平仮名の筆使いや筆脈，配列に関する自己の課題を把握し，その解決に向けて取り組んでいる。 【A】平仮名の筆使いや筆脈，配列に関する自己の課題を把握し，その解決に向けて，意欲的に取り組んでいる。
書写	コンピュータと情報通信ネットワーク 情活（情報社会において自分の責任や義務について考え，行動する）	○楷書に調和する仮名の筆使い，字形を理解して書くことができる。 ○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【知能・技能】 【B】楷書に調和する仮名の筆使いを理解している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いを理解し，字形を整えて書くことを把握している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】楷書に調和する仮名の筆使いについて考えている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いの特徴について，適切に判断している。 【主体的に取り組む態度】 【B】楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し，その解決に向けて，意欲的に取り組んでいる。
書写	3 学習を生かして書く ―行の中心― ・『竹取物語』	○漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解し，調和よく書くことを把握している。漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を考えている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心について，適切に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて，意欲的に書こうとしている。
書写	4 学習を生かして書く ―配列― ・校庭の植物観察をレポートにまとめる	○メモの取り方やレポートの基本的な書き方と，文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】メモの取り方やレポートの書き方を理解している。レポートの書き方を理解して書いている。 【A】メモの取り方やレポートの書き方を理解し，調和よく書くための方法を把握している。レポートの書き方を理解し，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】メモの取り方やレポートの書き方を考えている。 【A】メモの取り方やレポートの書き方を考え，調和よく書くための自己の課題を見つけて，解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】メモの取り方やレポートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
書写	・手紙を書く	○手紙の基本的な書き方を理解し，文字の大きさや配列に注意して書くことができる。	【知能・技能】 【B】手紙の書式と，文字の大きさや配列を理解している。手紙の書式に従って，文字の大きさや配列を理解して書いている。 【A】手紙の書式と，文字の大きさや配列を把握し，調和よく書くことを理解している。手紙の書式に従って，文字の大きさや配列を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】手紙の書式に従って，文字の大きさ，配列を考えている。 【A】用紙の形や書式を考えて，文字の大きさや配列を適切に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】日常生活での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活で書かれる身近な文章について，形式を整えて書こうとしている。
書写	（コラム）季節の行事と書写 【適時】	◎情報を安全に利用しよう ○情報技術の特性について考え，情報が社会に与える影響について調べる。 ○望ましい情報社会のための態度について考える。【情活】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	【知能・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】
書写	5 学校生活に生かして書く ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用）	○伝える相手や目的を明確にして，配列や用具を工夫して書くことができる。	【知能・技能】 【B】伝える相手や目的を明確にして，配列や用具を理解している。さまざまな書式に従って，配列や用具を理解して書いている。 【A】伝える相手や目的を明確にして，配列や用具を把握し，調和よく書くことを理解している。さまざまな書式に従って，配列や用具を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】伝える相手や目的を明確にして，配列や用具を考えている。 【A】さまざまな用紙の形や書式を考えて，配列や用具を適切に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】他教科や日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活の中で書かれる身近な書式について，形式を整えて書こうとしている。

書写	【コラム】文字の変遷 【適時】	○文字の変遷について関心をもつことができる。	【知能・技能】 【B】文字の変遷について理解している。 【A】文字の変遷について理解し，書写学習の参考にしている。 【思考・判断・表現】 【B】文字の変遷について考えている。 【A】文字の変遷について理解したことを，活用できる形で記録している。 【主体的に取り組む態度】 【B】文字の変遷について興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】文字の変遷について興味・関心をもち，意欲的に学習に取り組んでいる。
書写	1 行書学習のはじめに	○残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを理解することができる。	【知能・技能】 【B】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを理解している。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かをよく理解している。 【思考・判断・表現】 【B】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを考えることができる。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを知ろうとしている。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から，行書とはどんな書体かを意欲的に知ろうとしている。
書写	2 楷書と行書の違い「和」	○楷書と行書の違いから，行書の点画の特徴などを理解することができる。	【知能・技能】 【B】楷書と行書の特徴の違いを理解している。 【A】楷書と行書の違いをよく理解している。 【思考・判断・表現】 【B】楷書と行書の特徴の違いに気づいている。 【A】楷書と行書の特徴の違いを的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】楷書と行書の違いを知ろうとしている。 【A】楷書と行書の違いを理解し，行書の特徴について知ろうとしている。
書写	3 行書の筆使い 「大」	○行書の筆使いを確かめることができる。	【知能・技能】 【B】行書の特徴を知り，行書の筆使いについて理解している。行書の筆使いを確かめて書いている。 【A】行書の特徴を知り，行書の筆使いについてよく理解している。行書の筆使いを理解して書いている。 【思考・判断・表現】 【B】行書の筆使いを確かめ，自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いについて，自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】行書の特徴や筆使いなどを知ろうとしている。 【A】行書の特徴や筆使いについて意欲的に知ろうとしている。
書写	4 点画の連続と変化1 「大木」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。 【A】点画の連続と形の変化の筆使いを的確に捉えている。点画の連続と形の変化の筆使いを理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】【B】点画の連続と形の変化を確かめ，自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と形の変化から自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】点画の連続と形の変化について，課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
書写	5 点画の連続と変化2 「栄光」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】点や横画からの連続の筆使いを理解している。点や横画からの連続の筆使いに気をつけて書いている。 【A】点や横画からの連続の筆使いを的確に捉えている。点や横画からの連続の筆使いに気をつけて，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】点や横画からの連続の筆使いを確かめ，自己の課題を考えている。 【A】点や横画からの連続の筆使いから自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】点や横画からの連続の筆使いについて，課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
書写	6 点画の連続と省略 「平和」	○点画の連続と省略を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】点画の連続と省略の仕方を理解している。点画の連続と省略の仕方を理解して書いている。 【A】点画の連続と省略の仕方を的確に捉えている。点画の連続と省略の仕方を理解して，字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】点画の連続と省略の筆使いを確かめ，自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と省略の筆使いから自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】点画の連続と省略の筆使いについて，課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
書写	7 学習を生かして書く ―行書の特徴―	○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	【知能・技能】 【B】これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を把握し，硬筆で字形を整えて書くことを理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解し，硬筆で字形を整えて書いている。 【思考・判断・表現】 【B】これまでに学習してきた行書の特徴から，自己の課題を考えている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴から自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を確かめて，硬筆で意欲的に取り組んでいる。

書写	(コラム)暮らしの文字を支える人々 【適時】	○さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し，職業観を意識することができる。	【知能・技能】 【B】さまざまな活字が，活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解している。 【A】手書きでデザインされた活字が，印象や用途によってさまざまに活用されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 【B】さまざまな活字が，活字デザイナーの手書きをもとに作られていることについて考えている。 【A】手書きでデザインされた活字が，印象や用途によってさまざまに活用されていることについて考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】さまざまな活字が，活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを知ろうとしている。 【A】手書きでデザインされた活字が，印象や用途によってさまざまに活用されていることを知ろうとしている。
書写	書き初めを書く 「新たな決意」 「世界遺産」	○文字の大きさや字間，行の中心などを理解して，配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	【知能・技能】 【B】楷書と仮名の筆使いや字形，文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 　行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。 【A】筆使いや字形，文字の大きさなどを理解して，調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して，配列を整えて書いている。 　行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して，字形を整えて配列よく書いている。 【思考・判断・表現】 【B】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 　行書の特徴や配列について考えている。 【A】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。 　行書の特徴や配列について理解し，調和のさせ方を考えている。 【主体的に取り組む態度】 【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 　自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて，積極的に取り組んでいる。 　自己の課題解決に向けて，積極的に取り組んでいる。

―社会―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	・ノートやワーク、授業用プリントへの取り組み（資料の収集と読み取り、まとめ方と表現力） ・定期テスト、単元テストの知識・技能の問題の達成率 ・社会的事象の意味や意義について、理解している。	・定期考査 ・小テスト　など
思考・判断・表現	・課題解決学習への取り組み（発表学習やレポートの内容） ・話し合い活動における発言、プリントへの取り組み（課題に対する解決方法の記載） ・定期テスト・単元テストの思考・判断・表現の問題の達成率 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる。	・定期考査 ・課題プリント　など
主体的に取り組む態度	・授業への取り組み （発言・持ち物、発表や課題解決学習などテーマ学習に対する意欲） ・ノート・授業用プリントへの取り組み（丁寧さ・工夫・提出期限の厳守） ・レポート等提出課題への取り組み（丁寧さ・内容・提出期限の厳守）] ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・ワーク、ノートの内容など ・授業での様子など

授業細目	単元	学習活動	評価規準
社会・歴史	**第1部　第1節** 歴史をたどろう ◎この絵は何だろう？	絵を活用して，小学校で学んだ内容を取り上げ，歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し，時代を区分することの意味や意義を理解する。	①資料（絵）から歴史に関わる情報を適切に読み取ったり，年表などにまとめたりしている。 ②歴史を大きく変えた人物や出来事などを適切に取り上げ，時代区分との関わりについて考察し表現している。
社会・歴史	1 年代の表し方と時代区分 ◎年代の表し方や時代区分にはどんな種類があるのだろうか。	西暦，世紀，元号の意味と使い方を理解する。 政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。	①歴史上の出来事について，西暦，世紀，元号，時代区分などを使って「いつ起こったか」を適切に説明している。また，古代，中世，近世，近代，現代が，〇〇時代といった時代区分のどの時代と対応するのかを理解し，その知識を身につけ，歴史上の人物が生きた時代区分を適切に説明している。 ②歴史を大きく変えた人物や出来事などを適切に取り上げ，時代区分との関わりについて考察し，「歴史をたどろう」の道の上に，適切に時代区分を書き込んでいる。
社会・歴史	**第1部　第2節** 1　歴史の謎を探る～問いを作ろう～ 【地域学習・八王子学習】高尾山	地域の歴史にふれ，調べてみたいことがらを探し，班で話し合うなどしてから調べる課題を決定する。	①身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心をもち，小学校などで学んだ地域の人物，身近な人の話や言い伝え，地域の気になる建物・風景，遺跡・遺物，行事・風習などから，話し合いをもとに調べるテーマを適切に決めている。 ①図書館，博物館・資料館，インターネットなどから適切に情報を集める技能を身に付けている。
社会・歴史	2　資料をよく見てヒントを探そう	教科書や地域の副読本など，身近な資料から基本的な情報を集め，調べる視点を明確にして，いくつかの予想（仮説）を立てる。 ルートマップなどの地図を用意し，マナーを守りながら野外調査や聞き取り調査を行って，情報を収集し，整理する。	①適切な地図の作り方・年表の作り方，野外・聞き取り調査のしかたを身に付けている。 ①身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統や文化に関するさまざまな資料を収集し，予想に関連のある情報を適切に読み取ったり，事実と事実でないことを区別するなど記録を適切に整理したりしている。 ②野外調査や聞き取り調査を通して，わからなかったことや新たな疑問などを日本の歴史の大きな流れと結びつけて考察し，自分の予想を根拠をもとに適切に表現している。
社会・歴史	3　謎解きの答えを分かりやすくまとめよう	調べたり考えたりしたことを整理し，まとめの報告書（レポート）を作成する。 調べたことを発表し，意見交換を行ったのち，調査全体をふりかえり，改善できる点や工夫できる点を探して，今後の調査活動に生かせるようにする。	①適切なレポートのまとめ方，発表のしかたを身に付けている。 ①調査を通してわかったことがらを適切な項目を立てて整理し，根拠となる資料を年表，地図，写真・イラスト，関係図・流れ図などを用いて表現している。
社会・歴史	**第2部　第1章　第1節** 1 人類がたどった進化 ◎人類は，進化の過程で，どのように生活を変化させてきたのだろうか。	環境の変化とともに，人類はどのように進化してきたのかを，文章や資料から読み取り，表または図にまとめる。	①猿と人類（猿人・原人・新人）の違いについて，表または図に適切にまとめ，理解している。 ①旧石器時代には，日本列島が大陸と陸続きであったこと，現在の日本列島でも当時人類が生活していたことを理解している。 ②旧石器時代と新石器時代の石器の違いや土器が作られるようになったことなどをもとに，環境の変化に合わせて人類の生活がどのように変化したかを考察し，適切に表現している。
社会・歴史	2 世界各地で生まれる文明 ◎古代文明はどのような特徴を持っていたのだろうか。	文明はどのような地域で誕生し，またその地域ではどのようなものが生まれたのかを，文章や地図資料から読み取り，表にまとめる。	①世界の古代文明について，成立した時期，文明が生まれた地域，その地域で生まれたものを表で適切にまとめ，理解している。 ②古代文明が誕生した地域と古代文明に共通する特徴を考察し，都市のおこり，金属器や文字の使用などの特徴について適切に表現している。
社会・歴史	3 東アジアの文明の広がり ◎古代の中国は，どのように統一されていったのだろうか。	中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか，文章や資料から読み取る。	①漢の時代の中国と周辺諸国との関係について，「朝貢」という言葉が意味することを中心に理解している。 ②紀元前3世紀に中国を統一した秦の始皇帝の権力の強さについて考察し，政治のしくみ，兵馬俑坑や万里の長城のような具体的な事例による根拠にもとづいて適切に表現している。
社会・歴史	4 ギリシャとローマの政治と文明 ◎古代のギリシャとローマではどのような政治が展開されたのだろうか。	ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか，文章や資料から読み取り，現代の民主政治と異なる点を考える。	①ギリシャのアテネで行われた民会に参加している人々が成人の男子であることや，ローマ帝国がアジアとの交易を活発に行っていたことを資料から適切に読み取り，理解している。 ②古代ギリシャの民主政や古代ローマの共和政の共通点，現代の民主政治と異なる点とは何かを考察し，政治の権利を持つ人や労働を担う奴隷などに着目して，適切に表現している。
社会・歴史	5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生 ◎仏教・キリスト教・イスラム教はどのようにおこり，広まったのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 古代の四つの文明が誕生し発展するうえで共通する特徴は何か，説明しよう。	世界的な規模で信仰されている宗教は，どのように生まれ，広まっていったのか，文章や地図から読み取る。 ◇各文明が成立したときに出来たものを確認させる。	①仏教，キリスト教，イスラム教が生まれた時期と場所，広まりのようす，シャカ，イエス，ムハンマドが説いたことなどを文章や地図，資料などから適切に読み取り，理解している。 ②古代文明と宗教の関係について地図や資料をもとに考察し，仏教，キリスト教，イスラム教などのおこった地域が，それぞれインドや西アジアなどの世界の古代文明地域と重なり，差別や貧富の差が宗教の誕生する背景として共通していることを適切に表現している。

社会・歴史	**第2部　第1章　第2節** タイムトラベル① 縄文時代を眺めてみよう 紀元前25～前20世紀ごろのある場面 タイムトラベル② 弥生時代を眺めてみよう 紀元2～3世紀ごろのある場面	縄文時代と弥生時代の集落をえがいた想像図を比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があるかを読み取り，各時代の特色を考え，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	①小学校の学習をふまえて，縄文時代と弥生時代の違いについて，道具や建物，作物などに着目し，適切なことがらを読み取っている。 ②人々がたて穴住居に住んでいること，土器をつくって利用していること，稲作の伝来などによって社会が変化し，争いが始まってクニ（国）が現れたりするなど，縄文時代と弥生時代の共通点や相違点を考察し，時代背景などをふまえて適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(22時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の活動場面で ①弥生時代と奈良時代の宗教の違いに着目して，変化があった時期を年表中から適切に選んでいる。 ②『タイムトラベル③』も参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとに，原始・古代の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
社会・歴史	1 縄文から弥生への変化 ◎縄文・弥生時代の日本列島の人々の生活には，どのような特徴があったのだろうか。	縄文時代から弥生時代にかけて，人々の生活はどのように変化したのか，稲作とかかわらせて考える。	①稲作が始まり，米の保存・煮たきに適した弥生土器，稲をたくわえるための高床倉庫，豊作を神に祈る道具として青銅器がつくられ利用されるようになったことなど，弥生時代に人々の生活がどのように変わったか，具体的な事例をもとにして理解している。 ②気候が暖かくなり，森林が広がったこと，稲作が伝わり西日本から東日本に広がるなどの環境の変化に合わせて，生活がどのように変化したかを資料をもとに考察し，適切に表現している。
社会・歴史	2 ムラがまとまりクニへ ◎日本列島のクニはどのようにまとまっていったのだろうか。	日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまっていったのか，中国の歴史書が伝えていることなどをもとに考える。	①『漢書』，『後漢書』，「魏志」倭人伝に書かれた倭（日本）のようすから，紀元前1世紀ごろには100余りの国に分かれていたこと，1世紀の半ばに奴国の王が漢に使いを送り，金印を与えられたこと，3世紀には邪馬台国の女王卑弥呼が30余りの国を治め，中国に使いを送って倭王の称号と金印，銅鏡を得ていたことなどを適切に読み取り，理解している。 ②弥生時代には土地や水の利用をめぐる争いがあったことを，佐賀県の吉野ヶ里遺跡で発掘された大きな集落のあとや，人骨などのような具体的な事例をもとに考察し，根拠にもとづいて適切に表現している。
社会・歴史	3 鉄から見えるヤマト王権 ◎ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 日本列島において，クニができ，勢力を広げていくのに重要だったことは何か，説明しよう。 歴史を探ろう 古墳から分かる当時の様子	ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか，鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。 ◇ムラからクニ，さらにヤマト王権へとまとまる過程を確認させる。	①渡来人が伝えたさまざまな技術について，土器を高温で焼く技術が伝わり，これまでよりも丈夫な須恵器が生産されるようになったことなど，具体的なことがらを理解している。 ②ヤマト王権の勢力拡大に鉄が果たしていた役割を考察し，各地の豪族が，鉄の豊富な朝鮮半島とのつながりがあるヤマト王権と結びつきを強めようとした理由などを，根拠をもって適切に表現している。
社会・歴史	**第2部　第1章　第3節** タイムトラベル③ 奈良時代を眺めてみよう 8世紀ごろのある場面	縄文時代や弥生時代の集落などと奈良時代の国分寺建設のようすをえがいた想像図を比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があるのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	①小学校の学習をふまえて，縄文時代・弥生時代と奈良時代の違いについて，建物や人々の服装，人々が果たしている役割の違いなどに注目し，仏教伝来後の寺院建設など，適切なことがらを読み取っている。 ②建設されている国分寺の近隣の農民がたて穴住居に住んでいること，かつての権力の象徴だった古墳が，奈良時代に重要な役割を果たす仏教寺院の建設に利用されていることなど，縄文・弥生時代と奈良時代の共通点や相違点を考察し，時代背景などをふまえて適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(22時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ①弥生時代と奈良時代の宗教の違いに着目して，変化があった時期を年表中から適切に選んでいる。 ②『タイムトラベル①，②』も参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，古代までの時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
社会・歴史	1 ヤマト王権と仏教伝来 ◎蘇我氏や聖徳太子は，国づくりのためにどのような改革を行ったのだろうか。	蘇我氏や聖徳太子は，どのような国をつくろうとしたのか，蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。	①蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策，隋との結びつきが必要だった理由，仏教が果たした役割を理解している。 ①当時は女性天皇が多く生まれていることなど，系図を適切に読み取る技能を身につけている。 ②仏教を取り入れた理由や遣隋使を派遣した目的を考察し，それぞれの影響についても適切に表現している。
社会・歴史	2 律令国家を目指して ◎東アジア諸国との関係のなかで，倭国(日本)はどのような改革を進めたのだろうか。	東アジア諸国との関係のなかで，倭（日本）はどのような改革を進めたのか，天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料から読み取ってまとめる。	①大宝律令によって生まれた，天皇を頂点とし，太政官が政策を決め，その下の八つの省が実施にあたる中央政府（朝廷）のしくみや，地方を国・郡・里に分け，中央から派遣された国司が，郡司や里長に任命された地方豪族を監督する地方のしくみなどを，本文や図などから適切に読み取り，理解している。 ①唐にならった国づくりをめざす過程で初めてつくられた戸籍や律令，本格的な都によって，天皇を中心とする国のしくみができたことを理解している。 ②中国と朝鮮半島の情勢が日本の動きにどのような影響を与えたかを考察し，日本に逃れた百済の人々や遣唐使が果たした役割について適切に表現している。
社会・歴史	3 律令国家での暮らし ◎奈良時代の土地と税の制度にはどのような特徴があったのだろうか。	奈良時代の土地制度，税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか，資料などをもとに考える。	①戸籍の性別や年齢を偽ることで農民の負担が軽くなる理由を，班田収授法の内容をもとに理解している。 ②班田収授法と墾田永年私財法が定められた理由を，それぞれ具体的な制度上の目的を中心に考察して，適切に表現している。
社会・歴史	4 大陸の影響を受けた天平文化 ◎奈良時代にはどのような特徴を持った文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 日本の古代国家が目指した国とは，どのようなものであったか説明しよう。	奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか，大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇飛鳥時代，奈良時代に行われた政策を確認させる。	①唐を中心とした国際関係などをもとに，国際的な文化が栄えた背景や，『古事記』や『日本書紀』，『風土記』がつくられた理由を理解している。 ①聖武天皇が仏教を支持し，大仏や国分寺と国分尼寺を造らせた理由，仏教文化が広まっていった理由を理解している。
社会・歴史	第2部　第1章　第4節 タイムトラベル④ 平安時代を眺めてみよう 11～12世紀ごろのある場面 ◎奈良時代と比べると，どのような点が変化し，どのような共通点があるだろうか。	平安時代（平安京）における人々や貴族の生活の様子をえがいた想像図を見て，奈良時代（平城京）と比べてどのような点が変化し，どのような共通点があるのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	①小学校の学習をふまえて，貴族の服装や寝殿造など，日本風の文化が描かれていることなど，適切なことがらを読み取っている。 ②碁盤目状の道路という平城京や平安京などの都に共通する特色，日本風で色彩が豊かになっている貴族などの服装の変化など，奈良時代と平安時代の共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(22時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ②『タイムトラベル①，②，③』も参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，古代の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
社会・歴史	1 権力を握った貴族たち ◎平安京では，どのような政治が行われたのだろうか。	平安京に都を移したのち，朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり，なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか，文章や系図などをもとに考える。	①桓武天皇が平安京に都を移した理由，平安時代に幼い天皇が即位しても問題がなかった理由，地方の政治が乱れていった背景について理解している。 ②藤原氏が政治の実権をにぎり続けることができた理由を考察し，系図などの資料をもとに適切に表現している。

社会・歴史	2 唐風から日本風へ変わる文化 ◎平安時代にはどのような特色をもった文化が生まれたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 政治，文化，外国との関わりに着目して，奈良時代と比べて平安時代がどのように変わったか説明してみよう。	平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇奈良時代の天平文化との違いに注目させる。	①奈良時代と比べた平安時代の政治や文化，外国との関わりの特色を理解している。 ①絵巻物の絵の場面には，空間の変化だけでなく，時間の流れを表すものもあること，当時の暮らしぶりや建物の構造が読み取れることがわかっており，絵巻物を読み取る技能を身に付けている。 ②国風文化や新しい仏教の特色について，天平文化や奈良時代の仏教との比較をもとに考察し，代表的な文学作品などの例をあげながら適切に表現している。
社会・歴史	章の学習を振り返ろう 古代国家の成立と東アジア ■章の問い■古代の国が成立するために重要なことは何か。	古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え，最も重要なものを選び，その理由とともに発表し合う。 古代とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	①章の学習を振り返り，歴史的な見方・考え方を働かせて，国が成立するために重要なことを効果的にまとめている。 ②国が成立するために必要な条件に着目するなどして，古代という時代を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③古代の国づくりについて，現代の国家のあり方と比較するなどして，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
社会・歴史	**第2部　第2章　第1節** タイムトラベル⑤ 鎌倉時代を眺めてみよう 13～14世紀ごろのある場面	鎌倉時代の農村のようすをえがいた想像図を見て，平安時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	①小学校の学習をふまえて，武士の屋敷の特徴や弓などの武器が描かれていることなど，平安時代との違いについて，適切なことがらを読み取っている。 ②武士と貴族の屋敷の周辺に農地が広がっていること，牛が人や荷物を運んでいること，武士の屋敷には物見やぐらがあり，周りが堀で囲まれていること，農村にも市が見られることなど，平安時代と鎌倉時代の共通点や相違点を考察し，時代背景などをふまえて適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(37時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の活動場面で②『タイムトラベル⑥』なども参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，中世の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
社会・歴史	1 各地で生まれる武士団 ◎武士はどのようにして力をつけていったのだろうか。	武士はどのようにして現れ，都や地方でどのような役割を果たし，どのように成長していったのかを，文章や資料などから読み取る。	①天皇の子孫でもある源氏や平氏が,各地の武士団を広くまとめ，武士の統率者（棟梁）となっていったことを理解している。 ②人々が武装してみずからの力で紛争を解決しようとする社会が形成された経緯をふまえ，武士が現れて成長していった過程を考察し，都と地方の武士が果たした役割をもとに，適切に表現している。
社会・歴史	2 朝廷と結び付く武士 ◎武士はなぜ政治の実権を握ることができたのだろうか。	平氏はどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり，どのような政治を行い，なぜ滅ぼされたのか，予想を立てたり，文章や資料などから読み取ったりする。	①源氏と平氏が大きな力をもつようになった背景（荘園の権利や境界をめぐる紛争の解決など）や平清盛が政治の実権を握るきっかけとなった出来事（保元の乱と平治の乱に勝利したこと），平氏政権の経済的な基盤が何であるか（日宋貿易）を理解している。 ②武士として初めて政治の権力を握った平清盛がそれを維持しようとしてとった行動の意味を考察し，具体的な事実をふまえながら適切に表現している。
社会・歴史	3 鎌倉を中心とした武家政権 ◎鎌倉を中心とした武士政権は，どのような特徴を持っていたのだろうか。	鎌倉を中心とした武家政権は，どのような特徴をもっていたのか，御家人の視点から考えたり，まとめたりする。	①小学校の学習をふまえ，主従関係のしくみを本文から読み取り，図などを用いて適切にまとめ，理解している。 ①資料をもとにして，承久の乱の勝利をきっかけに，鎌倉幕府と東国の武士による支配が西国にも及ぶようになったことを理解している。 ②御家人にとって，地頭に任じられることが大切だった理由（荘園や公領の支配が可能となる）を考察し，主従関係などをもとにして，適切に表現している。 ②北条氏が執権として御家人をまとめ，長く幕府を運営することができた理由を考察し，源氏との関係や承久の乱の勝利などをもとにして，適切に表現している。
社会・歴史	4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ◎鎌倉時代には，どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 武家政権のしくみの特徴とは何か，「領地」「御家人」という言葉を使って説明してみよう。	鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか，武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇武士が土地を守るためにどのような関係を築いたかを確認させる。	①新たな政治の支配者となった武士の気風にあった鎌倉時代の文化の特色を，具体的な文化財とその特徴をもとにして理解している。 ①鎌倉時代の新しい仏教について，開いた人とその教え，どのような人々に受け入れられたかを読み取り，表を用いて適切にまとめ，理解している。 ②鎌倉で禅宗の影響が強まった理由を考察し，武士に受け入れられた背景や幕府による保護などにふれながら，適切に表現している。
社会・歴史	**第2部　第2章　第2節** 1 海を越えて迫る元軍 ◎蒙古襲来は，鎌倉幕府の政治にどのような影響を与えたのだろうか。 歴史を探ろう 東アジアに開かれた窓口　博多	蒙古襲来はどのような戦いで，幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか，文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。	①フビライ=ハンが中国北部を支配し，国号を元に変えたころから，3度目の日本への遠征を計画したころまでの流れを，年表の形式で適切にまとめ，理解している。 ①蒙古襲来の後，御家人の生活が苦しくなった ②蒙古襲来以後の幕府と御家人の関係の変化を考察し，御家人たちが鎌倉幕府に不満をもつようになった理由を「御恩」と「奉公」という言葉を用いて適切に表現している。
社会・歴史	2 南北朝の内乱と新たな幕府 ◎なぜ鎌倉幕府は行き詰まり，室町幕府が成立したのだろうか。	鎌倉幕府はどのようにしてほろび，その後，政治はどのように変化していったのか，守護と守護大名の違いなどに着目し，資料などから読み取ったり考えたりする。	①鎌倉幕府の崩壊から建武の新政，室町幕府の成立にいたるまでの経緯を，勢力をもっていた人々の関係もふまえながら，流れ図などで適切にまとめ，理解している。 ①室町幕府が将軍の補佐役として管領をおき，有力な守護大名が任命されて政治が行われるようになると，どのような混乱が見られるようになったか，文章から適切に読み取って，理解している。 ②鎌倉時代の守護と室町時代の守護大名の違いについて考察し，勢力をもつようになった理由にふれながら，「軍事」「荘園」「国司」という3語を適切に用いて表現している。
社会・歴史	3 東アジアの交易と倭寇 ◎室町幕府は，東アジア諸国とどのような関係を築いたのだろうか。	室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか，文章や地図などをもとにして，図を用いてまとめる。	①日本（室町幕府）・明・高麗（朝鮮）・倭寇の関係を，政治的な要求や貿易品名（日本の輸入品としては生糸や絹織物，銅銭など）などの経済的な関係を含めて，図を用いて適切にまとめ，理解している。 ②明を中心とした東アジアの伝統的な国際関係に日本が組み込まれ，足利義満が明と勘合貿易を始めた理由を考察し，「朝貢」などの言葉を用いて適切に表現している。
社会・歴史	4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 ◎琉球王国やアイヌの人々は，周辺諸国とどのような関係を築いたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 東アジアとの交流がこの時代の日本にもたらした影響とは何か，政治と経済の面から説明してみ	琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか，資料や地図などをもとにして，図を用いてまとめる。 ◇日本は，特に中国とどのような関係を築いたかに注目させる。	①日本，明，高麗に琉球，アイヌ，シャムやマラッカなどを加えた関係図をまとめ（前時の図に書き加え），交易によって結びついていたこと，琉球も日本と同じように明との朝貢貿易を行っていたことを理解している。 ②琉球王国やアイヌの人々が力をつけた背景として共通している点，特に琉球王国が繁栄し，独自の文化を築くことができた理由（地理的な位置の条件を生かした中継貿易）を考察し，各地域との交易や交流にふれながら，適切に表現している。

社会・歴史	第2部　第2章　第3節 タイムトラベル⑥ 室町時代を眺めてみよう 15世紀ごろのある場面	室町時代の港町のようすをえがいた想像図を見て，鎌倉時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	①鎌倉時代の農村と室町時代の港町の共通点や違いについて，武器を持っている人々などに注目し，適切なことがらを読み取っている。 ②牛や馬が農作業や荷物の運搬に利用されていること，商品の売買に貨幣が使われていること，民衆が集団で訴えを起こしたり，茶や絵画などを楽しだりと民衆が力を持つようになっていることなど，鎌倉時代と室町時代の共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(37時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の活動場面で ①人々のヨコの結びつきを示す場面を適切に読み取っている。 ②『タイムトラベル⑤』なども参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，中世の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
社会・歴史	1 技術の発達とさまざまな職業 ◎鎌倉時代から室町時代にかけて，産業と交通はどのように発展していったのだろうか。	鎌倉・室町時代において，産業と交通はどのように発達したのか，農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場，商業，運送業などの発達に着目させ，絵画資料などから読み取ってまとめる。	①絵画資料などで示されている職業を商業（売ったり運んだりする仕事）と工業（手工業）に分類し，適切にまとめ，理解している。 ②室町時代に職人の種類が飛躍的に増加した理由や，商業がさかんになった理由について考察し，農業生産力の向上や銅銭の大量輸入による貨幣経済の進展，交通の発達にふれながら，適切に表現している。
社会・歴史	2 団結して自立する民衆 ◎人々は，自分たちの目的を成し遂げるために，どのような行動を起こしたのだろうか。	争いや戦乱が続くなかで，人々はどのような行動を起こしたのか，「自分たちの力」「利害」「結びつき」をキーワードにして，資料などからその具体例を見つけ出してまとめる。	①各地で起こった一揆のなかから，おもなものを地図や表などを用いて適切にまとめ，理解している。 ①村や都市でそれぞれどのような自治が行われていたのか，惣や寄合の具体的な運営の方法をふまえて理解している。 ②室町時代の武士や農民，都市の商工業者たちが，主従関係のような「タテのつながり」ではなく，「ヨコのつながり」によって実現しようとしたことを，一揆や惣，寄合のしくみや行動をもとに考察し，適切に表現している。
社会・歴史	3 全国に広がる下剋上 ◎応仁の乱をきっかけに，どのような人が力を付けて，社会は変わっていったのだろうか。	応仁の乱をきっかけに，各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか，地図などをもとに調べたりまとめたりする。	①どのような人が戦国大名となったのか，戦国大名はどのような政策を実施したのか，戦国時代になって天皇や公家・大寺社の力が急速に弱まっていった理由（戦国大名に荘園を奪われたため）とは何かを理解している。 ②戦国大名と守護大名の違いをさまざまな角度から考察し，「領国」「荘園」「分国法」という語を用いて適切に表現している。
社会・歴史	4 庶民に広がる室町文化 ◎室町時代にはどのような特色を持った文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 室町時代の社会のしくみの特徴とは何か，「応仁の乱」，「戦国大名」，「自治」という言葉を使って説明してみよう。	室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇タテとヨコのつながりに注目させる。	①現代の家庭や地域で見られる文化や生活様式などが室町時代に生まれたことを理解し，「衣・食・住・その他」に分けた表を用いて適切にまとめ，理解している。 ①室町時代の社会のしくみの特徴を，応仁の乱後の政治や社会の動きをふまえて理解している。 ②幕府が鎌倉から京都に移ったことによる文化への影響について考察し，禅宗や大陸の影響を受けていた武家の文化と，京都の公家の文化がまじり合っていったことなどにふれながら，適切に表現している。
社会・歴史	章の学習を振り返ろう 武家政権の成長と東アジア ■章の問い■　人々がそれぞれに結び付きを強めていった目的は何か。	中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまとまりに分けて，それぞれのタテとヨコの関係図をつくり，どのような結びつきがなぜ強められたかを考え，話し合う。 中世とはどのような時代か,自分の言葉で表現したり,意見交換を行ったりする。	①章の学習を振り返り，歴史的な見方・考え方を働かせて，中世の武士や庶民の関係図を効果的にまとめている。 ②武士や庶民のタテやヨコの関係に着目するなどして，中世の日本と世界を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③中世に強められた人々の結びつきについて，現代のあり方と比較するなどして，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
社会・歴史	**第2部　第3章　第1節** 1 ヨーロッパの変革 ◎キリスト教に基づいたヨーロッパの文化や社会は，イスラム商人との交流により，どのように変化していったのだろうか。	イスラム勢力の広がりによって，キリスト教中心のヨーロッパはどのように変化したのか，十字軍やルネサンスをもとにして考える。	①11世紀から16世紀にかけて起こったヨーロッパのおもな出来事や，イスラム商人を経てヨーロッパに伝わり，その後のヨーロッパの文化や科学・技術に大きな影響を与えたもの（天文学，羅針盤，火薬），ヨーロッパで発明されたり（活版印刷術），発達したりしたもの（新しい戦術や長距離の航海術）をいくつかあげて，表などで適切にまとめ，理解している。 ②16世紀にキリスト教のカトリック教会に見られた変化をもとに「信仰の見直し」について考察し，宗教改革が起こった理由やカトリック教会の中でも改革が進められた理由を適切に表現している。
社会・歴史	2 大航海時代の幕開け ◎ヨーロッパの人々の進出によって，世界はどのように変化したのだろうか。	新航路を開拓したヨーロッパの国々によって，世界はどのように変化したのか，地図などの資料をもとに考え，ヨーロッパとアジアや南北アメリカとの関係を図でまとめる。	①大航海時代におけるヨーロッパとアジア，南北アメリカとの関係を図に示して適切にまとめ，理解している。 ①スペイン人がアフリカの人々を奴隷としてアメリカに連れて行った理由について，アメリカで行われていた産業に注目して理解している。 ②ポルトガルやスペインがアジアを目指した理由について，交易（香辛料や絹織物を手に入れるため）と布教（キリスト教を広めるため）という2つの面から考察し，適切に表現している。 ②ヨーロッパによる新航路の開拓がアフリカやアメリカ，アジアに与えた影響についてさまざまな面から考察し，適切に表現している。
社会・歴史	3 東アジアの貿易と南蛮人 ◎ヨーロッパの海外進出によって，日本の社会はどのような影響を受けたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ ヨーロッパの国々が進出した地域では，どのような変化が起こったのか，「貿易」と「キリスト教」という言葉を使って説明してみよう。	ヨーロッパとの貿易や交流は，戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか，鉄砲とキリスト教に着目して考える。 ◇各地域の経済と文化がどのように変化したかを確認させる。	①鉄砲が日本に受け入れられて全国に普及していった経緯や，南蛮貿易がさかんになっていったことについて理解している。 ②キリシタンが増加した理由と，キリシタン大名になる者がいた理由について，当時の社会の具体的な状況にもとづいて考察し，「鉄砲」という語も用いて適切に表現している。
社会・地理	**第1部　第1章** 1　私たちの住む地球を眺めて ◎地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また，世界はどのように区分することができるのだろうか。	さまざまな視点から衛星写真を見て，世界や日本の姿を大観する。	①六大陸三大洋，六つの州の位置や名前、分布を理解しているとともに、地球儀や世界地図を使って六大陸や三大洋，六つの州の位置を示すことができる。 ②大陸や海の分布や位置関係を地球儀や世界地図から考えて表現できるとともに，アジア州の中での日本の位置関係を考えて表現できる。
社会・地理	2　いろいろな国の国名と位置 ◎世界のさまざまな国の国名とその位置を覚えるには，どのようなことに注目すればよいだろうか。	国名や面積，形，人口，国旗などに着目し，世界の国々を大観する。	①さまざまな国の面積，形，人口，国旗などを理解するとともに、学習した国を白地図などを活用して主体的に整理しまとめている。 ②さまざまな国の面積，形，人口，国旗などに着目して、世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　緯度と経度 ◎世界の国々や都市を表すには，どのような方法があるのだろうか。	緯度や経度のしくみや使い方，地図帳のさくいんの引き方を理解し，活用する。	①緯度や経度のしくみや使い方，地図帳のさくいんの引き方を理解するとともに、さくいんを使って日本や世界の都市の場所を調べまとめている。 ②緯度や経度のしくみに着目して世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	4　地球儀と世界地図の違い ◎地球儀と世界地図の長所と短所は，それぞれどのような点だろうか。	地球儀と世界地図の構造を調べ，その違いや特色を理解するとともに，地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。	①世界地図の種類ごとに，その長所や短所を理解するとともに、地球儀を使って二点間の距離と方位を調べることができる。 ②地球儀と世界地図とに違いが生じる理由や世界地図の不正確な点や活用法などについて多面的・多角的に考察している。

社会・地理	章の学習を振り返ろう ■章の問い■　世界にはどのような国があり，その位置を表すには，どのような方法があるのだろうか。	世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基 に，世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯 度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 ③世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
社会・地理	**第1部　第2章** 1　世界の中での日本の位置 ◎私たちが暮らす日本の位置は，緯度・経度で見た場合や，世界の他地域から見た場合，どのように表されるのだろうか。	地球儀や世界地図を活用しながら，さまざまな方法で日本の位置を示す。	①緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して，世界からみた日本の位置を読み取ったり，示したりすることができる。 ②地球儀や世界地図を活用しながら，日本の位置の示し方を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	2　時差でとらえる日本の位置 ◎地球上の位置によって，時刻が異なるのはなぜだろうか。	時差のしくみを理解し，日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを考える。	①時差のしくみや等時帯の使い方を理解し、世界の等時帯を示した地図を活用して，さまざまな国や都市の時間を読み取ることができる。 ②日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察する。
社会・地理	3　日本の領域とその特色 ◎海に囲まれた日本の領域には，どのような特色があるのだろうか。	領域のしくみや日本の領域の特色を理解し，日本がかかえる領土問題について主体的に考える。	①領域のしくみや日本の領域の特色，日本が抱える領土問題について理解するとともに、さまざまな資料から我が国が抱える領土問題の経緯や我が国及び各国の主張を調べまとめている。 ②北方領土や竹島，尖閣諸島についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。
社会・地理	4　都道府県と県庁所在地 ◎日本の都道府県と都道府県庁の位置には，どのような特色があるのだろうか。	都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。	①都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べまとめることができる。 ②自分が知っている都道府県の位置や区分を多面的・多角的に考察することができる。
社会・地理	章の学習を振り返ろう ■章の問い■　日本の位置や広がりには，どのような特色があるのだろうか。	日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
社会・地理	**第2部　第1章** 1　世界のさまざまな生活と環境 ◎世界の人々が暮らすそれぞれの地域には，どのような気候の違いがみられるのだろうか。	世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。	①雨温図を活用して世界の気候区分とその特色を調べてまとめ、その結果を理解している。 ②景観写真から得られた情報をもとにその地域の地域的特色を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	2　暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ◎雨が多く気温が高いインドネシアでは，人々はどのような生活をしているのだろうか。	インドネシアの人々の生活のようすから，暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	①雨温図や景観写真からインドネシアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、インドネシアの気候や暑い地域での人々の生活の特色について理解している。 ②観光を目的とした開発が進む中で人々の生活の変化や新たな課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ◎乾燥した地域が広がるアラビア半島では，人々はどのような生活をしているのだろうか。	アラビア半島の人々の生活のようすから，乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	①雨温図や景観写真からアラビア半島の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アラビア半島の気候や乾燥した地域での人々の生活の特色について理解している。 ②水を得るための開発による生活の変化や，新たな課題について，多面的・多角的に考察している。
社会・地理	4　温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ ◎温暖なスペインでは，人々はどのような生活をしているのだろうか。	スペインの人々の生活のようすから，地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	①雨温図や景観写真からスペインでの人々の生活の特色を適切に読み取り、スペインの気候や温暖な地域での人々の生活の特色について理解している。 ②シエスタなどの伝統的な生活の変化や，伝統と現代の生活文化の共存について，多面的・多角的に考察している。
社会・地理	5　寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ◎冬の寒さが厳しいシベリアでは，人々はどのような生活をしているのだろうか。	シベリアの人々の生活のようすから，寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	①雨温図や景観写真からシベリアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、シベリアの気候や寒い地域での人々の生活の特色について理解している。 ②外国文化の流入による生活の変化について，多面的・多角的に考察している。
社会・地理	6　高地の暮らし～アンデス山脈での生活～ ◎標高が高いアンデス山脈の高地では，人々はどのような生活をしているのだろうか。	アンデス山脈の人々の生活のようすから，高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	①雨温図や景観写真からアンデス山脈の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アンデス山脈の気候や高地での人々の生活の特色について理解している。 ②現代化と観光化による人々の生活の変化について，多面的・多角的に考察している。
社会・地理	7　世界各地の衣食住とその変化 ◎世界各地の人々の住居や主食，衣服は，自然環境とどのような関係があり，かつてと比較すると，どのような変化がみられるのだろうか。	世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。	①景観写真や資料図などから世界各地の衣食住の特色を読み取り、世界の地域ごとに衣食住の特色を理解している。 ②世界各地でみられる伝統的な生活様式の変化について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	8　人々の生活と宗教の関わり ◎世界の宗教はどのように分布し，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。	①景観写真からそれぞれの宗教の祈りや習慣の特色を読み取り、世界のさまざまな宗教の特色について理解している。 ②世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	章の学習を振り返ろう ■章の問い■　世界各地の人々の生活は，自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①人々の生活は，その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり，その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に，世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際，世界の主な宗教の分布についても理解している。 ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を，その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

社会・地理	**第2部　第2章　第1節** 1　アジア州の自然環境 ◎ユーラシア大陸の広い範囲を占めるアジア州では，地形や気候にどのような特色がみられるだろうか。	アジア州を地域区分し，地形や気候を中心に，国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①アジア州を地域区分し，自然環境に関するそれぞれの特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから雨季と乾季の違いやそれぞれの特色を調べまとめることができる。 ②雨季と乾季の違いや人口分布の違いなどについてモンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し表現することができる。
社会・地理	2　アジア州の農業・文化と経済発展 ◎世界一の人口集中地域であるアジア州では，どのような農業が行われ，どのような文化が育まれてきたのだろうか。	アジア州の農業について，モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。	①アジア州における農業分布や宗教分布の特色を理解するとともに、降水量や農業分布，宗教別人口などの資料を活用して，地域の特色との関連性について調べ、まとめることができる。 ②年間降水量の違いと農業分布との違いを関連付けてその特色を考察するとともに、人口集中と経済発展とを関連づけてその特色を考察することができる。
社会・地理	3　経済発展を急速に遂げた中国 ◎巨大な人口を抱える中国では，急速な経済発展によって，社会にどのような課題が生じてきているのだろうか。	中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。	①中国の急速な経済発展や地域の変化についてその特色を理解するとともに、さまざまな資料を活用して中国の急速な経済発展と地域の変化との関連について調べまとめることができる。 ②急速な経済発展にともなって進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現している。「SDGs」
社会・地理	4　最も近い隣国，韓国 ◎最も近い隣国である韓国は，生活・文化や社会と産業の変化において，日本とどのような関わりがあるのだろうか。	文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。	①文化や工業の特色について理解しているとともに、輸出の変化や一極集中による課題について調べまとめている。 ②韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	5　経済発展を目指す東南アジア ◎東南アジアの国々は，外国との関わりのなかで，どのような工業化を進め，経済を発展させてきたのだろうか。	外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。	①東南アジアの工業化の実態について理解するとともに、新旧の統計資料を比較して外国企業の進出増加や輸出品目の高度化について調べまとめている。 ②外国企業の進出増加や輸出品目の高度化と経済発展との関連性について他地域との結びつきに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	6　産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア ◎人口増加が続く南アジアの国々は，どのような発展を続けているのだろうか。	南アジアの文化や産業の発展について，人口増加と関連させながら理解する。	①南アジアの文化や産業の発展を経済発展と関連付けて理解し、その特色を調べまとめている。 ②インドでICT関連産業が急速に発達した理由や貧困層に関する課題を多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。
社会・地理	7　資源が豊富な中央アジア・西アジア ◎西アジアや中央アジアの国々の経済成長は，どのような産業が支えているのだろうか。	西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。	①西アジアや中央アジアの経済成長について理解するとともに、資源生産や輸出の特色や変化について調べまとめている。 ②他地域との結びつきに着目して原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。
社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　アジア州における急速な経済成長は，地域にどのような影響を与えているのだろうか。	アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①アジア州の自然環境や社会環境に着目して、アジア州の地域的特色を整理することができる。 ②第1節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジア州の地域的特色、急速な経済発展や人口増加による課題などについて主体的に追究、整理しようとしている。
社会・地理	**第2部　第2章　第2節** 1　ヨーロッパ州の自然環境 ◎ユーラシア大陸の西部に位置するヨーロッパ州では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に，ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①地図や雨温図を活用して，ヨーロッパ州の地形や気候の特色を調べ、まとめている。 ②地球上におけるヨーロッパの位置に着目しヨーロッパの気候が温暖である理由について多面的・多角的に考察し，表現することができる。
社会・地理	2　ヨーロッパ文化の共通性と多様性 ◎多くの国々が集まるヨーロッパの文化には，どのような共通性や多様性があるのだろうか。	位置や分布に着目しながら，ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。	①位置や分布に着目しながら，ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を調べまとめている。 ②位置や分布に着目しながらヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	3　EUの成り立ちとその影響 ◎ヨーロッパでは，国境を越えた結びつきが強まることにより，人々の生活にどのような変化がみられたのだろうか。	ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら，人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。	①ヨーロッパ州の地形や歴史に着目しながら、その特色を調べまとめている。 ②ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら，人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	4　ヨーロッパの農業とEUの影響 ◎ヨーロッパの農業には，地域によってどのような特色があり，EUによる統合によって，どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	①緯度や気候に着目して、ヨーロッパ州の農業の特色を調べまとめている。 ②EU統合が与えた農業の変化やEUの農業政策の実態と課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	5　ヨーロッパの工業とEUの影響 ◎ヨーロッパの工業にはどのような特色があり，EUの統合によって，どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	①資源の分布や工業地域の立地に着目して、ヨーロッパ州の工業の特色を調べまとめている。 ②EU統合がもたらした利点や変化，課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	6　EUが抱える課題 ◎統合を進めてきたEUでは，どのような課題が生じているのだろうか。	EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。	①EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題を調べ、まとめている。 ②EU域内での経済格差に着目しながらそれぞれの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　ヨーロッパ州では，国どうしの結び付きが強まることによって，地域にどのような影響が生じているのだろうか。	ヨーロッパ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①ヨーロッパ州の自然環境や社会環境に着目して、ヨーロッパ州の地域的特色を整理することができる。 ②第2節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。

社会・地理	**第2部　第2章　第3節** 1　アフリカ州の自然環境 ◎アフリカ州の自然環境には，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し，地形や気候を中心に，アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して，アフリカ州の地形や気候の特色を調べまとめている。 ②アフリカ州の気候や地形の特色を赤道を中心に整理し、サヘルの砂漠化について地域に着目しながら多面的多角的に考察し、課題の可決に向けて選択・判断することができる。
社会・地理	2　アフリカの歴史と文化 ◎アフリカ州はどのような歴史をたどり，その文化には，どのような特色がみられるのだろうか。	アフリカの文化の特色や変化について，歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。	①アフリカ州の文化と歴史について理解するとともに、さまざまな資料を活用してヨーロッパとのつながりの歴史や今もなおつながりが深いことによる地域への影響について多面的・多角的に考察することができる。 ②アフリカ連合（AU）の発足によるアフリカ諸国の人々の生活の変化や課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　特定の輸出品に頼るアフリカの経済 アフリカ州の産業にはどのような特色があり，そこにはどのような課題があるのだろうか。	アフリカの産業の実態や課題について，その変化に着目しながら理解する。	①アフリカの産業の実態やモノカルチャー経済について理解するとともに、アフリカ諸国におけるおもな輸出品の変化のグラフなどからアフリカ諸国の変化と努力について調べまとめている。 ②フェアトレードの取り組みに着目し，モノカルチャー経済からの脱却について多面的・多角的に考察し解決策を思考している。「SDGs」
社会・地理	4　アフリカが抱える課題とその取り組み ◎アフリカ州の国々は，どのような課題を抱えており，その解決と発展に向けて，どのように取り組んでいるのだろうか。	アフリカ各国が抱えている問題を理解し，そこからの脱却について考える。	①自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解するとともに、さまざまな資料からアフリカ州が抱えている問題を調べまとめている。 ②自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　アフリカ州の国々では，特定の産物に頼る経済が，地域にどのような影響を与えているのだろうか。	アフリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①アフリカ州の自然環境や社会環境に着目して、アフリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第3節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アフリカ州の地域的特色やモノカルチャー経済からの脱却、アフリカ州の国々の発展や支援の在り方などについて主体的に追究、整理しようとしている。
社会・地理	第2部　第2章　第4節 1　北アメリカ州の自然環境 ◎北アメリカ州の自然環境には，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に，北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①北アメリカ州の自然環境の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して，北アメリカ大陸の自然環境の特色を東西に分けて調べまとめている。 ②西経100度線に着目してを北アメリカ州を東西に分けてそれぞれの気候や地形の特色を多面的・多角的に考察している。
社会・地理	2　移民の歴史と多様な民族構成 ◎北アメリカ州に多様な民族が集まったことは，地域にどのような特色をもたらしたのだろうか。	北アメリカ州の民族構成や地域分布，多様な文化について理解する。	①北アメリカ州の民族構成や地域分布，多様な文化について理解するとともに、さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史，民族構成の特色について調べまとめている。 ②移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国の民族の特色や地域に与える影響について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　大規模な農業と多様な農産物 ◎北アメリカ州で，農産物を大量に生産したり，輸出したりできるのは，なぜだろうか。	北アメリカ州の農業の特色について，世界の食料事情と関連させながら理解する。	①大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色について理解するとともに、北アメリカ州の自然環境に合わせた適地適作が進む農業地域の分布や特色について調べまとめている。 ②巨大企業による生産・輸出の形態や北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさや課題について多面的・多角的に考察している。大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色や課題について主体的に追究、解決しようとしている。
社会・地理	4　世界をリードする工業 ◎アメリカ合衆国の工業は，どのように変化しながら，世界をリードするまでに発展したのだろうか。	アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。	①アメリカ合衆国の工業の特色を，重工業から先端技術産業への変化に着目して理解するとともに、鉱工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺，太平洋沿岸，南部地域に分けて調べまとめている。 ②先端技術産業の躍進などを事例にしながら，アメリカ合衆国が世界に与えるこれからの影響や課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	5　アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題 ◎アメリカ合衆国の人々の生活には，どのような特色があるのだろうか。	アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し，世界への影響や課題を考える。	①アメリカ合衆国のこれまでの大量生産大量消費によるの生活や文化の特色を理解するとともに、野球場や大型ショッピングセンターの駐車場の写真から，アメリカ合衆国における車社会化の発展について調べまとめることができる。 ②大型ショッピングセンターや大手ハンバーガーチェーンを事例として世界中に広がる文化とその影響やこれまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための方策について多面的・多角的に考察することができる。
社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　北アメリカ州では，アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果，地域にどのような影響が生じているのだろうか。	北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①北アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、北アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第4節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北アメリカ州の地域的特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。
社会・地理	第2部　第2章　第5節 1　南アメリカ州の自然環境 ◎南アメリカ州の自然環境には，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に，南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①南アメリカ州の自然環境の特色について理解するとともに、地図を活用して，平原や草原，山脈や高原の分布を読み取りまとめている。 ②南アメリカ州の気候の違いを，標高や緯度の違いと関連付けて多面的・多角的に考察している。
社会・地理	2　多様な民族･文化と人々の生活 ◎南アメリカ州の国々の文化や民族には，どのような特色がみられるのだろうか。	南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。	①南アメリカの多様な民族と人々の生活について理解するとともに、さまざまな資料を活用して先住民の暮らしの変化についてその実態を調べまとめている。 ②南アメリカ州の文化の成り立ちをスペインやポルトガルに進出と植民地時代の歴史の影響と関連付けながら考察するとともに、その変化や課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　大規模化する農業と成長する工業 ◎南アメリカ州の国々で，産業に変化がみられるようになたのはなぜだろうか。	南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について，開発に着目しながら理解する。	①南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について理解するとともに、ブラジルなどを例にして農業開発や資源開発によって南アメリカの国々がモノカルチャー経済から脱却し発展したことを調べまとめている。 ②農業開発や工業開発が南アメリカの経済発展に与えた影響や産業の発展に伴う課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	4　ブラジルにみる開発と環境保全 ◎アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発は，地域の環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 【SDGs】	アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し，より良い地域の在り方について考える。	①アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、環境保全をめぐる新たな課題について調べまとめている。 ②開発と環境保全との持続発展的な両立や環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。「SDGs」

社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　南アメリカ州では，農地や鉱山の開発が進むことによって，地域にどのような影響が生じているのだろうか。	南アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①南アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第5節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、南アメリカ州の地域的特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。
社会・地理	第2部　第2章　第6節 1　オセアニア州の自然環境 ◎オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に，オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	①オセアニア州の自然環境について理解するとともに、地図や雨温図などを活用して自然環境の特色をオーストラリア大陸と，ミクロネシア，ポリネシア，メラネシアの4地域に分けてまとめている。 ②オーストラリア大陸の都市や人口の分布の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、ツバルの海面上昇の問題やその解決について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	2　移民の歴史と多文化社会への歩み ◎オーストラリアやニュージーランドをはじめとするオセアニアの社会は，どのような人々によって成り立っているのだろうか。	オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。	①オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解するとともに、さまざまな景観写真からオセアニアの生活や文化に対するイギリスの影響を読み取りまとめている。 ②オーストラリアが白豪主義から多文化社会へと転換した背景と理由及び多文化社会への転換に関する課題について多面的・多角的に考察している。
社会・地理	3　他地域と結び付いて発展する産業 ◎オーストラリアをはじめとするオセアニアの国々は，他地域と結び付いて，どのように産業を発展させてきたのだろうか。	オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。	①オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色について理解し、さまざまな分布図からオーストラリア大陸の各地で工業や農業がさかんであるところを調べまとめている。 ②オーストラリアの輸出品の変化からオーストラリアの産業の変化や発展をアジアとの結びつきに着目して多面的・多角的に考察している。
社会・地理	節の学習を振り返ろう ■節の問い■　オセアニア州では，他地域との関係が変化してきたことによって，地域にどのような影響が生じているのだろうか。	オセアニア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	①オセアニア州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第6節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジアとの結びつきを強めた多文化社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。

ー数学ー

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨			評価方法
知識・技能		数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理した りする技能を身に付けるようにする。	・定期考査 ・単元テスト ・小テスト　など
思考・判断・表現		数学を活用して事象を論理的に考える力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考える力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に説明する力を養う。	・定期考査 ・単元テスト ・小テスト ・プリントの振り返り　など
主体的に取り組む態度		数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	・定期考査 ・ワークノート ・プリントの振り返り　など

授業細目	単元	学習活動	評価規準
数学	1．正の数・負の数	☆様々な日本一の値を知り，身近な事象として使われている正の数・負の数について知る【思・主】	■思考力，判断力，表現力 ・具体的な場面を正の数と負の数を用いて表そうとする ・正の数と負の数が使われている具体的な場面を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数と負の数のよさに気づいて粘り強く考えようとしている
数学	1．正の数・負の数 1－1 正の数・負の数 0より小さい数	・0より小さい数を学び，数直線に表す ・数の範囲を拡張する【知】	■知識・技能 ・正の数・負の数を数直線上に表すことができる ・数の概念が拡張されたことを知る
数学	1．正の数・負の数 1－2 正の数・負の数 正の数・負の数で量を表すこと	・正の数・負の数を表すには基準があることを学ぶ ・反対の性質を表す2つの言葉を，正の数・負の数を利用し一方のことばで表すことを学ぶ 【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の意味を理解し，利用することができる ■思考力，判断力，表現力 ・具体的な場面を正の数と負の数を用いて表すことができる ・正の数と負の数が使われている具体的な場面を見出すことができる
数学	1．正の数・負の数 1－3 正の数・負の数 絶対値と数の大小	・ある数と，その符号を変えた数との関係を学ぶ ・絶対値の意味を学ぶ 【知・思】	■知識・技能 ・絶対値の意味を理解している ・数直線を用いて，数を表すことができる ■思考力，判断力，表現力 ・基準となる数より，ある数だけ大きい数や小さい数を求める方法を考察し表現することができる
数学	1．正の数・負の数 1－3 正の数・負の数 絶対値と数の大小	・不等号を用いて数の大小を表す ・数直線を用いてある数より大きい数，小さい数を表す【知・思】	■知識・技能 ・数の大小関係を不等号を用いて表すことができる ・数直線を用いて，数を表すことができる ■思考力，判断力，表現力 ・基準となる数より，ある数だけ大きい数や小さい数を求める方法を考察し表現することができる
数学	1．正の数・負の数 1 正の数・負の数	練習問題【知・思】	■知識・技能 ・絶対値，正の数・負の数の大小関係を理解している ・数の大小関係を不等号を用いて表すことができる ・数直線を用いて，数を表すことができる ■思考力，判断力，表現力 ・基準となる数より，ある数だけ大きい数や小さい数を求める方法を考察し表現することができる
数学	1．正の数・負の数 2 正の数・負の数の計算	☆正の数と負の数の加法がどのような数を求める計算であるかを，既習の正の数の加法と関連づけて考える【思・主】	■思考力，判断力，表現力 ・小学校で学習した既習の計算をもとにして，正の数・負の数の計算方法を見出し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・数の範囲を拡張し，正の数・負の数の四則演算の意味や計算の方法を考えようとしている。
数学	1．正の数・負の数 2ー1 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の加法，減法	・加法を数直線を用いて考える ・2数の和の符号について規則性を見出す【思・主】	■思考力，判断力，表現力 ・既習の計算をもとにして，正の数・負の数の計算方法を見出し表現しようとする ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数・負の数の加法の意味や計算の方法を考えようとしている。
数学	1．正の数・負の数 2ー1 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の加法，減法	・正の数・負の数を足す計算【知】	■知識・技能 ・正の数と負の数の加法ができる
数学	1．正の数・負の数 2ー1 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の加法，減法	・正の数・負の数をひく計算（1）【知】	■知識・技能 ・正の数と負の数の減法ができる ・正の数・負の数を用いて，加法を減法に，減法を加法に変換することできる
数学	1．正の数・負の数 2ー1 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の加法，減法	・正の数・負の数をひく計算（2）【知】	■知識・技能 ・正の数と負の数の減法ができる ・正の数・負の数を用いて，加法を減法に，減法を加法に変換することできる
数学	1．正の数・負の数 2ー1 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の加法，減法	・符号をつけない正の数の加法・減法 ・加法の計算法則 ・3数以上の加減【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の加法・減法ができる ・正の数・負の数を用いて，加法を減法に，減法を加法に変換することできる ・加法と減法の混じった式を項の和として表すことができる ■思考力，判断力，表現力 ・2数の加法・減法をもとにして，正の数・負の数の計算方法を見出し表現することができる ・工夫をして加法・減法を行うことができる
数学	1．正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・正の数・負の数の乗法 ・乗法の符号と絶対値の関係性を見つける【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の乗法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・小学校で学習した乗法，絶対値の意味をもとにして，正の数・負の数の計算方法を見出し表現することができる
数学	1．正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・正の数・負の数の除法 ・除法の符号と絶対値の関係を見つける【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の除法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・小学校で学習した乗法，除法をもとにして，正の数・負の数の計算方法を見出し表現することができる
数学	1．正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・負の数の逆数を知り，除法を乗法になおす【知】	■知識・技能 ・負の数の逆数を求めることができる ・除法を乗法になおすことができる
数学	1．正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・小数，分数を含む乗除の計算 ・乗法・除法の計算法則 ・3数の積【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の乗法，除法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・工夫をして3数以上の乗法を行うことができる

数学	1. 正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・3数以上の乗除【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数の乗法，除法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・工夫をして乗法，除法を行うことができる
数学	1. 正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・練習問題(1)【知・思・主】	■知識・技能 ・正の数と負の数の乗法，除法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・工夫をして乗法・除法を行うことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数・負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている
数学	1. 正の数・負の数 2ー2 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の乗法，除法	・練習問題(2)【知・思・主】	■知識・技能 ・正の数と負の数の乗法，除法ができる ■思考力，判断力，表現力 ・工夫をして乗法・除法を行うことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数・負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている
数学	1. 正の数・負の数 2ー3 正の数・負の数の計算 いろいろな計算	・指数の意味と表記方法を知り，指数をふくむ式の計算する【知】	■知識・技能 ・指数の意味を知る ・指数を含んだ四則の計算ができている
数学	1. 正の数・負の数 2－3 正の数・負の数の計算 いろいろな計算	・四則を含む式の計算【知・思・主】	■知識・技能 ・指数を含んだ四則の計算ができている ■思考・判断・表現 ・正の数，負の数の四則が混じった計算の方法について考察し表現する ■主体的に学習に取り組む態度 四則が交じった計算の方法を考えようとしている
数学	1. 正の数・負の数 2－3 正の数・負の数の計算 いろいろな計算	・分配法則を学び，法則を利用したほうが良い計算を学ぶ 【知・主】	■知識・技能 ・分配法則を知る ・分配法則を用いて計算することができる ■思考・判断・表現 ・分配法則を利用したほうが良い計算を考察しようとしている
数学	1. 正の数・負の数 2－4 正の数・負の数の計算 数の世界の広がり	・数の世界を拡張する【知・主】	■知識・技能 ・数の集合の意味を知る ■主体的に学習に取り組む態度 ・数の集合における四則計算の可能性を考えようとしている
数学	1. 正の数・負の数 2－4 正の数・負の数の計算 数の世界の広がり	・素数の意味を学び，自然数を素因数分解する ・素因数分解を用いてどんな数の倍数か推定する【知・思】	■知識・技能 ・素数の意味を理解している ・素数でない自然数を素因数分解することができる ■思考・判断・表現 ・自然数を素数の積で表すことにより，約数，倍数などの整数の性質を関連づけることができる
数学	1. 正の数・負の数 2－4 正の数・負の数の計算 数の世界の広がり	練習問題【知・思】	■知識・技能 ・数の集合の意味を理解している ・素数でない自然数を素因数分解することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・数の集合における四則計算の可能性を考えようとしている
数学	1. 正の数・負の数 3 正の数・負の数の利用	☆大縄跳びの練習する場面を通じて統計的に回数の記録を考える ・データから仮平均を用いて平均を求める(1)【知・思・主】	■知識・技能 ・仮平均を定め，平均を求めることができる ■思考・判断・表現 ・さまざまな事象における変化を正の数・負の数を活用し，表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数・負の数について学んだことを実生活に活かそうとしている
	1. 正の数・負の数 3 正の数・負の数の利用	・データから仮平均を用いて平均を求める(2)【知・思・主】	■知識・技能 ・仮平均を定め，平均を求めることができる ■思考・判断・表現 ・さまざまな事象における変化を正の数・負の数を活用し，表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数・負の数について学んだことを実生活に活かそうとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・正の数と負の数で四則演算できる ・自然数を素数の積として表すことができる ■思考力・判断力・表現力 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりすることができる
数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・正の数と負の数で四則演算できる ・自然数を素数の積として表すことができる ■思考力・判断力・表現力 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりすることができる
数学	1章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・正の数と負の数で四則演算できる ・自然数を素数の積として表すことができる ■思考力・判断力・表現力 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる
数学	2. 文字の式 1ー1 文字を使った式 数量を文字で表すこと	☆画用紙を貼るために必要なマグネットの個数を通して，式に表現することの良さに気づく ・いろいろな数量を文字を使って表す 【思・主】	■思考・判断・表現 ・数量を文字式でどのように表すのかについて考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている
数学	2. 文字の式 1ー2 文字を使った式 文字式の表し方	・文字を使った式の積と商の表し方を学ぶ ・数量を文字式の表し方にしたがって表す 【知・思】	■知識・技能 ・文字式における積と商の表し方を理解し，表すことができる ・数量を文字式に表すことができる ■思考・判断・表現 ・数量を文字式でどのように表すのか考察し表現しようとしている
数学	2. 文字の式 1ー3 文字を使った式 式の値	・文字式がどのような数量を表しているのかをよみとる ・文字の値がいろいろな場合の式の値を求める【知・思・主】	■知識・技能 ・文字式から数量をよみとることができる ・文字の値がいろいろな場合の式の値をもとめることができる ■思考・判断・表現 ・文字式が何を意味しているのかどうか考察し表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・数量を文字式に表したり文字式から数量を読み取ったりしようとしている

数学	2. 文字の式 2－1 文字式の計算 文字式の加法，減法	☆正方形の画用紙を止めるときに必要になるマグネットの個数を表した文字式からどのような考え方で表された式であるかを考える。 ・項，係数，一次式について学ぶ 【知・思・主】	■知識・技能 ・項や係数の意味を理解している ・簡単な一次式の加法と減法を計算することができる ■思考・判断・表現 ・一次式の加法と減法の計算を用いて日常生活と関連づけて表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・一次式の加法と減法の計算の方法を考えたり，計算しようとしている
数学	2. 文字の式 2－1 文字式の計算 文字式の加法，減法	文字式の加法・減法（1）【知】	■知識・技能 ・簡単な一次式の加法と減法を計算することができる
数学	2. 文字の式 2－1 文字式の計算 文字式の加法，減法	文字式の加法・減法（2）【知】	■知識・技能 ・簡単な一次式の加法と減法を計算することができる
数学	2. 文字の式 2－2 文字式の計算 文字式の乗法，除法	文字式の乗法・除法（1）【知・主】	■知識・技能 ・一次式と数の乗法，除法を計算することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・一次式の乗法と除法を計算しようとしている
数学	2. 文字の式 2－2 文字式の計算 文字式の乗法，除法	文字式の乗法・除法（2）【知・思・主】	■知識・技能 ・一次式と数の乗法，除法を計算することができる ■思考・判断・表現 ・既習の乗法の分配法則などを関連付けて，文字式の乗法，除法を行うことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・一次式の乗法と除法を考えたり，計算しようとしている
数学	2. 文字の式 2－3 文字式の計算 関係を表す式	・数量の関係を等式，不等式で表す（1） ・等式，不等式で表された数量の関係をよみとる（1）【知・思】	■知識・技能 ・等号の意味を知る ・数量の関係や法則などを等式や不等式で表すことができる ・等式や不等式の意味をよみとることができる ■思考・判断・表現 ・数量の関係を文字式でどのように表すのか，式が何を意味しているのかを考えることが出来ている
数学	2. 文字の式 2－3 文字式の計算 関係を表わす式	・数量の関係を等式，不等式で表す（2） ・等式，不等式で表された数量の関係をよみとる（2） 【知・思】	■知識・技能 ・等号の意味を理解している ・数量の関係や法則などを等式や不等式で表すことができる ・等式や不等式の意味をよみとることができる ■思考・判断・表現 ・数量の関係を文字式でどのように表すのか，式が何を意味しているのかを考えることが出来ている
数学	2. 文字の式 2－3 文字式の計算 関係を表わす式	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・等号の意味を理解している ・数量の関係や法則などを等式や不等式で表すことができる ・等式や不等式の意味をよみとることができる ■思考・判断・表現 ・数量の関係を文字式でどのように表すのか，式が何を意味しているのかを考えることが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・文字式について学んだことを生活に生かそうとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・主】	■知識・技能 ・基本的な一次式の四則計算ができる ・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式で表すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・文字の式のよさに気づいて粘り強く考え，文字の式について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	章末	学びを身につけよう【知・主】	■知識・技能 ・基本的な一次式の四則計算ができる ・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式で表すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・文字の式のよさに気づいて粘り強く考え，文字の式について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	2章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・基本的な一次式の四則計算ができる ・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式で表すことができる ■思考力，判断力，表現力 ・文字を用いて身近な事象を式に表現することができる ・具体的な場面を一次式の加法と減法の方法を考察し，表現しようとする
数学	3. 方程式 1ー1 方程式とその解	☆電車やバスの運賃を支払うとき，1日乗り放題チケットを買ったほうが良いのか線分図を用いて考える ・方程式の意味を理解する【知・主】	■知識・技能 ・方程式の必要性と意味，方程式の中の文字や解の意味を知る ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式の必要性を考えようとしている
数学	3. 方程式 1ー1 方程式とその解	・等式の性質を理解し，それを用いて方程式を解く（1）【知・思】	■知識・技能 ・等式の性質を知る ・等式の性質を利用し，簡単な方程式を解くことが出来ている ■思考・判断・表現 ・等式の性質を見出すことができる ・等式の性質をもとにして，方程式を解く方法を考察し表現することができる
数学	3. 方程式 1ー1 方程式とその解	・等式の性質を理解し，それを用いて方程式を解く（2）【知】	■知識・技能 ・等式の性質を知る ・等式の性質を利用し，簡単な方程式を解くことが出来ている ■思考・判断・表現 ・等式の性質を見出すことができる ・等式の性質をもとにして，方程式を解く方法を考察し表現することができる
数学	3. 方程式 1ー2 方程式の解き方	・移項を理解し，それを用いて方程式を解く【知・思】	■知識・技能 ・移項を用いて方程式を解くことができる ・方程式を解く手順を理解している ・簡単な方程式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・等式の性質をもとにして，移項して方程式を解く方法を考察し表現することができる
数学	3. 方程式 1ー2 方程式の解き方	・かっこがある方程式や分数をふくむ方程式を解く【知・思】	■知識・技能 ・移項を用いて方程式を解くことができる ・方程式を解く手順を理解している ・簡単な方程式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・等式の性質をもとにして，移項して方程式を解く方法を考察し表現することができる

数学	3. 方程式 1ー2 方程式の解き方	・方程式を解くときの工夫について学ぶ【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式を解く手順を理解している ・工夫をして方程式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・等式の性質をもとにして，方程式を解く方法を考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・等式の性質と移項及びその関係について考えようとしている
数学	3. 方程式 1ー3 比と比例式	・比の値，比例式を学び，比例式の性質を用いて比例式を解く【知・思・主】	■知識・技能 ・比の値，比例式の意味を理解している ・簡単な比例式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・既習の方程式を用いて比例式を解くことが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例式を解く方法を考えたり，解いたりしようとしている
数学	3. 方程式 1ー3 比と比例式	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・比の値，比例式の意味を理解している ・簡単な比例式を解くことが出来ている ■思考・判断・表現 ・既習の方程式を用いて比例式を解くことが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例式を解く方法を考えたり，解いたりしようとしている
数学	3. 方程式 2ー1 方程式の利用	☆先生からの手紙を読み，方程式を利用して問題を解決する ・様々な身の周りの問題を方程式を用いて解決する(1)【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式を活用して問題を解決することが出来ている ・事象の中の数量や関係に着目して方程式をつくり，解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面を方程式を用いて表現できる ・求めた解や解法を振り返り，適切に考え表現できているか考察することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	3. 方程式 2ー1 方程式の利用	・様々な身の周りの問題を方程式を用いて解決する(2)【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式を活用して問題を解決することが出来ている ・事象の中の数量や関係に着目して方程式をつくり，解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面を方程式を用いて表現できる ・求めた解や解法を振り返り，適切に考え表現できているか考察することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	3. 方程式 2ー1 方程式の利用	・様々な身の周りの問題を方程式を用いて解決する(3)【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式を活用して問題を解決することが出来ている ・事象の中の数量や関係に着目して方程式をつくり，解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面を方程式を用いて表現できる ・求めた解や解法を振り返り，適切に考え表現できているか考察することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	3. 方程式 2ー1 方程式の利用	・様々な身の周りの問題を方程式を用いて解決する(4)【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式を活用して問題を解決することが出来ている ・事象の中の数量や関係に着目して方程式をつくり，解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面を方程式を用いて表現できる ・求めた解や解法を振り返り，適切に考え表現できているか考察することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	3. 方程式 2ー2 比例式の利用	・比例式を利用する方程式の問題を学ぶ 【知・思・主】	■知識・技能 ・事象の中の数量やその関係に着目して比例式をつくり，比例式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面で比例式を活用できている ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例式で学んだことを生活や学習に生かそうとしている
数学	3. 方程式 2ー2 比例式の利用	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・事象の中の数量やその関係に着目して比例式をつくり，比例式を解くことができる ■思考・判断・表現 ・具体的な場面で比例式を活用できている ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例式で学んだことを生活や学習に生かそうとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式の必要性と意味を理解している ・簡単な方程式，比例式を解くことができる ■思考力，判断力，表現力 ・方程式，比例式を具体的な場面で活用することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式のよさに気づいて粘り強く考え，方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている
数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・方程式の必要性と意味を理解している ・簡単な方程式，比例式を解くことができる ■思考力，判断力，表現力 ・方程式，比例式を具体的な場面で活用することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・方程式のよさに気づいて粘り強く考え，方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている
数学	3章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・方程式の必要性と意味を理解している ・簡単な方程式，比例式を解くことができる ■思考力，判断力，表現力 ・方程式，比例式を具体的な場面で活用することができる
数学	4. 変化と対応 1ー1 関数 関数	☆正方形から箱をつくるとき，四隅か切り取る正方形の大きさにともなって変化する数量を考える ・関数の意味を理解する【知・主】	■知識・技能 ・関数関係の意味を知る ■主体的に学習に取り組む態度 ・関数関係を捉えたりしようとしている

数学	4. 変化と対応 1ー1 関数 関数	・表やグラフを用いて関数の特徴を調べる【知・思・主】	■知識・技能 ・関数関係の意味を理解している ・関数の関係を表やグラフ，式で表すことができる ■思考・判断・表現 ・2つの数量の関係を表している表やグラフをもとにして，変化や対応の様子を捉え表現できる ■主体的に学習に取り組む態度 ・関数関係を表やグラフなどで表したり，変化や対応の様子を捉えたりしようとしている
	4. 変化と対応 1ー1 関数 関数	・変域の意味を理解し，不等号を用いて表す【知】	■知識・技能 ・関数の変数と変域を表現することができる
数学	4. 変化と対応 1ー1 関数 関数	・様々な数量を関数として表す【知・思・主】	■知識・技能 ・様々な数量を関数として表すことができる ■思考・判断・表現 ・2つの数量の関係を表している表やグラフをもとにして，変化や対応の様子を捉え表現できる ■主体的に学習に取り組む態度 ・関数関係を表やグラフなどで表したり，変化や対応の様子を捉えたりしようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー1 比例 比例の式	☆線香を燃やす時間と燃えた長さの関係をまとめ表から規則性をよみとる ・定数を理解し，比例の関係が定数を用いて表せることを学ぶ【知・思・主】	■思考・判断・表現 ・2つの数量の関係について，変化や対応の様子に着目して調べ，比例の関係として捉えられる2つの数量を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・具体的な事象から，比例の関係と推定される2つの数量を見出し，その関係を式で表したりしようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー1 比例 比例の式	・変数や比例定数が負の場合について考える ・与えられた条件から比例の式を求める 【知・思・主】	■知識・技能 ・比例の関係を表や式に表すことができる ・比例の特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・変数や定数が負の場合について，比例の変化や対応の特徴を考察しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・変数や定数が負の場合について，比例の変化や対応の特徴を考えようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー1 比例 比例の式	練習問題 【知・思・主】	■知識・技能 ・比例の特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・2つの数量の関係について，変化や対応の様子に着目して調べ，比例の関係として捉えられる2つの数量を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・具体的な事象から，比例の関係と推定される2つの数量を見出し，その関係を式で表したりしようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー2 比例 座標	・座標軸を用いることにより，任意の点の位置を示せることを学ぶ ・座標の意味を理解し，座標平面状から座標をよみとる【知・思・主】	■知識・技能 ・座標の意味を知る ・座標平面に点をとることができている ・座標平面の点を座標を用いて表すことができる ■思考・判断・表現 ・小学校で学習している座標を負の数に拡張している ■主体的に学習に取り組む態度 ・座標をもとにして平面上に点を取ったり，平面上の点を座標を用いて表したりしようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー3 比例 比例のグラフ	・比例のグラフの特徴をよみとる（1） ・比例のグラフの意味，書き方，特徴を学ぶ（1）【知・思】	■知識・技能 ・比例をグラフで表すことができる ・比例のグラフの特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・変数や定数が正の場合について，比例のグラフの特徴を考察し表現することが出来ている
数学	4. 変化と対応 2ー3 比例 比例のグラフ	・比例のグラフの特徴をよみとる（2） ・比例のグラフの意味，書き方，特徴を学ぶ（2）【知・思・主】	■知識・技能 ・比例をグラフで表すことができる ・比例のグラフの特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・変数や定数が負の場合について，比例のグラフの特徴を考察し表現することが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・変数や定数が負の場合について，比例のグラフの特徴を捉えようとしている
数学	4. 変化と対応 2ー3 比例 比例のグラフ	・比例の式，表，グラフの相互の関係をまとめる 練習問題【思・主】	■思考・判断・表現 ・比例の式，表，グラフの相互の関係を考察し表現することが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・変数や定数が負の場合について，比例のグラフの特徴を捉えようとしている
数学	4. 変化と対応 3ー1 反比例 反比例の式	☆同じ面積の長方形を複数書くことによって，ともなって変わる量を見つけ，関係性を学ぶ【思・主】	■思考・判断・表現 ・2つの数量の関係について，変化や対応の様子に着目して調べ，反比例の関係として捉えられる2つの数量を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・具体的な事象から，反比例の関係と推定される2つの数量を見出し，その関係を式で表したりしようとしている
数学	4. 変化と対応 3ー1 反比例 反比例の式	・反比例の関係を式に表す ・反比例の性質を学ぶ【知・思・主】	■知識・技能 ・反比例の関係を表や式に表すことができる ・反比例の特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・変数や定数が負の場合について，反比例の変化や対応の特徴を考察しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・具体的な事象から，反比例の関係と推定される2つの数量を見出し，その関係を式で表したりしようとしている
数学	4. 変化と対応 3ー1 反比例 反比例の式	・与えられた条件から反比例の式を求める 練習問題【知】	■知識・技能 ・与えられた条件から反比例の式をもとめることができる
数学	4. 変化と対応 3ー2 反比例 反比例のグラフ	・反比例のグラフの特徴をよみとる（1） ・反比例のグラフの意味，書き方，特徴を学ぶ（1）【知・思】	■知識・技能 ・反比例をグラフで表すことができる ・反比例のグラフの特徴を読み取ろうとしている ■思考・判断・表現 ・反比例のグラフの特徴を考察し表現することが出来ている

数学	4. 変化と対応 3ー2 反比例 反比例のグラフ	・反比例のグラフの特徴をよみとる(2) ・反比例のグラフの意味，書き方，特徴を学ぶ(2)【知・思】	■知識・技能 ・反比例をグラフで表すことができる ・反比例のグラフの特徴を理解している ■思考・判断・表現 ・変数や定数が負の場合について，反比例のグラフの特徴を考察し表現することが出来ている
数学	4. 変化と対応 3ー2 反比例 反比例のグラフ	・反比例の式，表，グラフの相互の関係をまとめる 練習問題【知・思・主】	■思考・判断・表現 ・反比例の式，表，グラフの相互の関係を考察し表現することが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・変数や定数が負の場合について，反比例のグラフの特徴を捉えようとしている
数学	4. 変化と対応 4ー1 比例・反比例の利用 比例，反比例の利用	☆リサイクルする紙パックから作ることができるトイレットペーパーの個数をほかの町の結果から推定する ・身の回りの場面の問題を，比例や反比例を利用して解決する【知・思・主】	■知識・技能 ・具体的な事象を比例，反比例とみなすことでんかや対応の様子について調べたり予測できるようになるものがあることを知る ■思考・判断・表現 ・2つの数量をもつ具体的な事象が比例か反比例か判断し，その変化や対応の特徴を捉え表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている
数学	4. 変化と対応 4ー1 比例・反比例の利用 比例，反比例の利用	・比例のグラフから数量の関係を読み取り問題を解決する【思・主】	■思考・判断・表現 ・2つの数量をもつ具体的な事象が比例か反比例か判断し，その変化や対応の特徴を捉え表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・関数の意味を理解することができる ・数量の関係を見て比例，反比例を判断できる ・座標の意味を理解している ・比例，反比例の関係を表，式，グラフに表すことができる ■思考・判断・表現力 ・比例，反比例の共通点や異なる点を表，式，グラフから特徴を見出すことができる ・比例，反比例の意味を用いて具合的な事象を考察し，表現することができる ■主体系に学習に取り組む態度 変化と対応のよさに気づいて粘り強く考え，変化と対応について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・関数の意味を理解することができる ・数量の関係を見て比例，反比例を判断できる ・座標の意味を理解している ・比例，反比例の関係を表，式，グラフに表すことができる ■思考・判断・表現力 ・比例，反比例の共通点や異なる点を表，式，グラフから特徴を見出すことができる ・比例，反比例の意味を用いて具合的な事象を考察し，表現することができる ■主体系に学習に取り組む態度 変化と対応のよさに気づいて粘り強く考え，変化と対応について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	4章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・関数の意味を理解することができる ・数量の関係を見て比例，反比例を判断できる ・座標の意味を理解している ・比例，反比例の関係を表，式，グラフに表すことができる ■思考・判断・表現力 ・比例，反比例の共通点や異なる点を表，式，グラフから特徴を見出すことができる ・比例，反比例の意味を用いて具合的な事象を考察し，表現することができる
数学	5. 平面図形 1ー1 直線と図形 直線と図形	☆かりんさんのいる場所を，かりんさんの話から推測する ・直線，線分，半直線の意味を理解し，判別できるようになる【知・思・主】	■知識・技能 ・平行や垂直の記号を用いて2平面の位置関係を表すことができる ・点と直線や2直線間の距離の意味を理解している ■思考・判断・表現 ・平面における2直線の位置関係を見出し，表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・数学記号を用いて表現することの必要性と意味について考えようとしている
数学	5. 平面図形 1ー1 直線と図形 直線と図形	・2点間の距離を学ぶ ・角の意味を知り，記号を用いて表す【知・主】	■知識・技能 ・2点間の距離の意味を理解している ・角度を記号を用いて表すことが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・数学記号を用いて表現することの必要性と意味について考えようとしている
数学	5. 平面図形 1ー1 直線と図形 直線と図形	・垂直な2直線，平行な2直線の意味と表し方を学ぶ ・平行な2直線の距離を学ぶ ・三角形の表し方を学ぶ【知・思】	■知識・技能 ・垂直の記号を用いて2平面の位置関係を表すことができる ・三角形を記号を用いて表すことが出来ている ■思考・判断・表現 ・平面における2直線の位置関係を見出し，表現することができる
数学	5. 平面図形 2ー1 移動と作図 図形の移動	☆折りたたんだ折り紙にはさみを入れ広げたものを見て，切り取られた図形の関係性に気づく ・平行移動の意味を知り，平行移動した図形を書けるようになる【思・主】	■思考・判断・表現 ・移動前と移動後の2つの関係に着目して，図形の性質や関係を見出すことが出来ている ■主体的に学習に取り組む態度 ・平行移動，回転移動及び対称移動の意味を考え，移動の前後の2つの図形の性質や関係について考えようとしている
数学	5. 平面図形 2ー1 移動と作図 図形の移動	・回転移動の意味を知り，回転移動した図形を書けるようになる ・対称移動の意味を知り，対称移動した図形を書けるようになる ・図形を移動する様子からどのような移動を組み合わせているかを説明する【知・主】	■知識・技能 ・図形を平行移動や回転移動，対称移動させることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・平行移動，回転移動及び対称移動の意味を考え，移動の前後の2つの図形の性質や関係について考えようとしている
数学	5. 平面図形 2ー2 移動と作図 基本の作図	・作図の基本を学ぶ ・線分の垂直二等分線の作図し，なぜコンパスや定規を用いて作図できるかを考える【知・思】	■知識・技能 ・作図の基本を知る ・垂直二等分線の作図ができる ■思考・判断・表現 ・図形を決定する要素に着目することによって，垂直二等分線の作図を考察しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・線分の垂直二等分線などの基本的な作図の方法を考えたり，作図しようとしている
数学	5. 平面図形 2ー2 移動と作図 基本の作図	・角の二等分線の作図し，なぜコンパスや定規を用いて作図できるかを考える【知・思】	■知識・技能 ・角の二等分線の作図ができる ■思考・判断・表現 ・図形を決定する要素に着目することによって，角の二等分線の作図を考察しようとしている

数学	5. 平面図形 2ー2 移動と作図 基本の作図	・垂線を作図し，なぜコンパスや定規を用いて作図できるかを考える【知・思】	■知識・技能 ・垂線の作図ができる ■思考・判断・表現 ・図形を決定する要素に着目することによって，垂線の作図を考察しようとしている
数学	5. 平面図形 2ー3 移動と作図 図形の移動と基本の作図の利用	・羊を放牧場から小屋へ移動させる場面を見て，最短経路を考える【知・思・主】	■知識・技能 ・具体的な場面で，図形の移動や基本的な作図ができる ■思考・判断・表現 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用できる ■主体的に学習に取り組む態度 ・図形の移動や基本的な作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている
数学	5. 平面図形 2ー3 移動と作図 図形の移動と基本の作図の利用	・様々な角度の作図方法について考える【知・思・主】	■思考・判断・表現 ・基本的な作図を用いて，様々な角度の書き方について考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている
数学	5. 平面図形 2ー3 移動と作図 図形の移動と基本の作図の利用	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・基本的な作図ができる ■思考・判断・表現 ・図形の対称性や図形を決定する要素に着目しながら，作図をすることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・基本的な作図の方法を考えたり，作図しようとしている
数学	5. 平面図形 2ー4 移動と作図 円とおうぎ形	☆ケーキを5等分する場面を通して，なぜ5等分できているかを考える ・円の弧，弦，弧に対する中心角の意味を学び，表す【知・主】	■知識・技能 ・円やおうぎ形にまつわる言葉の意味を理解している ■主体的に学習に取り組む態度 ・円やおうぎ形の性質について考えようとしている
数学	5. 平面図形 2ー4 移動と作図 円とおうぎ形	・直線が円に接する，接線，接点の意味と円の性質を学ぶ ・おうぎ形とおうぎ形の中心角の意味を知る【知・思】	■知識・技能 ・接線や接点の意味を知る ・おうぎ形の中心角の意味を知る ・円の接線を作図できる ■思考・判断・表現 ・円の接線の性質をもとにして，接線を作図する方法を考察しようとしている
数学	5. 平面図形 2ー5 移動と作図 円とおうぎ形の計量	・中心角に対するおうぎ形の弧の長さや面積の関係を学ぶ(1) ・πの意味を知り，πを用いて円周の長さと面積を求める(1) ・おうぎ形の弧の長さと面積を求める(1)【知・思・主】	■知識・技能 ・πの意味を知る ・おうぎ形の弧の長さを求めることができる ■思考・判断・表現 ・おうぎ形の弧の長さや中心角の求め方について考察し表現することができる ・おうぎ形の中心角と弧の長さの関係を見出そうとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・おうぎ形の弧の長さの求め方について考えようとしている
数学	5. 平面図形 2ー5 移動と作図 円とおうぎ形の計量	・中心角に対するおうぎ形の弧の長さや面積の関係を学ぶ(2) ・πの意味を知り，πを用いて円周の長さと面積を求める(2) ・おうぎ形の弧の長さと面積を求める(2)【知・思・主】	■知識・技能 ・おうぎ形の面積を求めることができる ■思考・判断・表現 ・おうぎ形の面積，中心角の求め方について考察し表現することができる ・おうぎ形の中心角と面積の関係を見出そうとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・おうぎ形の面積，中心角の求め方について考えようとしている
数学	5. 平面図形 2ー5 移動と作図 円とおうぎ形の計量	・中心角に対するおうぎ形の弧の長さや面積の関係を学ぶ(3) ・πの意味を知り，πを用いて円周の長さと面積を求める(3) ・おうぎ形の弧の長さと面積を求める(3)【知・思・主】	■知識・技能 ・おうぎ形の弧の長さと面積の求めることができる ■思考・判断・表現 ・おうぎ形の中心角と弧の長さや面積との関係を見出そうとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・おうぎ形の弧の長さや面積，中心角の求め方について考えようとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・平行移動，回転移動，対称移動について理解し，移動後の図形を書くことができる ・線分の垂直二等分線，角の二等分線，垂線を作図することができる ・円の面積や円周，おうぎ形の面積や弧の長さをπを用いて求めることができる ■思考力，判断力，表現力 ・基本的な作図の方法を図形の性質から考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・平面図形のよさに気づいて粘り強く考え，平面図形について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・平行移動，回転移動，対称移動について理解し，移動後の図形を書くことができる ・線分の垂直二等分線，角の二等分線，垂線を作図することができる ・円の面積や円周，おうぎ形の面積や弧の長さをπを用いて求めることができる ■思考力，判断力，表現力 ・基本的な作図の方法を図形の性質から考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・平面図形のよさに気づいて粘り強く考え，平面図形について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	5章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・平行移動，回転移動，対称移動について理解し，移動後の図形を書くことができる ・線分の垂直二等分線，角の二等分線，垂線を作図することができる ・円の面積や円周，おうぎ形の面積や弧の長さをπを用いて求めることができる ■思考力，判断力，表現力 ・基本的な作図の方法を図形の性質から考察し表現することができる
数学	6. 立体図形 1ー1 立体と空間図形 いろいろな立体	☆7つの立体を多様な視点から分類分けする ・角錐や円錐や，底面，側面，頂点の名称を学ぶ【知・思】	■知識・技能 ・角錐や円錐の名称を知る ■思考・判断・表現 ・形や構成する面に着目して，立体の特徴を考察し表現しようとしている
数学	6. 立体図形 1ー1 立体と空間図形 いろいろな立体	・柱体や錐体の特徴を学ぶ ・どのような立体が多面体なのか学ぶ【知・思】	■知識・技能 ・柱体や錐体，多面体の意味を理解している ■思考・判断・表現 ・形や構成する面に着目して，立体の特徴を考察し表現しようとしている

数学	6. 立体図形 1ー1 立体と空間図形 いろいろな立体	・角柱や角錐の特徴を見取り図や展開図，投影図を用いて捉える（1） ・円柱や円錐の特徴を見取り図や展開図，投影図を用いて捉える（1）【知・思】	■知識・技能 ・見取り図，展開図，投影図の意味を理解している ・見取り図，展開図，投影図からどのような立体を表しているかよみとることができる ■思考・判断・表現 ・見取り図，展開図，投影図を用いて，立体の性質を見出すことができる ・立体の性質を見取り図，展開図，投影図を目的に応じて相互に関連付けて考察し表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・立体を見取り図や展開図，投影図を用いて読み取ろうとしている
数学	6. 立体図形 1ー1 立体と空間図形 いろいろな立体	・角柱や角錐の特徴を見取り図や展開図，投影図を用いて捉える（2） ・円柱や円錐の特徴を見取り図や展開図，投影図を用いて捉える（2） 【知・思】	■知識・技能 ・見取り図，展開図，投影図の意味を理解している ・見取り図，展開図，投影図からどのような立体を表しているかよみとることができる ■思考・判断・表現 ・見取り図，展開図，投影図を用いて，立体の性質を見出すことができる ・立体の性質を見取り図，展開図，投影図を目的に応じて相互に関連付けて考察し表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・立体を見取り図や展開図，投影図を用いて読み取ろうとしている
数学	6. 立体図形 1ー2 立体と空間図形 空間内の平面と直線	・平面が1つに決まる条件を学ぶ ・空間内での2直線の位置関係を学ぶ【知・思】	■知識・技能 ・空間における直線や平面の位置関係を答えることができる ■思考・判断・表現 ・空間における直線と直線の位置関係がどのような場合があるか考察しようとしている
数学	6. 立体図形 1ー2 立体と空間図形 空間内の平面と直線	・空間内での直線と平面の位置関係を学ぶ ・点と平面の距離を学び，柱体や錐体の高さと結びつける【知・思】	■知識・技能 ・空間における直線や平面の位置関係を答えることができる ■思考・判断・表現 ・空間における直線と平面の位置関係がどのような場合があるか考察しようとしている
数学	6. 立体図形 1ー2 立体と空間図形 空間内の平面と直線	・空間内での2平面の位置関係を学ぶ 【知・思】	■知識・技能 ・空間における平面の位置関係を答えることができる ■思考・判断・表現 ・空間における平面と平面の位置関係がどのような場合があるか考察しようとしている
	6. 立体図形 1ー2 立体と空間図形 空間内の平面と直線	・身の回りから平面と垂線の位置関係となっているものを見つける ・身の回りから身近な2平面の位置関係となっているものを見つける【思・主】	■思考・判断・表現 ・空間における直線と直線，直線と平面，平面と平面の位置関係がどのような場合があるか考察しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 空間における直線や平面の位置関係について学んだことを学習や生活にいかそうとしている
数学	6. 立体図形 1ー3 立体と空間図形 立体の構成	・平面図形を平行に動かしてできる立体を想像する ・平面図形を回転させてでいる立体を想像する【知・思・主】	■知識・技能 ・平面図形や線分の運動によってどのような立体が構成されてるのかを理解している ■思考・判断・表現 ・柱体，錐体，球などの立体を，平面図形や線分の運動によって構成されていることを理解している ■主体的に学習に取り組む態度 ・平面図形や線分の運動によって構成される立体について考えようとしている
数学	6. 立体図形 1ー3 立体と空間図形 立体の構成	・直線を平面図形の周に沿って動かしてできる立体を想像する ・母線の意味を学ぶ 【知・思・主】	■知識・技能 ・平面図形や線分の運動によってどのような立体が構成されてるのかを理解している ■思考・判断・表現 ・柱体，錐体，球などの立体を，平面図形や線分の運動によって構成されていることを理解している ■主体的に学習に取り組む態度 ・平面図形や線分の運動によって構成される立体について考えようとしている
数学	6. 立体図形 1ー3 立体と空間図形 立体の構成	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・立体図形を見て，図形の名称を答えることができる ・基本的な柱体や錐体，球の面積と表面積を求めることができる ■思考力・判断力・表現力 ・立体，平面，線分の相互的な関係を捉えることができる ・立体を表面上に表し，特徴を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・立体図形のよさに気づいて粘り強く考え，立体図形について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	6. 立体図形 2ー1 立体の体積と表面積 立体の体積	☆ゼリーをつくるために使う容器を利用し，円柱，円錐，半球の大きさについて考える【思・主】	■思考・判断・表現 ・柱体，錐体，球の体積の求め方について考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・柱体，錐体，球の体積の求め方について考えようとしている
数学	6. 立体図形 2ー1 立体の体積と表面積 立体の体積	・角柱，円柱，角錐，円錐の体積を求める【知】	■知識・技能 ・柱体，錐体の体積を求めることができる
数学	6. 立体図形 2ー1 立体の体積と表面積 立体の体積	・球の体積を求める【知】	■知識・技能 ・球の体積を求めることができる
数学	6. 立体図形 2ー2 立体の体積と表面積 立体の表面積	・角柱，円柱，角錐，円錐の表面積を求める【知】	■知識・技能 ・柱体，錐体の表面積を求めることができる
数学	6. 立体図形 2ー2 立体の体積と表面積 立体の表面積	・球の表面積を求める 【知】	■知識・技能 ・球の表面積を求めることができる
数学	6. 立体図形 2ー2 立体の体積と表面積 立体の表面積	練習問題【知・思・主】	■知識・技能 ・柱体，錐体，球の表面積を求めることができる ■思考・判断・表現 ・柱体，錐体，球の表面積の求め方について考察し表現することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・柱体，錐体，球の表面積の求め方について考えようとしている
数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・空間における直線や平面の位置関係を理解することができる ・基本的な柱体や錐体，球の面積と表面積を求めることができる ■思考力・判断力・表現力 ・立体を表面上に表し，特徴を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・立体図形のよさに気づいて粘り強く考え，立体図形について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。

数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・空間における直線や平面の位置関係を理解することができる ・基本的な柱体や錐体，球の面積と表面積を求めることができる ■思考力・判断力・表現力 ・立体を表面上に表し，特徴を見出すことができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・立体図形のよさに気づいて粘り強く考え，立体図形について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	6章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・空間における直線や平面の位置関係を理解することができる ・基本的な柱体や錐体，球の面積と表面積を求めることができる ■思考力・判断力・表現力 ・立体を表面上に表し，特徴を見出すことができる
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	☆ゆっくり落ちる紙ふぶきをつくるためにはどの形の紙が滞空時間が長くなるかを考える【主】	■思考・判断・表現 ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用の仕方について学ぶことを生活や学習にいかそうとしている
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	・滞空時間のデータから特徴をよみとる（1） ・範囲や度数分布表，累積度数，ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数の有用性を学ぶ（1） ・ヒストグラムの階級の幅を変化させることによって，読み取れる傾向が異なることを学ぶ（1）【知・思】	■知識・技能 ・ヒストグラムや相対度数，範囲，累計度数などの必要性を知る ■思考・判断・表現 ・目的に応じてデータを収集している ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	・滞空時間のデータから特徴をよみとる（2） ・範囲や度数分布表，累積度数，ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数の有用性を学ぶ（2） ・ヒストグラムの階級の幅を変化させることによって，読み取れる傾向が異なることを学ぶ（2）【知・思】	■知識・技能 ・ヒストグラムや相対度数，範囲，累計度数などの必要性を知る ■思考・判断・表現 ・目的に応じてデータを収集している ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	・滞空時間のデータから特徴をよみとる（3） ・範囲や度数分布表，累積度数，ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数の有用性を学ぶ（3） ・ヒストグラムの階級の幅を変化させることによって，読み取れる傾向が異なることを学ぶ（3）【知・思】	■知識・技能 ・データを相対度数や累計相対度数を用いて整理することができる ■思考・判断・表現 ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ・相対度数や累計相対度数をもとにしてデータの分布の特徴をよみとることができる
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	・滞空時間のデータから特徴をよみとる（4） ・範囲や度数分布表，累積度数，ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数の有用性を学ぶ（4） ・ヒストグラムの階級の幅を変化させることによって，読み取れる傾向が異なることを学ぶ（4）【知・思】	■知識・技能 ・データを表やヒストグラムに整理することができている ・データを相対度数や累計相対度数を用いて整理することができる ・ヒストグラムや代表値，相対度数などを用いて，問題を解決する方法を理解している ■思考・判断・表現 ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ・ヒストグラムをもとにしてデータをよみとることができる
数学	7．データの活用 1ー1 ヒストグラムと相対度数 データを活用して，問題を解決しよう	・滞空時間のデータから特徴をよみとる（5） ・範囲や度数分布表，累積度数，ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数の有用性を学ぶ（5） ・ヒストグラムの階級の幅を変化させることによって，読み取れる傾向が異なることを学ぶ（5）【知・思・主】	■知識・技能 ・データを相対度数や累計相対度数を用いて整理することができる ・ヒストグラムや代表値，相対度数などを用いて，問題を解決する方法を理解している ■思考・判断・表現 ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ・ヒストグラムをもとにしてデータをよみとることができる ・相対度数や累計相対度数をもとにしてデータの分布の特徴をよみとることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用の仕方について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	7．データの活用 1ー2 ヒストグラムと相対度数 整理されたデータから読み取ろう	・データを通して，紙の滞空時間が長くなるのはどの場合か分析する（1） ・2つの遊園地の入場者数から読み取れることを考える（1）【思・主】	■思考・判断・表現 ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ・ヒストグラムをもとにしてデータをよみとることができる ・相対度数や累計相対度数をもとにしてデータの分布の特徴をよみとることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用の仕方について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	7．データの活用 1ー2 ヒストグラムと相対度数 整理されたデータから読み取ろう	・データを通して，紙の滞空時間が長くなるのはどの場合か分析する（2） ・2つの遊園地の入場者数から読み取れることを考える（2）【思・主】	■思考・判断・表現 ・目的に応じてデータを収集している ・データを分類・整理したり，分析したりする方法について考察し表現しようとしている ・ヒストグラムをもとにしてデータをよみとることができる ・相対度数や累計相対度数をもとにしてデータの分布の特徴をよみとることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用の仕方について学んだことを生活や学習にいかそうとしている
数学	7．データの活用	☆将棋の駒を投げる場面で，もっとも出やすい出方を予想する【知・主】	■知識・技能 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を知る ■主体的に学習に取り組む態度 ・多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を考えようとしている
数学	7．データの活用 2－1相対度数と確率	・確率の意味を理解し，確率を求める【知】	■知識・技能 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している ・多数回の試行の結果から確率を求めることができる
数学	7．データの活用 2－1相対度数と確率	・多数回の試行から確率を考える【知・主】	■知識・技能 ・多数回の試行の結果から相対度数を計算し確率を求めることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を生活や学習に生かそうとしている
数学	7．データの活用 2－1相対度数と確率	・実験をおこなうことができない事象の確率を考える【思・主】	■思考・判断・表現 ・多数の試行の結果をもとにして不確定な事象の起こりやすさの傾向をよみとることができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を生活や学習に生かそうとしている

数学	基本のたしかめ	学びをたしかめよう【知・思・主】	■知識・技能 ・データの活用に関する用語を理解することができている ・ICT機器を用いることにより，データを表やグラフに整理することができる ・多数回の思考から得られる確率を求めることが出来ている ■思考力，判断力，表現力 ・収集したデータの傾向をよみとることができる。 ・収集したデータを分析するために適切な手法を選択することができる ・多数の試行をもとに，不確定な事象を推定することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用のよさに気づいて粘り強く考え，データの活用について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	章末	学びを身につけよう【知・思・主】	■知識・技能 ・データの活用に関する用語を理解することができている ・ICT機器を用いることにより，データを表やグラフに整理することができる ・多数回の思考から得られる確率を求めることが出来ている ■思考力，判断力，表現力 ・収集したデータの傾向をよみとることができる。 ・収集したデータを分析するために適切な手法を選択することができる ・多数の試行をもとに，不確定な事象を推定することができる ■主体的に学習に取り組む態度 ・データの活用のよさに気づいて粘り強く考え，データの活用について学んだことを実生活や今後の学習にいかそうとする。
数学	7章のまとめ	章末問題【知・思】	■知識・技能 ・データの活用に関する用語を理解することができている ・ICT機器を用いることにより，データを表やグラフに整理することができる ・多数回の思考から得られる確率を求めることが出来ている ■思考力，判断力，表現力 ・収集したデータの傾向をよみとることができる。 ・収集したデータを分析するために適切な手法を選択することができる ・多数の試行をもとに，不確定な事象を推定することができる
数学	巻末問題	もっと練習しよう	

―理科―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	・単元ごとに、基本的な概念・法則をよく理解しているか。 ・学んだことがらについて正しい知識を身につけているか。 ・観察・実験の基本操作が身についているか。 ・班のメンバーと協力して、安全かつ正しい方法で観察・実験を行っているか。 ・観察・実験の結果をわかりやすく表やグラフにまとめることができるか。 ・観察・実験の結果を工夫して計算したり、図を使ってまとめることができるか。	・定期考査、休み明けテスト、小テストなどのテストの【知識・技能】の問題の達成率 ・授業プリントへの取り組み ・実験レポートの取り組み ・授業への取り組み
思考・判断・表現	・観察・実験の目的をよく理解して行っているか。 ・観察・実験から得た結果から、論理的に考えることができるか。 ・観察・実験から得た結果を分析し、決まりや法則を見つけることができるか。	・定期考査、休み明けテスト、小テストなどのテストの【思考・判断・表現】の問題の達成率 ・実験レポート（特に「考察」の記入事項）
主体的に取り組む態度	・授業に集中し、課題に意欲的に取り組んでいるか。 ・観察・実験に班のメンバーとの対話を通して、学習を深めているか。 ・授業の記録をとり、学習内容の整理・理解に役立てているか。 ・試行錯誤し、粘り強く学習に取り組んでいるか。	・授業への取り組み ・各種テストへの取り組み ・提出課題への取り組み ・単元の振り返りへの取り組み

授業細目	単元	学習活動	評価規準
理科	自然の中にあふれる生命 1　身のまわりの生物の観察	・身のまわりの生物の観察 ・観察の進め方を学ぶ ・ルーペの使い方やスケッチのしかたを学ぶ	【知識・技能】観察対象に応じて，適切なルーペの使い方で観察している。 正しい方法でスケッチをしている。
理科	1　身のまわりの生物の観察	・小学校での「水中の小さな生物」の学習について想起する。 ・顕微鏡の使い方を確認する。 ・水中の生物を観察する	【知識・技能】観察対象に応じて，適切な顕微鏡の使い方で観察している。 正しい方法でスケッチをしている。
理科	2　生物のなかま分けのしかた	・どのような特徴に注目すれば，生物のなかま分けができるか。 ・3つの野菜について共通点や相違点を考える。	【思考・判断・表現】野菜の特徴を比較し，複数の観点で，共通点や相違点を見つけ，説明している。
理科	いろいろな生物とその共通点 1章　植物の特徴と分類	1　花のつくり ・花のつくりに共通点やちがいを学ぶ ・花のつくりの観察 ・種子植物について学ぶ	【知識・技能】花の各部分の分類・整理を適切に行い，特徴や各部の名称を正確に記録している。 【主体】花のつくりについて、自ら進んで調べようとしている。 【思考・判断・表現】マツの花のつくりの特徴を見いだし、被子植物との共通点と相違点を、見いだすことができる。
理科	2　子葉，葉，根のつくり	・葉や根のつくりを観察し、共通点や違いを調べる	【知識・技能】いろいろな植物の根や葉を観察し，結果を表などにまとめて，双子葉類，単子葉類の特徴のちがいを適切に記録している。
理科	3　種子をつくらない植物	・胞子のうと胞子、シダ植物とコケ植物について学ぶ	【知識・技能】シダ植物・コケ植物のような種子をつくらない植物を種子植物と比較しながら，胞子によってふえることを説明している。
理科	4　植物の分類	・植物の特徴に注目し、植物を分類する。 ・双子葉類は、合弁花類と離弁花類に分類できることを学ぶ。	【知識・技能】植物の体の特徴や，気づいたことを記録している。
理科	2章　動物の特徴と分類 1　動物の体のつくりと生活 2　背骨のある動物	・透明標本写真から，気づいたことを発表する。 ・脊椎動物の特徴を学ぶ	【知識・技能】背骨の部位や役割を理解しながら，背骨をもつものと，もたないものに分類している。
理科	3　背骨のない動物	・無脊椎動物の特徴を学ぶ ・昆虫類と甲殻類について理解する	【知識・技能】脊椎動物の体などと比較しながら，節足動物に共通する特徴を見いだし，具体的に説明している。
理科	4 動物の分類	・脊椎動物，無脊椎動物のなかまをあげ，特徴をもとに分類する	【知識・技能】脊椎動物を特徴に基づいて、5つのグループに分類している。 【思考・判断・表現】昆虫類や甲殻類の形態的特徴をもとに、節足動物に共通する特徴を見いだすことができる。 【主体】章の学習を通して、自身の変容に気づくことができる。
理科	身のまわりの物質	・化学薬品や器具の使用上の注意を徹底する ・文房具に利用される材料について考えたり、話し合ったりする。 ・銀色のメダルの材料について興味をもち，その材料が何であるかを確かめる方法について考える。	【知識・技能】ガスバーナーを正しく使うことができる 【思考・判断・表現】未知のメダルの材料を調べる観点をあげ，調べる方法を自ら考えて表現している。
理科	1章 いろいろな物質とその性質 1　物質の区別	・物体と物質の区別について理解する。 ・白い粉末状の物質の区別の方法を考える。 ・実験を行い、白い粉末の正体をつきとめる	【知識・技能】実験を結果をわかりやすく記録することができる 【思考・判断・表現】見た目の似ている物体について，それぞれを物質として区別する方法を考え，説明している。 【主体】白い粉末状の物質を区別するという課題の解決に向けて、他者との対話を通して、自らの学習を調整しようとする。
理科	2　重さ・体積と物質の区別	・電子てんびんと上皿てんびんの使い方を理解する。 ・密度について理解する。 ・実験を行い、物質の密度を求め，その物質が何であるかを考察する。 ・メスシリンダーの使い方を理解する。	【知識・技能】密度を求めることができる。 【思考・判断・表現】実験の結果から、その物質が何であるかを考察している
理科	2章　いろいろな気体とその性質 1　気体の区別 2　身のまわりのものから発生した気体の区別	・気体の性質の調べ方、気体の集め方を理解する。 ・空気に含まれる気体について理解する。 ・実験により、酸素、二酸化炭素、水素を発生させ、その性質を理解する。 ・身の回りの物質から気体を発生させる方法を学ぶ	【知識・技能】正しい方法で気体を発生させ、集めることができる
理科	3章　水溶液の性質 1　物質のとけ方	・溶質，溶媒，溶液について理解する。 ・水溶液の性質について粒子のモデルを用いて理解する。 ・物質が水に溶けたとき，溶質の粒子が溶液内に一様に分散し，全体の質量は変化しないことを理解する。	【知識・技能】水溶液の性質，および，溶質，溶媒について理解し，溶質を水に溶かしたとき，全体の質量は変わらないことを実験方法とともに理解している。
理科	2　濃さの表し方	・質量パーセント濃度について理解する。	【知識・技能】質量パーセント濃度の定義と求め方について理解している。
理科	3　溶質のとり出し方	・飽和水溶液、溶解度、溶解度曲線、再結晶について理解する。 ・水溶液中の塩化ナトリウム，硝酸カリウムを取り出す実験を行い、一定量の水に溶ける物質の量は、物質の種類や温度によって変わることを理解する。	【知識・技能】一定量の水に溶ける物質の量は、何によって変わるか理解している。飽和水溶液、溶解度、溶解度曲線、再結晶の意味について理解している。
理科	4章　物質のすがたとその変化 1　物質のすがたの変化	・物質の状態変化について説明する。	【思考・判断・表現】身のまわりの物質の状態変化について問題を見いだし、水と比較しながら、共通点と相違点を表現する。 【知識・技能】状態変化では、物質そのものは変化しないことについて理解する。
理科	2　状態変化と温度	・物質が状態変化するときの温度は，物質によって決まっていることを理解する。 ・エタノールが沸騰する温度を測定する実験を行う。 ・グラフのかき方を理解する	【知識・技能】沸点の測定の実験を，正しく安全に行うことができる。

理科	3　混合物の分け方	・混合物を加熱したときの温度変化の様子について理解する。 ・水とエタノールの混合物から，エタノールを多く含む液体を取り出すことができるか考える。	【知識・技能】実験を，正しく安全に行うことができる。 【主体】章の学習を通して、自身の変容に気づくことができる。
理科	1章 光による現象 1　光の進み方	・光・音・力に関して興味・関心をもつ ・光源、光の直進性、光の反射の法則について理解する。 ・光の反射の法則を活用して作図をする	【知識・技能】光源装置や鏡，分度器を使って，入射角を変えたときの反射角を測定することができる。鏡で光がはね返るときの規則性を理解する。
理科	2　光が通りぬけるときのようす	・光の屈折について理解する。 ・水中のコインから出た光が目に届くまでの道すじを作図する	【知識・技能】水によってコインの見え方が変わる現象について，問題を見いだそうとする。
理科	3　レンズのはたらき	・凸レンズを通った光の道すじを理解する。 ・焦点と焦点距離を理解し、作図をする ・凸レンズを通る光の進み方を調べる実験を行う	【知識・技能】凸レンズを通る光の進み方を理解している。 【思考・判断・表現】凸レンズを通る光の進み方をもとに、どの位置にどのような像ができるのかを作図によって求めることができる。 【主体】章の学習を通して、自身の変容に気づくことができる。
理科	2章　音による現象 1　音の伝わり方	・音が鳴っているときには物体が振動していることや，音源(発音体)と音の発生について理解する。 ・空気中では約340 m/sであることを理解し、計算をする。	【知識・技能】音は空気中だけでなく、液体や固体などの中でも伝わることや、音が伝わる速さは音が伝わる物質によって異なり、空気中では約340 m/sであることを理解している。
理科	2　音の大小と高低	・振動のしかたと音の大きさや高さは，どのようにして決まるか理解する。	【知識・技能】振幅が大きいほど音は大きくなり、振動数が多いほど音が高くなることを理解する。
理科	3章　力による現象 1　力のはたらき	・物体に力がはたらくと，物体はどのようになるのか理解する。	【知識・技能】物体に力がはたらくと物体はどうなるか，説明することができる。
理科	2　力の大きさのはかり方	・力の大きさの単位を理解する ・力の大きさとばねののびの関係について理解する 力の大きさとばねののびの関係を調べる実験を行う	【知識・技能】力の大きさとばねののびの関係を調べる実験の結果をわかりやすく記録することができる
理科	3　重さと質量	重さと質量の違いを理解する	【知識・技能】重さと質量の違いを理解している
理科	4　力の表し方	・力の三要素を理解する ・力の表し方を理解し、力を表す矢印は，作用点から力の向きにかき，矢印の長さは力の大きさに比例するように作図することを学ぶ	【知識・技能】物体にはたらく力を見つけ，力の表し方にしたがって，矢印を使って表現することができる。
理科	5　1つの物体に2つの力がはたらくとき	・力のつり合いについて理解する。 ・1つの物体にはたらく2力がつり合うための条件を理解する	【知識・技能】力がはたらいているのに物体が動かない条件について予想し，探究しようとする。 【主体】章の学習を通して、自身の変容に気づくことができる。
理科	1章 身近な大地 1身近な大地の変化	・ヒマラヤ山脈のでき方を大陸の移動・衝突と関連させて考える。 ・大陸の衝突にプレートの動き，プレートの動きに地球内部の熱が関係していることを理解する ・地形，地層に見られるしゅう曲や断層，岩石などから大地の変化がわかることを理解する	【知識・技能】地形や大地の構成物などを調べることによって，大地の変化を推測できること，およびそれらを調べる視点を理解している。
理科	2　地域の大地の観察	・身近なところで利用されている岩石をあげる。 ・大地の観察の方法を学ぶ	【知識・技能】危険などを具体的に予測しながら安全に観察したり，岩石などを採取したりする方法や，観察後にスケールや全体・部分の関係の様子などがわかる記録の仕方を身につけている。
理科	2章 ゆれる大地 1　地震の発生とゆれの伝わり方	・地震が発生するしくみや断層、震源，震央などの空間的な関係を把握する。 ・作図を通して、ゆれの伝わり方の特徴を理解する。	【知識・技能】地震計の記録から，初期微動・主要動，初期微動継続時間を理解し，初期微動・主要動が始まった時刻や初期微動継続時間を読み取っている。 【思考・判断・表現】震源距離と初期微動継続時間の関係を考察することができる。 【主体】他者とかかわりながら、考え、粘り強く取り組もうとしている。
理科	2　ゆれの大きさ	・震度とマグニチュードについて理解する。 ・ゆれの大きさには、震央距離、地下の岩石のかたさやつくり、マグニチュードが関係することを理解する	【知識・技能】震度やマグニチュードを示した過去の地震例を比べて，観測点によって地震のゆれの強さにちがいが生じる要因を筋道を立てながら見いだしている。
理科	3　日本列島の地震	・日本列島付近で発生する地震や津波が発生するしくみを海洋プレートの沈みこみと関連づけて理解する。	【知識・技能】日本列島付近の震央・震源の分布の特徴を類型化し，海洋のプレートの沈みこみと関連づけながら理解している。 【思考・判断・表現】プレートと大地の活動の関連を考察することができる。
理科	3章 火をふく大地 1　火山の噴火	火山噴出物の特徴を理解する。	【知識・技能】成因と関連づけながら，溶岩，火山灰，火山れき，火山弾，軽石などの特徴を理解している。
理科	2　マグマの性質と火山	マグマの性質と火山の形には，どのような関係があるか理解する	【知識・技能】3つ以上の火山の噴火の様子，火山の形を複数の方法で比べ，それらを関連づけながらマグマの性質のちがいが火山の形に関係していることを推測し，仮説を立てている。
理科	3　マグマからできた岩石	・火成岩の定義，火成岩の多様性を理解する。 ・火成岩の観察を通して、鉱物の種類，大きさ，集まり方のちがい，共通点があることに気づく。	【知識・技能】さまざまな火成岩を比べて，鉱物の種類，大きさ，集まり方に着目して記録し，共通点や相違点がわかるように整理している。
理科	4　日本列島の火山	・日本の火山の分布の特徴を把握させ，プレートの沈みこみにともなってマグマができて上昇し，火山が形成されることを理解する。	【知識・技能】日本列島付近に火山が多い理由を，火山の分布にも着目しながら，海洋プレートの沈みこみによるマグマの発生と関連づけて理解している。
理科	4章 語る大地 1　地層のでき方	・風化や侵食・運搬・堆積作用などについて理解する。 ・空間的な広がりと関連づけながら，土砂や生物の遺骸などの堆積による地層のでき方を理解する。	【知識・技能】地層のでき方を，風化から侵食・運搬・堆積までの一連の中でとらえ，水中に流れこんだ土砂の広がり方のちがいや重なり方の規則性と関連づけて理解している。
理科	2　地層の岩石	・堆積岩のでき方を理解する。 ・堆積岩の種類を知り、粒の大きさや，岩石をつくる成分がちがっていることを見いだす。 ・各堆積岩の特徴を理解する	【知識・技能】粒の大きさ，かたさ，塩酸との反応などに着目して，堆積岩の特徴を調べて記録し，表などに共通点や相違点がわかるように整理している。
理科	3　地層・化石と大地の歴史	・示相化石と示準化石を理解する ・生物の変遷を中心とした地球の歴史を理解する	【知識・技能】化石の名前をあげて，その生物の生息環境を現在見られる環境と関連づけて推測したり，地層が形成された地質年代を推測したりできることを理解している。
理科	4　大地の恵みと災害	地球上で地震が発生しやすい地域，火山が多く分布する地域に着目し、プレートの境界において大地の活動が活発に起こっており，日本列島で生活する人間に影響をおよぼすことを理解する。	【知識・技能】プレートの境界付近で地震や火山活動が多く起こり，巨大な山脈が形成されていることなどを見いだし，それらをプレートの動きと関連づけてとらえることができる。 【主体】章の学習を通して、自身の変容に気づくことができる。

―音楽―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を習得している。	・定期考査 ・授業プリント ・実技テスト
思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えられている。	・定期考査 ・授業プリント ・実技テスト ・鑑賞感想
主体的に取り組む態度	・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。	・定期考査 ・授業プリント ・授業への取り組み ・課題提出物への取り組み

授業細目	単元	学習活動	評価規準
音楽	新しい仲間とともに，明るい歌声を響かせよう。	◎斉唱「校歌」 〇拍の流れにのって明るい声で歌おう。 【態】【思】【知】【技】 ◎楽譜の使用法について説明し、著作権などの知的財産権を尊重する意識をもたせる。 ◎合唱練習、器楽練習ではお互いに協力し合うことが大切だという意識をもたせるのはもちろんのこと、他人を中傷するような言動はしないよう、意識をもたせる。	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】拍の流れ，音のつながり方，フレーズを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。
音楽	自分の歌声に適した歌い方を知ろう。	◎混声三部合唱「夢の世界を」 〇曲想を感じ取って，速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。【態】【態】【思】【思】【知】【技】	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】声部の役割や全体の響きに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】速度の変化，強弱の変化，前半と後半の対照を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【思】知覚・感受しながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想，声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。
音楽	音楽用語の基礎知識	◎強弱、音符、音楽記号などの音楽用語【態】【知】【技】	【態】音楽用語に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 【知】【技】音楽用語の記入や意味の理解をし、表現活動に役立てようとしている。
音楽	混声合唱の響きを味わおう。	◎合唱「COSMOS」 〇曲想を感じ取って，速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。【態】【態】【思】【思】【知】【技】	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】声部の役割や全体の響きに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】速度の変化，強弱の変化，前半と後半の対照を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【思】知覚・感受しながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想，声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。
音楽	詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう。	◎歌曲「魔王」 〇詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。 【態】【態】【思】【知】【技】	【態】詩の内容と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】声やピアノの音色，登場人物の心情や情景を表した旋律，強弱の変化と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】声やピアノの音色，登場人物の心情や情景を表した旋律，強弱の変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【知】【技】知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って，解釈したり価値を考えたりし，言葉で説明するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
音楽	まとめと確認テスト 1学期期末テスト		
音楽	仲間とともに，表情豊かに合唱しよう。	◎合唱「COSMOS」「クラス自由曲」 〇曲想を感じ取って，速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。【態】【態】【思】【思】【知】【技】	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】声部の役割や全体の響きに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】速度の変化，強弱の変化，前半と後半の対照を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【思】知覚・感受しながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想，声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。
音楽	日本の歌のよさや美しさを感じ取って，表現を工夫しよう。	◎「赤とんぼ」（共通教材） 〇情景を思い浮かべながら，思いをこめて歌おう。 【態】【思】【知】【技】【知】【技】	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】フレーズ，旋律線のもつ方向性，強弱の変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 【知】【技】曲がつくられた背景を考えながら、作詞者、作曲者の思いを感じながら聴くことができる。

音楽	イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう。	◎映画「スターウォーズ」「ジョーズ」「E. T. 」 〇イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 【態】【思】【知】【技】	【態】楽器の音色，リズム，速度，音の高低，強弱と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】楽器の音色，リズム，速度，音の高低，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【知】【技】知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って，解釈したり価値を考えたりし，言葉で説明するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
音楽	箏曲の特徴を感じ取って，その魅力を味わおう。	◎六段の調 〇日本の伝統音楽に親しみ，そのよさを味わおう。―箏曲― 【態】【態】【思】【思】 ◎箏曲「虫づくし」「姫松」「さくらさくら」 〇箏の音色を楽しみながら演奏しよう。 【態】【思】【知】【技】	【態】箏の音色，序破急，速度の変化，平調子，奏法による音高や余韻の変化と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】箏の特徴（楽器の構造や奏法，音色や響き，よさ）に関心をもち，基礎的な奏法で演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、箏の特徴を捉えた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【知】 【技】箏の特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。 【思】箏の音色，序破急，速度の変化，平調子，奏法による音高や余韻の変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取っている。 【思】箏の音色，序破急，速度の変化，平調子，奏法による音高や余韻の変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。
音楽	まとめと確認テスト 2学期期末テスト		
音楽	音楽用語の基礎知識	◎強弱、音符、音楽記号などの音楽用語【態】【知】【技】	【態】音楽用語に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 【知】【技】音楽用語の記入や意味の理解をし、表現活動に役立てようとしている。
音楽	日本古来の合奏に親しもう。	◎雅楽「平調　越天楽」 〇日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう 【知】【思】【態】	【知】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 【思】音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社旗における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わいながら聴いている。 【態】曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもり、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
音楽	音楽の特徴から情景を想像しよう。	◎春―第１楽章― 〇ソネットを手がかりに，曲想の変化を感じ取ろう。 【態】【態】【思】【思】【知】【技】	【態】楽器の音色，ソネットを表した旋律，強弱の変化，リトルネッロ形式と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち，鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】楽器の音色，ソネットを表した旋律，強弱の変化，リトルネッロ形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【思】知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取っている。 【知】【技】楽器の音色，ソネットを表した旋律，強弱の変化，リトルネッロ形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取るとともに，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて，解釈したり価値を考えたりし，言葉で説明するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
音楽	曲想や全体の響きを感じ取って，表現を工夫しよう。	◎ギター「カントリーロード」 〇ギターストロークをアレンジして、ギターアンサンブルを楽しもう。【態】【態】【態】【思】【思】【知】【技】【知】【技】	【態】ギターの特徴（楽器の構造や奏法，音色や響き，よさ）に関心をもち，基礎的な奏法で演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】ギターストロークのアレンジを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，ギターの特徴を捉えた音楽表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思】ギターストロークのアレンジを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】ギターの特徴を捉えた音楽表現をするために必要な，基礎的な奏法，姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。 【知】【技】曲想を生かした音楽表現をするために必要な奏法，姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。
音楽	まとめと確認テスト 3学期学年末テスト		

音楽	仲間とともに、より表情豊かに合唱しよう。	◎合唱「COSMOS」「クラス自由曲」「旅立ちの日に」「時の旅人」 〇1年間を思いだし曲想を感じながら合唱しよう。 【態】【態】【思】【思】【知】【技】	【態】歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態】声部の役割や全体の響きに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【思】速度の変化，強弱の変化，前半と後半の対照を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 【思】知覚・感受しながら，声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 【知】【技】歌詞の内容や曲想，声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

ー美術ー

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し，創造的に表している。	・作品の取り組み ・客観的な自己評価 ・作品や鑑賞レポートの内容 ・ワークシートの取り組み ・定期テストへの取り組み
思考・判断・表現	形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・授業のアイデアスケッチ ・振り返りシートの取り組み ・作品の取り組み（計画、制作、振り返り） ・鑑賞レポートの工夫、完成 ・定期テストへの取り組み
主体的に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・授業に積極的に参加し忘れ物もなく学ぼうとする姿勢 ・作品を必ず完成させ、さらに高めようとする意欲 ・作品や鑑賞レポートへの姿勢、内容、質 ・制作技能の高さ ・定期テストへの取り組み

授業細目	単元	学習活動	評価規準
美術	見つめて感じて描いて	「文具のデッサン（鉛筆描画）」 身近なものや愛着のあるものを見つめ，感じ取った形や明暗，質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し，表現方法を工夫する。	（知識・技能） 形や色彩，明暗，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，よさや美しさ，印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。線の強弱や鉛筆の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩，質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり，意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
美術	つなげて広がる模様の世界	「色で分かれる世界（水彩画）」 紙の加工により生まれる模様や美しい形や模様、構成を考え，主題を生み出し、色彩を組み合わせ、材料や用具などを工夫して表現する。	（知識・技能） 紙の特性，形や色彩，構成などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，よさや美しさなどをイメージで捉えることを理解している。紙の加工方法などを意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。水彩道具の使い方や表現の仕方を理解している。 （思考・判断・表現） 紙の特性やよさ，加工により生まれる模様などから主題を生み出し，美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え，色彩の計画を立て、表現する構想を練っている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい、紙の加工により生み出される模様のよさなどを生かしたり、主題を生み色彩の組み合わせを考えデザインするなど、意図に応じて工夫し表現する学習活動に意欲的に取り組んでいる。
美術	祭りを彩る造形	「祭りを彩る造形（鑑賞と表現）」 日本やアジアの祭りに見られる造形物の特徴やイメージの違いを感じ取るとともに，住んでいる地域の美術の伝統文化への関心を高める。	（知識・技能） 形や色彩，素材，制作技法などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，はなやかさや迫力などを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 身近な地域や日本及び諸外国の祭りなどから，よさや美しさなどを感じ取り，制作の意図と工夫，社会の中の美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げ、創造し表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく祭りに見られる造形的なよさや美しさなどを感じ取り，制作の意図と工夫，社会の中の美術の働きや美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞や表現の学習活動に取り組もうとしている。
美術	文字が生み出すイメージ	「文字の装飾デザインーレタリングー（水彩画）」 イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう，形や色彩，構成を考え，材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	（知識・技能） 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。絵の具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 文字の意味やイメージを基に，伝える相手や場面などから主題を生み出し，分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え，表現する構想を練っている。文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり，意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
美術	そのものらしさを形にして	「石ころコピー（軽量粘土）」 身の回りにあるものを注意深く観察することで、想像以上に複雑な形であったり、色彩が豊かなことに気づき、表面の質感やつや、重さなど「そのものらしさ」が表れているのはどの部分なのか、じっくりとよく見て、感じ取ることができる。	（知識・技能） 形や色彩、質感などに着目し、イメージをとらえ、粘土や絵の具などを工夫して表す。 （思考・判断・表現） 身近なものを鑑賞して、特徴などをもとに、形や色彩、質感などの工夫を考え、構想を練る。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい身近なものからとらえた特徴やイメージなどを工夫して表すことに関心をもち、意欲的に取り組む。
美術	美術との出会い	「西洋美術史－色や形の表現の変化を探る－（鑑賞）」 1学年では、美術表現の基本である「色と形」にスポットを当て学習してきた。人間の内面を色や形であらわした世紀末の新芸術以降の時代の作品鑑賞を通して、色や形、描き方、構図などの視点から、新たな見方や考え方に気付かせる。自身の表現のヒントや時代背景・表現のニーズの理解に繋げる。	（知識・技能） 時代背景と、その時代特有の表現技法や色や形の特徴を理解している。 （思考・判断・表現） 作者の意図と創造的な工夫，美術を通し表現したかった問いかけについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 時代ごとの表現の特徴や美しさ，作者の意図と創造的な工夫について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞に主体的に取り組もうとしている。

美術	人間っておもしろい	「私の中にいる妖怪（軽量粘土）」 自分自身の特徴や表情やしぐさをふりかえり，自分らしさは何かを考えて主題を生み出し，気持ちや特徴を表せるように材料や用具を工夫して立体で表現する。	（知識・技能） 表情やしぐさ、色彩などに着目し、性格や特徴をとらえ材料や用具を工夫して表す。 （思考・判断・表現） 自分の弱い部分や行動の課題等を基に主題を生み出し、表情や色彩、形の工夫を考え、構想を練り創造的に表現することができる。 （主体的に学習に取り組む態度） 自分自身を見つめ、特徴をとらえて人柄や性格などを表すことに関心をもち、意欲的に取り組む。
美術	暮らしを彩る造形	「暮らしの中の木の工芸（鑑賞）」 「暮らしを彩る土の造形（鑑賞）」 「日本の美を探して（調べ学習/イラスト色鉛筆）」 木肌の持つ温かさや優しい感触を生かし、用途や機能と美しさなどについて考える。土が持つ素材のよさ、用途や機能、美しさなどを考える。	（知識・技能） 木や土の特性、加工方法、生産地域の特徴などを理解している。 （思考・判断・表現） 用途や機能性、使いやすさと美しさを兼ね備えたデザイン、需要などについて考えることができる。 （主体的に学習に取り組む態度） 作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を探究することに関心をもち、意欲的に取り組む。
美術	形や色で伝えるシンボルマーク	「シンボルマークデザイン（色鉛筆）」 伝えたい内容やイメージを基に，象徴するものや形や色彩の効果を考え，材料や用具などを工夫してマークをデザインする。	（知識・技能） 具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。絵の具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 伝える内容やイメージを基に，伝える相手や場面などから主題を生み出し，分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え，表現する構想を練っている。伝えたい内容と分かりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく分かりやすく印象に残るマークをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり，意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。

ー保健体育ー

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	①それぞれの運動や健康について理解する。 ②ルールやマナー、安全について理解する。 ③単元ごとに設定された実技テストを実施し到達度を確かめる。	・定期考査 ・各単元の実技テスト
思考・判断・表現	①自分の課題や目標に応じて、工夫して活動したことを学習カードにまとめる。 （情報の質と量、具体性が大切。） ②動きのポイントなどを参考に、仲間の課題や出来栄えを伝える。 ③仲間と協力する場面で、自分なりの関わり方を見つける。	・学習カードの記述内容 ・定期考査
主体的に取り組む態度	①学習に積極的に取り組む。 ②フェアプレイを守る。 ③作戦などの話し合いに参加する。 ④練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助する。 ⑤安全に行う。	・学習カードの記述内容 ・定期考査 ・授業での取り組み

授業細目	単元	学習活動	評価規準
体育	陸上競技	短距離走・リレー	短距離走やリレーにおいて用いられる技術の名称を理解し、自己の最大スピードを高めたり、バトンパスのタイミングを合わせたりして、個人やチームで競争し楽しさや喜びを味わうことができる。（知識・技能） 提示された動きのポイントやつまずきを参考に、自己や仲間の課題に応じて動きの習得に適した練習方法を見つけたり伝えたりすることができる。（思考・判断・表現） 短距離走・リレーの学習に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守り勝敗や一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） ＊走る前の準備体操やウォーミングアップを入念に行い、ケガの防止に努める。
体育	器械運動	跳び箱運動	技ができる楽しさや喜びを味わい、跳び箱運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うことができる。（知識・技能） 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。（思考・判断・表現） 積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとすること、仲間の学習を援助しようとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや、健康・安全に気を配ることができる。用具や練習場所など安全に留意して運動を行う。（主体的に学習に取り組む態度） ＊馬跳びを行い慣れさせる。うさぎ跳びを行い着地の練習、体を起こす練習をする。準備・片付けは複数で行う。助走の距離を短めにする。
体育	水泳	クロール・平泳ぎ	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解し、それぞれの泳法を身につけるために、泳法に応じた手のかきや足の蹴りと呼吸動作を合わせた一連の動きができる。（知識・技能） 提供された練習方法から、自己の課題に応じて泳法の習得に適した練習方法を選択するとともに、仲間の体力や技能の程度を踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争方法を見つけ、仲間に伝えている。（思考・判断・表現） ルールやマナーを守り水泳の学習に積極的に取り組むとともに、水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。（主体的に学習に取り組む態度） ＊水慣れをしっかり行う。バディを組ませて安全確認をする。準備体操を入念に行う。
体育	陸上競技	走り幅跳び	走り幅跳びの特性、技術の名称や行い方を理解し、自己に適した助走スピードで踏み切りに繋げ、空間動作からの流れの中で着地することができる。（知識・技能） 走り幅跳びの特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間の動きを見て自己が思考し判断したことを、他者に分かりやすく伝えたりすることができる。（思考・判断・表現） 安全に留意し走り幅跳びの学習に積極的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） ＊砂場の整地を行う。合図をしてからスタートする。
体育	球技（ネット型）	バレーボール	バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称を理解し、味方が操作しやすい位置に出してボールをつなぐことや、定位置に戻る動きができる。（知識・技能） 提示された動きのポイントやつまずきを参考に自己や仲間の課題を発見するとともに、チームの関わり方を見つけることができる（思考・判断・表現） バレーボールの学習に積極的に取り組もうとし、マナーを守り相手のプレーを認め、フェアなプレイを守ろうとしている。（主体的に学習に取り組む態度） ＊練習場所やペアでの向きを指示をする。突き指がないようにボール慣れをしっかり行う。
体育	武道	柔道	柔道の特性や成り立ち、技を身につけるための技術的なポイントを理解し、相手の動きに応じた基本動作や技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易的な攻防ができる。（知識・技能） 抑え込み技や投げ技を通して、提示された動きのポイントや練習方法から、自己の課題に応じた練習を選択することができる。また、体力や技能の程度を踏まえて仲間の出来映えを伝えたり楽しんだりすることができる。（思考・判断・表現） 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。また、ルールを守り健康や安全に配慮して取り組んでいる。（主体的に学習に取り組む態度） ＊受け身の練習をしっかり行い、頭を打つことがないようにする。投げ技は周りとの間隔を十分にとる。

体育	球技（ベースボール型）	ソフトボール	ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、ルールを理解するとともに、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。（知識・技能） 提示された動きや練習方法から、自己やチームの課題に応じて練習方法を選択したり、仲間同士での体力や技能の程度を踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法、作戦を見つけ仲間に伝えている。（思考・判断・表現） ソフトボールの学習に積極的に取り組むとともに、作戦などの話し合いに参加しようとし、仲間同士で助言をしたり仲間の学習を援助したりすることができる。（主体的に学習に取り組む態度） ＊バットの扱い方に注意する。バッティング練習の時には周りを確認してから行う。
体育	ダンス	創作ダンス	ダンスの特性や表現の仕方を理解し、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わうとともに、創作ダンスを通して自己を表現したり変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。（知識・技能） 学習した踊りのポイントや安全上の留意点を参考に課題を発見したり、仲間と話し合う場面でグループへの関わり方を見つけたりすることができる。（思考・判断・表現） ダンスの学習に積極的に取り組むとともに、仲間の手助けをしたり仲間の学習を援助しようとすることができる。また、簡単な作品創作などについての話し合いに参加しようとすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）
体育	球技（ゴール型）	バスケットボール	バスケットボールを通して勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、成り立ちや特性、技術の名称や行い方を理解し、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。また、シュートやパス、ドリブルなどのボール操作を通して、空間に走りこむ動きによってゴール前での攻防ができる。（知識・技能） ボール操作やボールを持たないときの動き及び攻防などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり方、安全上の留意点などを発見した課題を合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりして他者に分かりやすく伝えることができる。（思考・判断・表現） バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、仲間を援助しようとすることができる。（主体的に学習に取り組む態度） ＊突き指防止のためボールコントロールを行う。
体育	体つくり運動	体ほぐしの運動	手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うことを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。（知識・技能） 体の動きを高めるために自己の課題に応じた運動を選択し、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わり方を見つけたり仲間とともに楽しむために自己の考えを他者に伝えることができる。（思考・判断・表現） 体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること、話し合いに参加しようとすること、健康・安全に配慮することができる。（主体的に学習に取り組む態度）
体育	体つくり運動	体の動きを高める運動	ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせることを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。（知識・技能） 体の動きを高めるために自己の課題に応じた運動を選択し、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わり方を見つけたり仲間とともに楽しむために自己の考えを他者に伝えることができる。（思考・判断・表現） 体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること、話し合いに参加しようとすること、健康・安全に配慮することができる。（主体的に学習に取り組む態度）
体育	運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの必要性と楽しさ	運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、記録等を達成したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生み出されてきたことを理解できるようにする。（知識・技能） 運動やスポーツが多様であることについて自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができるようにする。 （思考・判断・表現） 運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
体育	運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの多様な関わり方	運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることを理解できるようにする。（知識・技能） 運動やスポーツが多様であることについて自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができるようにする。 （思考・判断・表現） 運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
体育	運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの多様な楽しみ方	世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を見つけたり、工夫したりすることが大切であることを理解できるようにする。（知識・技能） 運動やスポーツが多様であることについて自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができるようにする。 （思考・判断・表現） 運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	健康の成り立ちと疾病の予防	1，健康の成り立ちと疾病の発生要因	健康は、主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること、また、健康が阻害された状態の一つが疾病であることを理解できるようにする。（知識・理解） 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。（思考・判断・表現） 健康の成り立ちと疾病の発生要因及び生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

保健	健康の成り立ちと疾病の予防	2，運動と健康	運動には、身体の各器官の機能を刺激し、その発達を促すとともに、気分転換が図られるなど、精神的にもよい効果があることを理解できるようにする。（知識・理解） 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。（思考・判断・表現） 健康の成り立ちと疾病の発生要因及び生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
保健	健康の成り立ちと疾病の予防	3，食生活と健康	食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があることを理解できるようにする。（知識・理解） 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。（思考・判断・表現） 健康の成り立ちと疾病の発生要因及び生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
保健	健康の成り立ちと疾病の予防	4，休養・睡眠と健康	休養及び睡眠は、心身の疲労を回復するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとることが必要であることを理解できるようにする。（知識・理解） 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。（思考・判断・表現） 健康の成り立ちと疾病の発生要因及び生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
保健	健康の成り立ちと疾病の予防	5，調和のとれた生活	心身の健康は生活習慣と深く関わっていて、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。（知識・理解） 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。（思考・判断・表現） 健康の成り立ちと疾病の発生要因及び生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	1，体の発育・発達	身体の発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	2，呼吸器・循環器の発育・発達	身体の発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	3，生殖機能の成熟	思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子は射精、女子は月経がみられ、妊娠が可能になることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることから、異性への尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	4，異性の尊重と性情報への対処	思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子は射精、女子は月経がみられ、妊娠が可能になることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることから、異性への尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）

保健	心身の機能の発達と心の健康	5，心の発達	心は、知的機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	6，自己形成と心の健康	自己形成については、思春期になると、自己を客観的に見つめたり、他人の立場や考え方を理解できるようになったりするとともに、物の考え方や興味・関心を広げ、次第に自己を認識し自分なりの価値観をもてるようになるなど自己の形成がなされることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	7，心と体の関わり	精神と身体には、密接な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていることを理解できるようにする。また、心の状態が体にあらわれたり、体の状態が心にあらわれたりするのは、神経などの働きによることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	8，欲求と心の健康	欲求には、生理的な欲求と心理的、社会的な欲求があること、また、精神的な安定を図るには、日常生活に充実感をもてたり、欲求の実現に向けて取り組んだり、欲求が満たされないときに自分や周囲の状況からより良い方法を見つけたりすることなどがあることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	9，ストレスによる健康への影響	ストレスとは、外界からの様々な刺激により心身に負担がかかった状態であることを意味し、ストレスの影響は原因そのものの大きさとそれを受け止める人の心や身体の状態によって異なること、個人にとって過度なストレスは、精神発達上必要なものであることを理解できるようにする。また。過度なストレスは、心身の健康や生命に深刻な影響を与える場合があることも理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	心身の機能の発達と心の健康	10，ストレスへの対処と方法	ストレスの対処には、ストレスの原因となる事柄に対処すること、ストレスの原因についての受け止め方を見直すこと、友達や家族、教員、医師などの専門家などに話を聞いてもらったり、相談したりすること、コミュニケーションの方法を身につけること、規則正しい生活をすることなど、いろいろな方法があり、それらの中からストレスの原因、自分や周囲の状況に応じた対処の仕方を選ぶことが大切であることを理解できるようにする。（知識・技能） 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。 （思考・判断・表現） 心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。 （主体的に学習に取り組む態度）
保健	健康な生活と疾病の予防	4，喫煙の害と健康	たばこの煙の中にはニコチン、タール、一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れることを理解できるようにする。（知識・技能） 健康な生活と疾病の予防及び喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病にかかるリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。（思考・判断・表現） 健康な生活と生活習慣病などの予防及び喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

―技術―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	・学習内容と実際の作業が結びついて理解されているか。 ・授業などの学習で得た知識を作業の中で安全に効率よく使えているか。	・授業内の課題、定期考査。 ・授業内の取り組みの様子
思考・判断・表現	・作業に対する想像力が合理的発想に結び付けられるか。	・定期考査、授業内の課題
主体的に取り組む態度	・指導者の指示や指導をキチンと理解しようとしている。 ・安全と危険をキチンと認識して作業に取り組んでいる。 ・自分だけでなく周囲の環境にも配慮した学習ができる。	・授業内の取り組む様子。 ・課題に対する内容と提出。 ・定期考査

授業細目	単元	学習活動	評価規準
技術	技術分野のガイダンス	◎技術分野のガイダンス 〇技術の発達によって，生活や産業がどのように変化してきたかを調べる。【伝統文化】 〇身の回りの技術にどのような創意・工夫があるか調べる。 〇技術と環境，持続可能な未来との関係について具体例を挙げて考える。【環境】 〇製品が誕生するまでの過程を調べ，製品どのような思いで作られているかを開発した技術者の話などを基に調べ，発表する。【キャリア教育】 〇3学年間の技術の学習内容を知る。	【主体的に学習に取り組む態度】技術が人間の生活を向上させ，我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき，技術が果たしている役割に関心を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき，技術の進展と環境との関係について関心を示している。
技術	材料と加工法	◎編の導入 〇この編で学習する内容の確認を行う。 〇身の回りの材料と加工に関する技術を挙げる。	【知識・技能】木材，金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・技能】材料に適した切断，切削などの方法についての知識を身に付けている。
技術	材料と加工法	◎材料の特徴を知ろう 〇木材〇金属（八王子のたたら製鉄・下原刀）〇プラスチックの特徴を実験などで調べ，実験結果を発表する。その際，環境にやさしい材料の条件を自分なりに考える。【言語活動】 〇木材〇金属〇プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。	【知識・技能】木材，金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・技能】材料に適した切断，切削などの方法についての知識を身に付けている。
技術	材料と加工法	◎材料に適した加工法を知ろう 〇工具や機器を加工法に応じて分類する。 〇材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 〇工具や機器を安全に使用する方法や技術室の安全のための決まりを調べる。【安全】	【知識・技能】木材，金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・技能】材料に適した切断，切削などの方法についての知識を身に付けている。
技術	材料と加工法	◎材料と加工に関する技術について知ろう 〇身の回りの製品を見て，なぜその材料が使われているかを考える。 〇身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。	【知識・技能】木材，金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・技能】材料に適した切断，切削などの方法についての知識を身に付けている。
技術	材料と加工法	まとめと発表「情活」「指導事項」 グループ毎に発表の形式で資料の整理、及びまとめ、発表。 【学習への主体的・創造的態度】	【知識・技能】木材，金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 【知識・技能】材料に適した切断，切削などの方法についての知識を身に付けている。
技術	製作品の設計・製作	◎作業手順を考えて製作しよう（花台） 〇使用材料ごとのけがき方と使用工具を調べる。 〇切りしろや削りしろを見込んで，仕上がり寸法線と切断線をけがく。 〇使用材料ごとの正確な切断方法を調べる。 〇材料を切断線にしたがって切断する。 〇材料ごとの部品加工法を調べる。 〇寸法線にしたがって加工する。 〇加工後，検査〇修正し，仮組み立てをする。 〇組み立てをする。組み立て後の検査と修正をする。 〇製品の材質や使用目的にあった仕上げ方法を調べる。 〇素材や用途にあった表面処理をする。正しい機器の操作や作業環境の整備等について留意するとともに、作業に適した服装であり必要に応じて防護眼鏡・防塵マスクの着用に務める。作業後は手洗いなどにより衛生環境にも配慮する。	【知識・技能】切断，切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。 レディネステストを実施、工具の取り扱いなど安全に十分配慮
技術	製作品の設計・製作	◎生活に役立つ製作品を構想しよう(生徒が随意に選択) 〇設計の手順を確認する。 〇使用目的や使用条件に即した製作品を構想する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 正しい機器の操作や作業環境の整備等について留意するとともに、作業に適した服装であり必要に応じて防護眼鏡・防塵マスクの着用に務める。作業後は手洗いなどにより衛生環境にも配慮する。	【主体的に学習に取り組む態度】省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】新しい発想を生み出し活用しようとしている。 【知識・技能】製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 【知識・技能】等角図，キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。 【知識・技能】製作品の構想を等角図，キャビネット図及び第三角法などでかき表すことができる。
技術	製作品の設計・製作	◎製作品の構想をまとめよう（ファンシー・ボックス） 〇製作品の機能，構造，材料，加工法などを検討し，具体化する。部品の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。 〇構想案を基に構想図を作成する。 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 正しい機器の操作や作業環境の整備等について留意するとともに、作業に適した服装であり必要に応じて防護眼鏡・防塵マスクの着用に務める。作業後は手洗いなどにより衛生環境にも配慮する。	【主体的に学習に取り組む態度】省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】新しい発想を生み出し活用しようとしている。 【知識・技能】製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 【知識・技能】等角図，キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。 【知識・技能】製作品の構想を等角図，キャビネット図及び第三角法などでかき表すことができる。

技術	製作品の設計・製作	◎作業手順を考えて製作しよう（ファンシーボックス） ○構想図を基に部品表，材料取り図を作り，材料を準備する。 ○製作工程表を作成する。 ○使用材料ごとのけがき方と使用工具を調べる。 ○切りしろや削りしろを見込んで，仕上がり寸法線と切断線をけがく。 ○使用材料ごとの正確な切断方法を調べる。 ○材料を切断線にしたがって切断する。 ○材料ごとの部品加工法を調べる。 ○寸法線にしたがって図面通りに加工する。 ○図面通りにできたか検査○修正し，仮組み立てをする。 ○組み立てをする。組み立て後の検査と修正をする。 ○製品の材質や使用目的にあった仕上げ方法を調べる。 ○素材や用途にあった塗装や表面処理をする。【技】 正しい機器の操作や作業環境の整備等について留意するとともに、作業に適した服装であり必要に応じて防護眼鏡・防塵マスクの着用に務める。作業後は手洗いなどにより衛生環境にも配慮する。	【主体的に学習に取り組む態度】省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】新しい発想を生み出し活用しようとしている。 【知識・技能】製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 【知識・技能】等角図，キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。 【知識・技能】製作品の構想を等角図，キャビネット図及び第三角法などでかき表すことができる。
技術	製作品の設計・製作	◎完成した製作品を評価しよう ○製作品の評価をする。 ○次のものづくりの課題を考える。【言語活動】【思考・判断・表現】	【知識・技能】 製作図を基にして，材料取り，部品加工，組み立て・接合，仕上げができる。 工具の取り扱いなど安全に十分配慮、穴開けなどで電動工具使用に際しては二人一組とし安全ゴーグルの着用させる。
技術	材料と加工に関する技術の評価・活用	◎材料と加工に関する技術を未来に生かそう ○材料と加工に関する技術について，環境的，経済的，社会的側面から評価する。【環境】 ○材料と加工に関する技術について，自分なりの活用方法を考える。【言語活動】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	【主体的に学習に取り組む態度】材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに，適切な解決策を示そうとしている。 【知識・技能】材料と加工に関する技術の課題を明確にし，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに，適切な解決策を見いだしている。 【知識・技能】材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。
技術	コンピュータと情報通信ネットワーク 情活（情報社会において自分の責任や義務について考え，行動する）	◎編の導入 ○生活や社会，産業のさまざまな場面でコンピュータや情報通信ネットワークが利用されていることをまとめる。 ◎コンピュータの仕組みを知ろう ○コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアを調べる。 ○身の回りにある入力装置と出力装置を調べる。【知・理】	【知識・技能】 コンピュータを構成する主要な装置と，基本的な情報処理の仕組みについての知識を身に付けている。
技術	コンピュータと情報通信ネットワーク	◎ディジタル化について考えよう ○コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを調べる。 ○情報のディジタル化の方法を調べる。 ◎データ量について考えよう ○画像をディジタル化する方法やデータ量との関係について調べる。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	【知識・技能】 情報をコンピュータで利用するために必要なディジタル化の方法についての知識を身に付けている。
技術	コンピュータと情報通信ネットワーク	◎情報通信ネットワークの仕組みを知ろう ○情報通信ネットワークの基本的な構成を調べる。 ○情報機器を識別する工夫や情報を伝える工夫を調べる。【知・理】	【知識・技能】 インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と，安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。
技術	コンピュータと情報通信ネットワーク	◎情報セキュリティ技術を知ろう ○情報通信ネットワークの危険性を調べる。 ○安全○安心に情報システムを利用するための対策を知る。【安全】	【知識・技能】 情報を取り扱う上で、通信ネットワークの危険性と，安全に情報を利用するためのマナーやルールの基本的な知識を身に付けて使うことが出来る。
技術	コンピュータと情報通信ネットワーク	◎情報を安全に利用しよう ○情報技術の特性について考え，情報が社会に与える影響について調べる。 ○望ましい情報社会のための態度について考える。【情活】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】	【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会において適切に活動しようとしている。 【思考・判断・表現】 情報に関する技術の利用場面に応じて，適正に活動している。 【知識・技能】 著作権や，情報発信に伴って発生する可能性のある問題と，発信者としての責任についての知識を身に付けている。

―家庭―

評価の観点と評価方法

評価の観点及びその趣旨		評価方法
知識・技能	生活に必要な知識を身に付けることができているか。 身に付けた知識を生活で実践できるように技能を身に付けているか。	定期考査、授業内課題、授業内プリント、課題、提出物
思考・判断・表現	学んだ知識を基に、生活をより良くするための工夫について考えることができているか。	定期考査、授業内課題、授業内プリント、課題、提出物
主体的に取り組む態度	安全に気を付けて授業に取り組むことができているか。 生活をより良くするために主体的に考えることができているか。	授業内課題、授業内プリント、課題、授業への取り組み

授業細目	単元	学習活動	評価規準
家庭	私たちの家族と家庭生活	生活を支える家族・家庭の機能について理解する。 家族や地域の人々との協力・協働して家庭生活を営む必要性を理解する。	【知識・技能】 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
家庭	中学生と家族の1日の家庭生活	生活を支える家族・家庭の機能について理解する。 家族や地域の人々との協力・協働して家庭生活を営む必要性を理解する。	【知識・技能】 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
家庭	私たちがになう家族・家庭の機能	生活を支える家族・家庭の機能について理解する。 家族や地域の人々との協力・協働して家庭生活を営む必要性を理解する。	【知識・技能】 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 家族・家庭の基本的な機能について理解している。
家庭	食事の役割	生活の中で食事が果たす役割について理解する。	【知識・技能】 生活の中で食事が果たす役割について理解している。
家庭	私たちの食生活	健康に良い食習慣について理解する。	【知識・技能】 健康に良い食習慣について理解している。 【思考・判断・表現】 自分の食習慣について問題を見出して課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
家庭	栄養素の種類と働き	栄養素の種類と働きについて理解する。	【知識・技能】 栄養素の種類とその働きについて理解している。
家庭	中学生に必要な栄養	中学生に必要な栄養の特徴について理解する。	【知識・技能】 中学生に必要な栄養の特徴について理解している。
家庭	食品に含まれる栄養素	身近な食品の栄養的な特徴について理解する。	【知識・技能】 食品の栄養的な特質について理解している。
家庭	6つの食品群と食品群別摂取量の	6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について理解する。	【知識・技能】 中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。
家庭	バランスの良い献立作り	バランスの良い献立作成に必要な手順と要素について理解する。 中学生に必要な食品の種類と概量を踏まえて、工夫して1日分の献立を作成する。	【知識・技能】 1日分の献立作成の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 1日分の献立について問題を見出して課題を設定し、課題解決に向けた活動について論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい食習慣の実現に向けて1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫して創造し、実践しようとしている。
家庭	食品の選択と購入	食品の選択と購入のために必要な情報について理解する。 用途に応じた食品を考え、適切に選択する。	【知識・技能】日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解している。 【思考・判断・表現】食品の選択について、問題を見出して課題を設定し、論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい食生活の実現に向けて、食品の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫して想像し、実践しようとしている。
家庭	生鮮食品の特徴	生鮮食品の特徴や表示の内容について理解する。	【知識・技能】 日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解している。
家庭	加工食品の特徴	加工食品の特徴や表示の内容について理解する。	【知識・技能】 日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解している。
家庭	食品の保存と食中毒の防止	食品の適切で安全な扱い方について理解する。	【知識・技能】 食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。
家庭	日常食の調理	安全や衛生、食品の性質、調理の技能等を踏まえ、工夫して1食分の調理を計画する。 計画に沿って、適切に調理する。	【知識・技能】 ・食品の調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 日常の1食分の調理について問題を見出して課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。
家庭	野菜・いもの調理	野菜・いもの調理上の性質について理解する。	【知識・技能】野菜・芋に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】野菜・芋の調理について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】より良い食生活の実現に向けて、野菜・いもの調理について、実践しようとしている。
家庭	肉の調理	肉の調理上の性質について理解する。	【知識・技能】肉に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】肉の調理について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】より良い食生活の実現に向けて、肉の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、実践しようとしている。

家庭	魚の調理	魚の調理上の性質について理解する。	【知識・技能】 魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 魚の調理について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い食生活の実現に向けて、魚の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、実践しようとしている。
家庭	日本の食文化と和食の調理	日本の食文化について理解する。	【知識・技能】 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 和食の調理について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い食生活の実現に向けて、和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、実践しようとしている。
家庭	持続可能な食生活を目指して	持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法を考える。	【知識・技能】 持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい食生活の実現に向けて、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、実践しようとしている。
家庭	住まいの役割	住まいの基本的な役割と、家族の生活と住空間の関わりについて理解する。	【知識・技能】 住居の基本的な機能について理解している。 家族の生活と住空間の関わりについて理解している。
家庭	住まいと気候風土の関わり	日本の住まいの特徴や住まいと気候風土の関わりについて理解する。	【知識・技能】 家族の生活と住空間の関わりについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
家庭	健康で快適な室内環境	健康で快適な室内環境について理解する。 健康で快適な室内環境について考え、工夫する。	【知識・技能】室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について理解している。 【思考・判断・表現】室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
家庭	家族の住まいを安全・安心に	家庭内事故の危険性について理解する。 家庭内事故の予防や対策を考え、家族が安全に暮らせるように工夫する。	【知識・技能】家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思考・判断・表現】家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい住生活の実現に向けて、家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、実践しようとしている。
家庭	災害への対策	自分の住む地域の災害の危険性について理解する。 地震など災害への備えについて考え、対策を工夫する。	【知識・技能】自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思考・判断・表現】自然災害の備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい住生活の実現に向けて、自然災害の備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、実践しようとしている。
家庭	持続可能な住生活を目指して	持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法を考える。	【思考・判断・表現】持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい住生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、実践しようとしている。

―英語―

評価の観点と評価方法

	評価の観点及びその趣旨	評価方法
知識・技能	・休み明けテスト、単元テスト、定期考査において、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、4技能による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができている。	・定期考査 ・単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現することができる。 ・パフォーマンステストにおいて、対話や発表の場面で、すすんで表現したり、工夫をしたりして伝え合おうとすることができる。 ・スピーチ原稿など、表現を工夫し、内容を仕上げることができる。	・定期考査 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
主体的に取り組む態度	・課題プリントやワークなどに丁寧に取り組み、自分自身で考えながら創意工夫して提出することができる。 ・毎時間、レッスンごとの振り返りを行い、自分の学びを調整することができる。 ・授業に主体的に取り組み、学びようとする姿勢が見られる。	・課題、提出物（ワーク等の取り組み状況） ・振り返りシート ・単元テスト

授業細目	単元	学習活動	評価規準
英語	Starter 1	好きなものを教えて！ ◆ 好きな教科や食べ物について、聞いたり話したりする。	【知識】 What ...? の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI) 好きなものについて，What ...? などを用いて，自分の考えなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。
英語	Starter 2	好きなキャラクターは？ ◆ 好きなキャラクターや人物について、聞いたり話したりする。	【知識】 Who ...? の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI) 好きなキャラクターについて，Who ...? などを用いて，自分の考えなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。
英語	Starter 3	ランキングを作ろう！ ◆ 放課後の過ごし方や朝食に食べるものについて、聞いたり話したりする。	【知識】放課後の過ごし方に関する語や食べ物などの特徴を理解している。
英語	Starter 4	どこに行ってみたい？ ◆ 行ってみたい国や地域について、聞いたり話したりする。	【知識】行ってみたい国について聞くときの質問や答え方の特徴を理解している。
英語	Starter 5	英語の音と文字を確認しよう！ ◆ アルファベットや簡単な語を聞いたり話したりする。 ♪ 子音字（p, b, t, d, k, g, s, z, f, v）、母音字（a, e, i, o, u）	【知識】基本的な英語表現を知り、理解する。 アルファベットの音や文字の特徴を理解している
英語	Starter 6	単語や文の書き方を確認しよう！ ◆ アルファベットや簡単な語を聞いたり書いたりする。	【知識】基本的な英語表現を知り、理解する。 アルファベットの音や文字の特徴を理解している
英語	Lesson1 About Me	はじめての英語の授業 ☐ be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の肯定文 ♪ 子音字（k, g） ◆ 自己紹介カードを書いて、交換する。	【知識】 be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (R)be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の肯定文などを活用して、名前や好きなことについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (W)名前や好きなものについて、be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson1 About Me	Part 2 休み時間の教室 ☐ be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文 ♪ 子音字（t, d） ◆ 趣味や好きなことについて、インタビューする。	【知識】 be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文などを活用して、スポーツについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文などを活用して、部活動や好きなことについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)好きなことや趣味について、be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)趣味や好きなことについて、be動詞と一般動詞の現在形（1・2人称）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson1 About Me	Part 3 学校からの帰り道 ☐ What do you ...? / What（名詞）do you ...? ♪ 子音字（l, r） ◆ 放課後の過ごし方や好きなことについて、インタビューする。	【知識】 What do you ...?やWhat（名詞）do you ...?の意味や働きを理解している。 【技能】 (R)What do you ...?やWhat（名詞）do you ...?などを活用して、放課後の過ごし方や好きなことについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)放課後の過ごし方について、What do you ...?やWhat（名詞）do you ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)放課後の過ごし方や好きなことについて、What do you ...?やWhat（名詞）do you ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson1 About Me	Goal Activity プロフィールカードを交換しよう！ ◆ 自分の名前や好きなものを紹介するプロフィールカードを作って、交換する。	【思考・判断・表現】 (W)友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、自分の名前や好きなことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、自分の名前や好きなことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書こうとしている。
英語	Words & Sounds 1	何匹見える？ ☐ How many ...? ♪ モーラとシラブル ☆ 数 ▲ 地域、生活 ◇ 質問する、説明する	【知識】 How many ...?の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)見えているものの数について、How many ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。

英語	Lesson2 My hero	Part 1 あこがれの人物は？ □ 助動詞canの肯定文 ♪ 子音字(s, sh) ◆ 好きな有名人やキャラクターを紹介する。	【知識】 助動詞canの肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)助動詞canの肯定文などを活用して、あこがれの人物や好きな有名人について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (SP)あこがれの人物や好きな有名人について、助動詞canの肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W)好きな有名人やキャラクターについて、助動詞canの肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson2 My hero	Part 2 どんなことが得意なの？ □ 助動詞canの疑問文・否定文 ♪ 子音字(f, v) ◆ 得意なことや好きなことについて、インタビューする。	【知識】 助動詞canの疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)助動詞canの疑問文・否定文などを活用して、好きなことや得意なことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)助動詞canの疑問文・否定文などを活用して、できることやできないことについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)得意なことや好きなことについて、助動詞canの疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)得意なことや好きなことについて、助動詞canの疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson2 My hero	Goal Activity ヒーローを紹介しよう！ ◆ あこがれの人物を紹介するポスターを作って、発表する。	【思考・判断・表現】 (SP)友だちや先生にあこがれの人物の魅力を伝えるために、その人物の名前やできることについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)友だちや先生にあこがれの人物の魅力を伝えるために、その人物の名前やできることについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話そうとしている。
英語	Language Focus 1 語順、いろいろな文、名詞		
英語	Words & Sounds 2	誕生日はいつ？ □ When is ...? ♪ 強勢(語) ☆ 月、日付 ▲ 学校、生活 ◇ 質問する、説明する	【知識】 When is ...?の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)誕生日について、When is ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。
英語	Lesson 3　My Treasure	Part 1 ディヌーの家に行こう □ be動詞(3人称)の肯定文・否定文 ♪ 重なった子音字(th) ◆ 町でお気に入りの場所や店を紹介する。	【知識】 be動詞(3人称)の肯定文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)be動詞(3人称)の肯定文・否定文などを活用して、お気に入りの店などについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)be動詞(3人称)の肯定文・否定文などを活用して、町の施設や建物などについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。
英語	Lesson 3　My Treasure	Part 2 ディヌーの家に到着 □ be動詞(3人称)の疑問文 / What is this? ♪ 子音結合 ◆ 日本のものについて、クイズを出す。	【知識】 be動詞(3人称)の疑問文の特徴やきまりに関する事項や、What is this?の意味や働きを理解している。 【技能】 (L)be動詞(3人称)の疑問文やWhat is this?などを活用して、家にあるものについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)be動詞(3人称)の疑問文やWhat is this?などを活用して、家にあるものについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)学校にあるものについて、be動詞(3人称)の疑問文やWhat is this?などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)日本のものについて、be動詞(3人称)の疑問文やWhat is this?などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 3　My Treasure	Part 3 ディヌーの部屋 □ Who is ...? / 人称代名詞(目的格) ♪ 子音字(f, h) ◆ 好きなキャラクターを紹介する。	【知識】 Who is ...?の意味や働きや、人称代名詞(目的格)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】(SI)好きなキャラクターについて、Who is ...?や人称代名詞(目的格)などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)好きなキャラクターについて、Who is ...?や人称代名詞(目的格)などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 3　My Treasure	Goal Activity 宝物クイズをしよう！ ◆ ヒントを3つ考えて、「宝物クイズ」をする。	【思考・判断・表現】 (W)友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、ものの特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)友だちや先生に自分のことを知ってもらうために、ものの特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書こうとしている。
英語	Language Focus 2 be動詞、一般動詞、Let's ....、命令文、can、いろいろな疑問詞		
英語	Take Action! Talk 1	道案内 ◆ 道に迷っている人に道案内をする。 ▲ 社会、生活、道案内 ◇ 道順をたずねる、道順を説明する、礼を言	【知識】 「道順をたずねる」「道順を説明する」表現の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)目的地までの道順について、事実や自分の考えなどを整理し、「道順をたずねる」「道順を説明する」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。
英語	Take Action! Read 1	町の案内図 ◆ 町の案内図を読んで、必要な情報を捉える。 ▲ 社会、生活 ◇ 提案する	【思考・判断・表現】 (R)相手の条件や要望に合う場所を案内するために、(場所と時間に着目し、)施設や店の営業時間などについて書かれた案内図を読んで、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)相手の条件や要望に合う場所を案内するために、(場所と時間に着目し、)施設や店の営業時間などについて書かれた案内図を読んで、必要な情報を捉えようとしている。

英語	Lesson 4　My Summer Plans	Part 1 昨年の夏休みの思い出 □ I went to [ate / saw / enjoyed –ing] .... ♪ 母音(/ɔ:/, /ou/) ◆ 昨年の夏休みにしたことを紹介する。	【知識】 I went to [ate / saw / enjoyed –ing] ....の意味や働きを理解している。 【技能】 (L)I went to [ate / saw / enjoyed –ing] ....などを活用して、昨年の夏休みにしたことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (SP)昨年の夏休みにしたことについて、I went to [ate / saw / enjoyed –ing] ....などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。
英語	Lesson 4　My Summer Plans	Part 2 今年の夏休みの計画 □ Where do you want to go? / I want to .... ♪ 二重母音(ea) ◆ 今年の夏休みに行きたい場所とそこでしたいことを紹介する。	【知識】 Where do you want to go? / I want to ....の意味や働きを理解している。 【技能】 (L)Where do you want to go? / I want to go to ....などを活用して、今年の夏休みに行きたい場所やそこでしたいことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)Where do you want to go? / I want to go to...などを活用して、今年の夏休みに行きたい場所やそこでしたいことについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。
英語	Lesson 4　My Summer Plans	Goal Activity 今年の夏休みにしたいことリストを作ろう！ ◆ 今年の夏休みにしたいことをリストにまとめて発表する。	【思考・判断・表現】 (SP)ALTの先生に中学生が夏休みにしたいことを知ってもらうために、夏休みにしたいことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)ALTの先生に中学生が夏休みにしたいことを知ってもらうために、夏休みにしたいことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話そうとしている。
英語	Take Action! Listen 1 フードコートの店内放送	◆ メニューの説明を聞いて、必要な情報を捉える。 ♪ 強勢(語) ▲ 社会、生活、食事 ◇ 説明する、意見を言う	【思考・判断・表現】 (L)注文する料理を選ぶために、(メニューや価格に着目し、)メニューの説明を聞いて、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (L)注文する料理を選ぶために、(メニューや価格に着目し、)メニューの説明を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。
英語	Take Action! Talk 2 フードコードでの注文	◆ 店で商品を注文する。 ▲ 社会、生活、食事 ◇ 注文を受ける、注文する	【知識】 「注文を受ける」「注文する」表現の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)商品について、事実や自分の考えなどを整理し、「注文を受ける」「注文する」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。
英語	Project 1	What Am I?クイズ ◆ 3つのヒントを考え、“What Am I?”クイズをする。	【思考・判断・表現】 (SP)クイズ大会に参加するために、クイズのヒントについて、適切に情報を並べて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)クイズ大会に参加するために、クイズのヒントについて、適切に情報を並べて、まとまりのある内容を話そうとしている。
英語	Lesson 5　Ms. Brown's Family	Part 1 ブラウン先生の家族1 □ 3人称単数現在形の肯定文 ♪ 3人称単数現在形(-s, -es) ◆ 身近な人について紹介する。	【知識】 3人称単数現在形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)3人称単数現在形の肯定文などを活用して、家族について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)3人称単数現在形の肯定文などを活用して、家族について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (W)1日の生活について、3人称単数現在形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)身近な人について、3人称単数現在形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 5　Ms. Brown's Family	Part 2 ブラウン先生の家族2 □ 3人称単数現在形の疑問文・否定文 ♪ 子音結合 ◆ 身近な人について紹介する。聞き手は質問する。	【知識】 3人称単数現在形の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (SI)教科書の登場人物について、3人称単数現在形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP)身近な人について、3人称単数現在形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W)教科書の登場人物について、3人称単数現在形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)身近な人について、3人称単数現在形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 5　Ms. Brown's Family	Part 3 これは誰のもの？ □ Whose ...?	【知識】 Whose ...?の意味や働きを理解している。 【技能】 (R)Whose ...?などを活用して、落とし物について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)落とし物について、Whose ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)落とし物について、Whose ...?などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 5　Ms. Brown's Family	Small Talk Plus “Who is your favorite character?” ◆ トークテーマについて話す。	【思考・判断・表現】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容の詳細をたずねながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容の詳細をたずねながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。
英語	Lesson 5　Ms. Brown's Family	Goal Activity 日本で人気のあるキャラクターを教えて！ ◆ 写真などを見せながら、日本で人気のあるキャラクターを紹介する。	【思考・判断・表現】 (SP)日本に興味のある海外の人に知ってもらうために、日本で人気のあるキャラクターについて、具体的な情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)日本に興味のある海外の人に知ってもらうために、日本で人気のあるキャラクターについて、具体的な情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。

英語	Language Focus 3 3人称単数現在形、人称・人称代名詞など		
英語	Take Action! Listen 2 競技会場の注意事項	◎ 競技会場のアナウンスを聞いて、要点を捉える。 ♪ 強勢（文） ▲ 社会、生活 ◇ 依頼する、命令する、説明する	【思考・判断・表現】 (L)特定の場所で適切な行動をとるために、（注意事項に着目し、）アナウンスを聞いて、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (L)特定の場所で適切な行動をとるために、（注意事項に着目し、）アナウンスを聞いて、要点を捉えようとしている。
英語	Take Action! Read 2 スケート場のイベント	◆ イベントの案内を読んで、必要な情報を捉える。 ▲ 社会、生活 ◇ 提案する	【思考・判断・表現】 (R)相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（できることや時間に着目し、）イベントの案内を読んで、必要な情報を捉えている 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（できることや時間に着目し、）イベントの案内を読んで、必要な情報を捉えようとしている。
英語	Lesson 6　School Life in the U.S.A.	Part 1 マークの友だち □ 現在進行形の肯定文 ♪ -ingの発音 ◆ 休み時間や昼休みにしていることについて、写真を見せながら説明する。	【知識】 現在進行形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)現在進行形の肯定文などを活用して、写真の人物について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)現在進行形の肯定文などを活用して、学校生活について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP)写真の人物について、現在進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP)学校生活について、現在進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W)写真の人物について、現在進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)学校生活について、現在進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 6　School Life in the U.S.A.	Part 2 ケビンの学校 □ 現在進行形の疑問文 ♪ 母音（/ʌ/） ◆ 学校の昼食について、写真を見せながら説明する。聞き手は質問する。	【知識】 現在進行形の疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)現在進行形の疑問文などを活用して、話し手の行動について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)現在進行形の疑問文などを活用して、学校生活について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)教科書の挿絵について、現在進行形の疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP)学校生活について、現在進行形の疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。
英語	Lesson 6　School Life in the U.S.A.	Part 3 どっちがほしい？ □ Which ..., A or B?	【知識】 Which ..., A or B?の意味や働きを理解している。 【技能】 (R)Which ..., A or B?などを活用して、学校生活について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)食べ物について、Which ..., A or B?などを用いて、自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W)食べ物について、Which ..., A or B?などを用いて、自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 6　School Life in the U.S.A.	Small Talk Plus “What do you like about your school life?” ◆ トークテーマについて話す。	【思考・判断・表現】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容について感想を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容について感想を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。
英語	Lesson 6　School Life in the U.S.A.	Goal Activity 日本の学校ってどんな感じ？ ◆ 写真などを添えて、日本の学校生活や行事を紹介するメールを書く。	【思考・判断・表現】 (W)アメリカに住んでいる中学生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、写真を描写し、詳しい説明をつけ加えて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)アメリカに住んでいる中学生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、写真を描写し、詳しい説明をつけ加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。
英語	Language Focus 4 現在進行形、冠詞		
英語	Take Action! Listen 3 イベントのお知らせ	◆ イベントの案内を聞いて、概要を捉える。 ♪ イントネーション（列挙） ▲ 社会、生活 ◇ 意見を言う	【思考・判断・表現】 (L)イベントの行き先を決めるために、（場所に着目し、）それぞれのエリアでできることについて話された案内を聞いて、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (L)イベントの行き先を決めるために、（場所に着目し、）それぞれのエリアでできることについて話された案内を聞いて、概要を捉えようとしている。
英語	Take Action! Talk 3 体調不良	◆ 症状をたずねる。／対処方法を提案する。 ▲ 社会、生活 ◇ 症状をたずねる、提案する、症状を説明する、礼を言う	【知識】 「症状をたずねる」「提案する」「症状を説明する」表現の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)症状や対処方法について、事実や自分の考えを整理し、「症状をたずねる」「提案する」「症状を説明する」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 (SI)[A]　体調不良の人がいる場面で、症状をたずねたり、対処方法を提案したりするために、相手の体調や状況について事実や自分の考えなどを整理し、Expressionsなどで示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 [B]　体調不良の人がいる場面で、症状を説明するために、症状について事実や自分の考えなどを整理し、Expressionsなどで示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。

英語	Lesson 7　Athletes with Spirit	Part 1 車いすバスケットボールの体験会 □ 一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文 ♪ 過去形（-ed） ◆ 中学生になって一番がんばったことについて伝える。	一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文などを活用して、イベントで体験したことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文などを活用して、スポーツ選手の体験について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。
英語	Lesson 7　Athletes with Spirit	Part 2 インタビュー記事 □ 一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文 ♪ 母音字（a, i） ◆ これまで成功したことや失敗したことについて伝える。聞き手は質問する。	【知識】 一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)日般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを活用して、週末のできごとについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)日般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを活用して、スポーツ選手の体験について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)週末のできごとについて、一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP)成功体験や失敗体験について、一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W)週末のできごとについて、一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)成功体験や失敗体験について、一般動詞（規則・不規則）の過去形の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 7　Athletes with Spirit	Goal Activity アスリートが大切にしていること ◆ アスリートが大切にしていることについて書かれた雑誌記事を読んで、要点を捉える。	【思考・判断・表現】 (R)アスリートが大切にしていることをまとめるために、（事実と筆者の考えに着目し、）スポーツの特徴について書かれた記事を読んで、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)アスリートが大切にしていることをまとめるために、（事実と筆者の考えに着目し、）スポーツの特徴について書かれた記事を読んで、要点を捉えようとしている。
英語	Language Focus 5 いろいろな疑問文		
英語	Project 2 理想のロボット選手権	◆ 示された条件に合うロボットを考え、申し込みフォームに記入する。	【思考・判断・表現】 (W)ロボット選手権に応募するために、自分で考えたロボットについて、特徴を明確にして、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)ロボット選手権に応募するために、自分で考えたロボットについて、特徴を明確にして、まとまりのある文章を書こうとしている。
英語	Reading Lesson 1	Alice and Humpty Dumpty ◆ 物語を読んで、概要を捉える。	【思考・判断・表現】 (R)物語のあらすじをまとめるために、（場所や話題に着目し、）不思議の国でのアリスの冒険物語を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)物語のあらすじをまとめるために、（場所や話題に着目し、）不思議の国でのアリスの冒険物語を読んで、概要を捉えようとしている。
英語	Lesson 8　Discover Japan	Part 1 ケイトの家族旅行1 □ be動詞の過去形の肯定文 ♪ 子音字（w） ◆ 旅行や遠足で訪れた場所と、そこでしたことや感じたことについて伝える。	【知識】 be動詞の過去形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (R)be動詞の過去形の肯定文などを活用して、旅行の思い出について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (W)冬休みのできごとについて、be動詞の過去形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)旅行や遠足の思い出について、be動詞の過去形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 8　Discover Japan	Part 2 ケイトの家族旅行2 □ 過去進行形の肯定文 ♪ マジックe ◆ 今年の1 月1 日午前0 時にしていたことを伝える。	【知識】 過去進行形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)過去進行形の肯定文などを活用して、話し手の行動について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)過去進行形の肯定文などを活用して、旅行の思い出について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)特定の時刻にしていたことについて、過去進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP)特定の日時にしていたことについて、過去進行形の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。
英語	Lesson 8　Discover Japan	Part 3 うれしそうだね □ 〈look＋A〉	【知識】 〈look＋A〉の意味や働きを理解している。 【技能】 (R)〈look＋A〉などを活用して、（うれしかった）できごとについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI)相手の表情から読み取ったことについて、〈look＋A〉などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。
英語	Lesson 8　Discover Japan	Small Talk Plus “How was your winter vacation?” ◆ トークテーマについて話す。	【思考・判断・表現】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、情報や説明をつけ加えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SI)話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、情報や説明をつけ加えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。
英語	Lesson 8　Discover Japan	Goal Activity 今年一番思い出に残ったできごとは？ ◆ 今年一番思い出に残ったできごとを、絵日記に書く。	【思考・判断・表現】 (W)絵日記コンテストに応募するために、今年一番思い出に残ったできごとについて、感想などをつけ加えて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)絵日記コンテストに応募するために、今年一番思い出に残ったできごとについて、感想などをつけ加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。
英語	Language Focus 6 過去形、過去進行形、look＋A		

英語	Take Action! Listen 4 新作映画の予告編	◆ 映画の予告編を聞いて、概要を捉える。 ♪ イントネーション（文末） ▲ 社会、生活 ◇ 描写する、意見を言う	【思考・判断・表現】 (L)映画を見るかどうかを決めるために、（登場人物に着目し、）新作映画の予告編を聞いて、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (L)映画を見るかどうかを決めるために、（登場人物に着目し、）新作映画の予告編を聞いて、概要を捉えようとしている。
英語	Take Action! Read 3 映画のチケット	映画のチケット ◆ 映画館のウェブサイトを読んで、必要な情報を捉える。 ▲ 社会、生活、買い物 ◇ 提案する	【思考・判断・表現】 (R)相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（時間と価格に着目し、）映画館のウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)相手の条件や要望に合うものをすすめるために、（時間と価格に着目し、）映画館のウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えようとしている。
英語	Lesson 9　Emergency Food	Part 1 防災訓練 ☐ 助動詞willの肯定文・疑問文 ♪ 二重母音（oo） ◆ どんな非常食を選ぶか、理由とともに伝える。	【知識】 助動詞willの肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L)助動詞willの肯定文・疑問文などを活用して、天気予報について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R)助動詞willの肯定文・疑問文などを活用して、授業の感想について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。
英語	Lesson 9　Emergency Food	Part 2 非常食に大切なこと ☐ be going to ...の肯定文・疑問文 ♪ 二重母音（ee） ◆ 非常持ち出し袋に入れるものについて伝える。	【知識】 be going to ...の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (SP)春休みの予定について、be going to ...の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP)非常持ち出し袋について、be going to ...の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W)春休みの予定について、be going to ...の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W)非常持ち出し袋について、be going to ...の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。
英語	Lesson 9　Emergency Food	Goal Activity 『せんだご汁』の非常食 ◆ 非常食を取り上げた新聞のコラムを読んで、要点を捉える。	【思考・判断・表現】 (R)筆者が伝えたいことをまとめるために、（事実と筆者の考えに着目し、）非常食について書かれたコラムを読んで、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)筆者が伝えたいことをまとめるために、（事実と筆者の考えに着目し、）非常食について書かれたコラムを読んで、要点を捉えようとしている。
英語	Language Focus 7 未来を表す表現		
英語	Take Action! Listen 5 週末の天気予報	◆ 天気予報を聞いて、必要な情報を捉える。 ♪ トーン・ユニット ▲ 社会、生活 ◇ 説明する、意見を言う	【思考・判断・表現】 (L)予定を決めるために、（曜日や天候に着目し、）天気予報を聞いて、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (L)予定を決めるために、（曜日や天候に着目し、）天気予報を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。
英語	Take Action! Talk 4 手伝いのお願い	◆ 手伝いを依頼する。／承諾する（断る）。 ▲ 社会、生活 ◇依頼する、承諾する、断る、謝る	【知識】 「依頼する」「承諾する」「断る」表現の意味や働きを理解している。 【技能】 (SI)手伝ってほしいことについて、事実や自分の考えを整理し、「依頼する」「承諾する」「断る」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。
英語	Project 3 日本の「昔話」の紙芝居	◆ 海外の子どもたちに見せるために、日本の紙芝居の動画を作る。	【思考・判断・表現】 (SP)海外の子どもたちに紙芝居を見せるために、日本の昔話について、日本の文化や習慣がわかるような説明をつけ加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)海外の子どもたちに紙芝居を見せるために、日本の昔話について、日本の文化や習慣がわかるような説明をつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。
英語	Reading Lesson 2 Sleepy Lord Thunder	◆ 物語を読んで、概要を捉える。	【思考・判断・表現】 (R)物語のあらすじをまとめるために、（時間経過に沿って情報を整理し、）小浜島に伝わる物語を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)物語のあらすじをまとめるために、（時間経過に沿って情報を整理し、）小浜島に伝わる物語を読んで、概要を捉えようとしている。
英語	定期考査1		
英語	定期考査2		
英語	定期考査3		
英語	定期考査4		
英語	単元テスト		